

若菜下(大・横・榊・池・陽・肖・三・明・穂・玉・

徹・証・正・飯)

11 25-01 ことほりとはことほりと(は)〔穂ハ符号無〕

池穂

11 25-01 おもへともおもへと陽徹証正おもへと〔も

なを〕穂

11 25-01 いへるかな侍かな横池侍(いへる)かな

池

11 25-01 なそナシ玉

11 25-01 かくナシ池

11 25-02 あへしらひあひしらひ穂玉

11 25-02 ひと事をもひとことも池

11 25-03 つけてもつけて横榊池陽三明穂玉徹証正

飯つけて(もイ)三

11 25-03 おしくおしく(へく)肖

11 25-04 御ため御ためにも榊

11 25-04 なまゆかむなとゆかん飯

11 25-04 心や心ちや玉

11 25-04 そひにたらんそへ(ひ)にたらむ池

11 25-05 すゝろはしけれとそゝろはしけれと玉す

ゝろはしけれと証すゝろはしけれと

正

11 25-05 色をも色(をも)池

11 25-05 みてやみせや飯

11 25-06 きざらぎときざらぎにと三きざらぎに〔と

後補〕明

11 25-07 ちおしくとくちをしと榊三

11 25-07 院に院(に)池

11 25-08 左右大将左右大将たちと榊左右の大将肖

玉徹

11 25-09 こゆみと(こゆみ)池

11 25-09 かちゆみののりかちゆみの榊

11 25-10 めしいてゝめして穂

11 25-10 いさせいらせ飯

11 25-10 たまふナシ榊

11 25-10 殿上人とも殿上人とも穂

11 25-11 みなナシ陽

11 25-11 まへしりへのまへしりての穂

11 25-11 心ナシ穂

11 25-11 方わきてかきわきて榊

11 25-11 とちむるとちんる穂

11 25-12 花のかけ花のかぎ(け)〔朱〕大

11 25-12 いとゝナシ横いとゝ陽いと飯※

11 25-12 やすからていとゝやすからて池※

11 25-13 こなたかなたこなたかなたの榊

11 25-14 御心心徹

11 25-14 みえぬへきをみえぬへき榊

11 25-14 いあてつへき(い)あてつへき大あてつへき

横榊池陽肖三明穂玉徹証正飯

11 25-14 うけはりてうけ給はりて池

11 26-01 いとるむしんなりやいとる(る)むしんなり

や〔朱〕大いとる(む)しんなりや榊いと

むしむなりや池陽いとるむし(む)なりや〔ミ

セケチカ〕池いとるむ覧なりや穂飯いとる

んしむなりや玉

11 26-01 すこしす玉

11 26-01 こゝしき見しりた〔ヨイカ〕穂

11 26-01 てつき手つゝき証手つつき正

11 26-01 大将たち大将(たちイ)三

11 26-02 衛門督衛門のかみ三明穂飯

11 26-02 人よりナシ玉

11 26-02 かのかたはし心しれる御めには(かのかたは

し〔心〕ゝれる御めには)池

11 26-03 心しれるこゝろしる陽徹証

11 26-04 事ことは肖

11 26-04 この君たち御中この君たちの御事なか

榊

11 26-05 いふなかにもいふ事にも横池いひ(ふ)な

かにも榊いふ事(中)にも池いふ中にも〔飯

ハもノ上カヲ書ク〕陽明飯いふなる(か)

にも肖※

11 26-05 心かはしてこゝろかはらて穂

11 26-05 物おもはしくものおもはし(へく)池

11 26-07 心は心も徹

11 26-08 人に人に〔にカ〕飯

11 26-08 てむつかるへきてんつかかるへき榊てむ

つかるへき証※

11 26-08 ふるまひはふるまひは陽

11 26-09 おもひわひてはおもふにわひては榊

11 26-09 えてしかなえてしかなと横池穂えてしかな

(と)池

11 26-11 それさへそそれさへと横池それさへ

飯

11 26-11 事こと榊※

11 26-11 女御々方に女御の御(に)かたに横女御の御

方に榊池陽三明穂玉徹飯

11 26-12 おくふかくをん(く)ふかく池をくふかう

玉

- 11 26 | 13 まほにまをに榊穂
- 11 26 | 13 御中らひにたに御ながらひにてたに池玉御
なましにたに「ヨイカ」穂
- 11 26 | 13 ならひたるをならひにたるを榊穂
- 11 26 | 14 ゆくりかにゆくりなく榊
- 11 26 | 14 ありしあら(り)し横
- 11 26 | 14 うちおほゆれとおほゆれと陽玉
- 11 26 | 14 おほろけにおほろ(け)に徹
- 11 27 | 01 あさくもナシ玉
- 11 27 | 01 まいり給てまいり(給)て榊
- 11 27 | 01 ろなうろんなう肖玉徹証正
- 11 27 | 01 かよひかよひ榊※
- 11 27 | 02 などはなには飯
- 11 27 | 03 みたてまつるにみたてまつる証正
- 11 27 | 03 御ありさまはた御ありさまはた玉
- 11 27 | 03 なまめかしくなまめかしう玉
- 11 27 | 03 おはしますおおはします徹
- 11 27 | 04 御ねこの御ねこの榊ねこの穂
- 11 27 | 04 あかれてあれて飯
- 11 27 | 05 みるにナシ飯
- 11 27 | 06 六条の院の六条院の榊池陽肖三穂玉徹証
正
- 11 27 | 06 侍はんへる穂
- 11 27 | 06 ねこそねこそ三明
- 11 27 | 06 みえぬみへぬ池みにぬ玉
- 11 27 | 07 侍しかはへしか明飯
- 11 27 | 07 はつかになむみ給へしとナシ穂
- 11 27 | 07 なむナシ正

- 11 27 | 07 み給へしとみたまひしと榊三※
- 11 27 | 07 けいたまへはそうし給へは池
- 11 27 | 07 わさとねこのわさと横池ねこわさと榊陽肖
三穂玉徹証正
- 11 27 | 07 らうたくせさせたまふらうたうせさせ給
榊らうたくし給三
- 11 27 | 08 こゝのにこゝに横池
- 11 27 | 09 おかしくをかしよう玉
- 11 27 | 09 あやしくあやしよう陽肖徹証正
- 11 27 | 09 侍などはんへるなど穂
- 11 27 | 10 きこしめしをきてきこしおきて玉
- 11 27 | 10 あのことくナシ横榊池陽三明穂玉徹証正

飯あのこと肖

- 11 27 | 11 つたへてつたえへて穂
- 11 27 | 11 給ければたまふ穂
- 11 27 | 11 けにけるに玉
- 11 27 | 12 衛門督はゑもんのかみは明穂飯
- 11 27 | 13 みをきてみをきて「てノ上カラをヲ書ク」
榊
- 11 27 | 13 朱雀院のすしやく院の穂
- 11 27 | 13 とりわきてとりはきて穂
- 11 27 | 14 つかはせつかはせ「しノ上カラセヲ書ク」
飯
- 11 28 | 01 御こと御琴徹証正
- 11 28 | 01 きこえ給とてきこえ給て穂
- 11 28 | 02 侍にけり侍にけり池まいりにけり肖
- 11 28 | 02 人はと人はいと飯
- 11 28 | 02 おほえておほして横
- 11 28 | 03 また又穂

字力「穂

- 11 28 | 04 こゝなるたしなる穂
- 11 28 | 04 ねこともねこも池ねこもことも正
- 11 28 | 05 その中にもそのなかにも横池陽
- 11 28 | 05 心かしこきは心かしこき玉
- 11 28 | 06 たましひたまし(ひ)池給したまし(ひ)「衍
字力」穂
- 11 28 | 06 侍らむかし侍なんかし穂
- 11 28 | 06 なんとんと池
- 11 28 | 07 たまはり給はりて榊※
- 11 28 | 07 心の中に心のうち横池心のうちに陽明徹
飯御心の中には玉※
- 11 28 | 07 おほゆるつるにおほゆるつるに「横未見」横榊
池陽肖穂玉徹証正おほゆるに三明飯
- 11 28 | 08 これをこれは穂
- 11 28 | 08 ちかく補入横
- 11 28 | 08 ねこのねこの大ねこの横
- 11 28 | 08 かしつきをしてかしつきをし徹
- 11 28 | 09 いとへいと三
- 11 28 | 10 まつはれまとはれ池
- 11 28 | 10 思ふおもひ玉
- 11 28 | 10 いとナシ穂
- 11 28 | 11 給へるに給つるに穂
- 11 28 | 11 ねうとナシ穂
- 11 28 | 11 いといと池
- 11 28 | 12 うたてもうても穂
- 11 28 | 12 すむかなとすむ(ル)かなと「後補」明
- 11 28 | 13 てならせはてならすを玉
- 11 28 | 14 かほをかほ「トルカ」榊池かを「トルカ」
明飯

- 11 29 | 01 | こたちなとはこたちへなとは証
- 11 29 | 01 | にはかなるねこの時めくナシ穂
- 11 29 | 02 | 御心にと御心に穂
- 11 29 | 02 | とかめけりト「ト」かめあへ(け)り榊
- 11 29 | 02 | めすにもかすにも飯
- 11 29 | 02 | まいらせずとりこめてまいらせず榊
- 11 29 | 03 | 左大将殿のさ大将の殿の飯
- 11 29 | 03 | 殿の北のかたは大殿のきみたちよりもナシ
- 穂
- 11 29 | 03 | 北のかたは北の方を榊
- 11 29 | 03 | 大殿のこの大殿榊
- 11 29 | 03 | きみたち君たち「トルカ」明飯
- 11 29 | 03 | 右大将の君を右大将のきみへは横
- 11 29 | 04 | 思ひナシ池
- 11 29 | 04 | 心はへのころはの飯
- 11 29 | 04 | かとしくかとしく飯
- 11 29 | 05 | けちかくけちかく「うと」しノ上カラけち
- かヲ書クカ」榊
- 11 29 | 05 | 時も時徹証正
- 11 29 | 05 | けしきなくけしきもなく徹
- 11 29 | 06 | 給つれば給へは横榊池陽肖三明穂玉徹証
- 正飯
- 11 29 | 06 | 大将も補入横
- 11 29 | 06 | しけいさ淑景舎横池しけいしや榊
- 11 29 | 06 | うとしくことしく横池
- 11 29 | 06 | をよひおもひ穂
- 11 29 | 08 | 北の方をもきたのかたを横池
- 11 29 | 08 | 「モ」てはなれはて「モ」てはなれはて
- 「てノ上カラ後出はヲ書ク」榊

- 11 29 | 09 | 御はらにははらには飯
- 11 29 | 09 | おとききむたちのおとこ君たちの肖徹証正
- 飯おとききむたちの三
- 11 29 | 10 | かしつかまほしくかしつかまほしう陽穂
- 玉
- 11 29 | 10 | おほち宮なとおほち宮なとの榊
- 11 29 | 11 | みこのみかと(こイ)の三御この玉
- 11 29 | 11 | 御おほえおほえ三※
- 11 29 | 12 | 内にも内には「はカエカ」穂
- 11 29 | 13 | えそむき給はずそむき給はず飯
- 11 29 | 13 | いまめかしくいまめ(か)しく飯
- 11 29 | 14 | おかしくナシ横榊池陽肖三明穂玉徹証正
- 飯
- 11 29 | 14 | たてまつりてはたてまつりては「てノ上カラ
- たヲ書ク」飯
- 11 30 | 01 | をもく榊をかしく玉※
- 11 30 | 02 | したかたしい(た)かた池
- 11 30 | 02 | ひめ君ひめ宮横池
- 11 30 | 02 | 御おほえおほえ三※
- 11 30 | 02 | かるくはかろくは榊穂
- 11 30 | 03 | ふれてふれと(て)大
- 11 30 | 03 | 衛門督をゑもんのかみを榊明飯
- 11 30 | 03 | けしきはまはとけし(き)はまはと三けしき
- まはと穂けしきはまかえと玉
- 11 30 | 04 | おほすへかめれとおほすへかむめれと横お
- ほすめかむめれと穂
- 11 30 | 05 | は君女(は)君池
- 11 30 | 05 | なをナシ榊
- 11 30 | 05 | 人にて(へ)にて徹

- 11 30 | 05 | ありさまさま肖
- 11 30 | 06 | もてけちもちけち陽玉も(て)けち徹
- 11 30 | 06 | たまへるを給へる穂
- 11 30 | 06 | ちおしき(お)しき飯
- 11 30 | 07 | いまめきたるいまめいたる榊
- 11 30 | 07 | 御心さまにそ御心さまに(そ)池
- 11 30 | 07 | 兵部卿宮兵部卿の宮玉
- 11 30 | 08 | 御心に心に徹
- 11 30 | 08 | こととは事とも玉
- 11 30 | 08 | 世中もよの中池陽穂玉よの中を池※
- 11 30 | 09 | あまえてあ(□)まえて飯
- 11 30 | 09 | すくすへきすくへき池玉
- 11 30 | 10 | よりわたり三
- 11 30 | 10 | なにかはなにか飯
- 11 30 | 10 | かしつかんとかしつかむ(と)肖
- 11 30 | 11 | 女こを女御をは玉
- 11 30 | 11 | みこたちに御子たちに穂
- 11 30 | 11 | こそはこそ横榊池
- 11 30 | 11 | みせたてまつらめみせさせ(たて)まつらめ
- 横池みせ(た)てまつらめ飯
- 11 30 | 12 | なをなをしきをなをなをしきを「朱」大
- 11 30 | 12 | いまの世の人のいまの人の飯
- 11 30 | 12 | わざなりとわざと徹
- 11 30 | 13 | たてまつり給はずたてまつらす穂
- 11 30 | 13 | みこあまり：11 31 12 色めきたまへるみこを
- とナシ飯
- 11 30 | 13 | みこ御子穂玉
- 11 30 | 14 | なきをなきは陽穂玉徹証正
- 11 30 | 14 | さうしくしとさうしくと陽

11 30 14 おほかたのまたの玉
11 31 01 いひすへしいひすくし横三いいひすくし

〔後補〕明

11 31 01 おはしましをはしへまし榊※
11 31 01 になくになく池

11 31 02 さまくものなけかしきさまくものな
けかしき「未見」横さまくものなけかしき

榊

11 31 02 おほかるに おほかれと(るに)榊

11 31 03 このきみの事のこの君御ことのかたの池こ
の君の事徹

11 31 03 おほえておほして池

11 31 04 ひか物にとしころにそへてひか物ころにそ
へて穂

11 31 04 たまふたまふに陽玉

11 31 04 わか事にわか事へ池

11 31 05 みすてられためればみすてられたへめれば
榊みすてられたんめれば穂

11 31 06 御てつからてつから玉

11 31 06 御心にはおほむころに横榊池陽肖三明穂玉
徹証正御心に榊池陽肖三明穂玉徹証正

11 31 06 いれいれよろつにかたしけなく御心にいれ
池※

11 31 07 御ありさまにたてまつり御ありさまに
たてまつり証

11 31 08 おほしけるにおほしたるに陽玉

11 31 08 さまさまに玉

11 31 10 心月なき心つきなき徹

11 31 10 わさかなわさか〔か〕な池

11 31 11 うつし心うつし心玉

11 31 11 うちおしくうちおしう陽穂玉

11 31 11 大将の君も大将の君も池大将の君穂

11 31 11 されはよされはよと榊

11 31 12 いたくいたう陽穂玉

11 31 12 みこをと御子をと玉

11 31 12 はしめよりナシ陽

11 31 12 わか御心にわか御心に榊わか御心に
池

11 31 12 ゆるし給はさりしゆるし給はさりし給はさ
りし横ゆるし給はぬさりし榊

11 31 12 事なればゆへ池事なれば三
りし横ゆるし給はぬさりし榊

11 31 13 御さまをさまを穂

11 31 14 おほしおほし証正

11 31 14 み給はまし見たまはまし池みたれ給はま
し徹証正※

11 32 01 ひとつと穂

11 32 01 なまおかしくもなまおかしうも横池
11 32 01 おほしいてけりおほしいてける陽穂玉

11 32 01 そのかみもそのかみも榊そのかみ徹

11 32 01 けちかくちかく穂
11 32 01 みきこえむとはみきこへんとは横きこえ
んとは榊みえきこえんとは三※

11 32 02 思よらざりきかし思よらさへりきかし
徹

11 32 02 なさけくしうなさけくしく榊

11 32 02 心ふかきふかき飯

11 32 03 あえなくあやなく横池

11 32 03 あはつけきあはつけ肖徹

11 32 03 やうにややうに横さま(やう)にや
榊

11 32 03 きおとしきおとしめ横池き陽

11 32 03 給けむとけん穂

11 32 04 き給はむき給は(ら)ん池

11 32 04 なんと横池

11 32 05 せうとの君たち御せうとの君たち榊せうと
〔のイ〕君たち三

11 32 06 御けしきも御けしきと(も)池

11 32 06 まつはしまつかはし玉

11 32 06 心くるしくて心くるしうて玉
11 32 07 おほ北のかたおほ北の方飯

11 32 07 さかなものそさかなものに榊さかなもそ
の穂

11 32 07 ゆるしなくゆるしなくて穂

11 32 08 ぬんし(え)んし池

11 32 08 きこえ給きえ給徹

11 32 08 みこたちは御子たちは穂みこたちはは
証

11 32 08 ふた心なくてふたところなくて池

11 32 08 み給はむをみ給はぬを横池み給らんを
飯

11 32 08 こそこそは陽

11 32 09 給を給てを榊
11 32 09 宮ももりきたまひては(大)宮もりき給
て(は)榊宮もれき給ては穂

11 32 10 きならはぬきならはぬはアルカ証

11 32 10 事かなことな飯

11 32 10 人をきても人をきて飯

- 11 32 11 たえざりしかとかうきひしき たえざりしと
かゝうきひしき「うきハ推説」穂
11 32 11 ものゑんしはものゑしは「横未見」横三
飯物おもひしは穂
11 32 11 ことにこと「に」明
11 32 11 なかりし物をなかりし物をと榊
11 32 12 うちなかめかちによちなかめかちにて横
池
11 32 13 さいひつゝもさいひつても陽
11 33 01 十八年に十八年に榊※
11 33 01 みこ御こ穂玉
11 33 01 おはしまさすおはしまへさす肖
11 33 02 ものゝはへなきにものゝはえなきへに榊も
のゝまはへなきに池ものゝはえなきと「とカ」
穂※
11 33 02 心やすく思ふ人々にもたいめんしナシ
玉
11 33 02 心やすく思ふ心やすく(思)横心やすくおほ
ゆる三
11 33 03 すきまほしくすきまほしく横池陽肖三
穂玉すきまほしく穂
11 33 03 なむとなむ横池玉など穂
11 33 03 のたまはせつるをのたまふ穂おほしの給は
せ「に」るを飯
11 33 04 ひころひころは三※
11 33 05 たまひぬ給はぬ「はカ」飯
11 33 05 御世を「御よを」榊
11 33 05 ことゝ事池
11 33 05 おしみなけゝとおしみなけくと飯

- 11 33 06 ことにナシ穂
11 33 07 なかりけりなかりけに「にカ」穂
11 33 07 ちしのへうのへう飯
11 33 07 たてまつりてたてまつり正
11 33 07 こもりゐたまひぬこもり給ぬ三こもりねね
カ「穂」
11 33 08 よの中の世中飯
11 33 08 つねなきによりつねなきにより「もノ上カラ
よヲ書ク」榊つねならぬにより飯
11 33 08 かくナシ横池陽肖三明穂玉徹証正飯
11 33 08 みかとのきみも御心のきみも飯
11 33 08 くらゐをざりたまひぬるにくらゐおりさせ
給ぬるに池
11 33 09 としナシ穂
11 33 09 おしからむとおしからむへと徹おもからん
と飯
11 33 09 のたまひての給へし横池陽肖三穂玉
11 33 09 左大将左大将の君も飯
11 33 10 右大臣に大臣に池右大宮に穂に飯
11 33 10 なり給てそなり給て肖
11 33 10 世中のよの玉
11 33 10 まつりことまいる事池まつりことも
飯
11 33 10 女御の君は女御君は榊池
11 33 11 御世をも御をも肖
11 33 11 まちつけ給はてまちつけ給はて「ヨイカ」
穂
11 33 11 えたまへれとえたま「へ」れと「朱」大「えた
まつれと「大成」つダガヘトヨムカ「陽

- 11 33 12 うしろのうしろへの横
11 33 12 心ちして心のして陽
11 33 12 いちの宮「いま宮池いま宮陽玉いま宮
は穂
11 33 12 はうに「はうに」「本二」ト傍記「玉はらに「は
ゝにカ」飯
11 33 13 めおとろかるゝ人めおとろかるゝ横おとろ
かるゝ肖
11 33 14 右大将の君大納言になりたまひぬ右大将君
「左にわたりて」大納言になり(かけ)給ぬ「ト
モニ注記ト同筆ノ書入カ」池右大将の君大納
言に成へ給ひてれいの左にうつり給ぬ肖右
大将の君大納言になり給へてれいの左にうつ
り給いぬ三右大将のきみは大納言に「て」な
り(れいの左にわたり)給ぬ穂
11 34 01 六条院は六条院池
11 34 01 おりるをも(り)る「朱カ」池
11 34 01 たまひぬる給ぬ穂
11 34 01 冷泉院のれせい院の榊明穂飯
11 34 01 おはしまさぬをおはさぬを徹
11 34 02 御心の内に御心の中に池三徹御ころのう
ちには陽穂玉(うちには中には玉)
11 34 02 御事なくて御事ならて横池陽三明穂飯御
事なら(く)て池御事なら(く)て三
11 34 02 すくしたまへるすくし給つる穂すかし給え
る玉過し給へる徹
11 34 03 えつたふましかりけるへえつたふましかり
ける横
11 34 03 御すくせ御すくせを榊

- 11 34 03 くちおしくくちおしう陽穂玉
- 11 34 04 人に一人(に)横
- 11 34 04 のたまひあはせぬのたまはせぬ穂
- 11 34 04 いふせくいふせう榊
- 11 34 04 春宮の女御は春宮の(母)女御は〔注記下同筆ノ書入力〕池
- 11 34 05 みこたち御子たち玉
- 11 34 05 御おほえおほんおほえ徹
- 11 34 06 おもへるにおほえるに穂
- 11 34 06 冷泉院のれせい院の榊穂せれせい院の榊
- 11 34 07 ゆへなくてゆへなくかく榊
- 11 34 07 あなかにナシ玉
- 11 34 07 かくしをきかく(かく)しをき池
- 11 34 07 御心を御心飯
- 11 34 07 御ことおほむこと横
- 11 34 08 院の御かと院みかと池院のみかをと穂
- 11 34 08 おほしめしおほし(めし)肖
- 11 34 08 やうに様に穂
- 11 34 09 みゆきも御ゆきも穂
- 11 34 09 かくてしもよくてしも玉かくしも徹証
- 11 34 09 かくてしも徹
- 11 34 09 めてたくめてたう玉
- 11 34 09 あらまほしきあらまほしき榊※
- 11 34 10 みかと(御かと)玉御(み)かと飯
- 11 34 10 おほかたの世にもおほかた世にも飯
- 11 34 12 きこえ(きこえ)榊
- 11 34 13 あかぬことなくあかぬことなくて玉

- 11 34 13 へたてもへたて三
- 11 34 13 ものからものゝ飯
- 11 34 13 おほそうのおほそらの陽穂玉
- 11 34 14 をこなひをもとをこなひをもと肖※
- 11 34 14 おもふおもひ玉
- 11 34 14 この世はかかりとこのよはかりと陽
- 11 34 14 みはてつる見いてつる玉
- 11 35 01 心ちする心のする陽
- 11 35 01 おほしゆるしてよとおほしゆるして穂
- 11 35 02 あるをあるをあるを榊
- 11 35 03 ほしいあるほいのある肖徹証正
- 11 35 03 とまりて「ト」ままりて横とまりて三玉
- 11 35 03 おほえ給ひおほえ給穂おほえ給ふ玉
- 11 35 03 ある世にあるよはひに横
- 11 35 03 かはらむかはらぬ横池
- 11 35 04 とけなむとけむ穂
- 11 35 05 おほしなれなとおほしなれそと徹
- 11 35 05 のみナシ三
- 11 35 06 御おやに(御イ)おやに三
- 11 35 07 たまへるしもそ給えるにしもそ玉
- 11 35 06 かくれかのかくれは(か)の池かくれの徹
- 11 35 07 たのもしけにたのもしけにて徹
- 11 35 08 よろこひの涙よろこひなみた玉
- 11 35 08 のこひたゝらしてのこひたゝして横榊池陽
- 11 35 09 うれしけなるうれしけ也(なる)徹
- 11 35 09 うれしけなるうれしけ也(なる)徹

- 11 35 09 御願願玉
- 11 35 10 春宮の女御春宮の女御池
- 11 35 10 御いのりに御いのりに池
- 11 35 10 までまうて榊肖穂玉徹証正「ま」うて〔後補〕明
- 11 35 11 さまのさま玉さささま飯
- 11 35 11 としことのとしころ(と)の榊
- 11 35 11 春秋のくからにかならずなき世のいのりをくはへたるくわんともけにかゝる御いきをひならてははたし給へきことおも思ひをきてざりけりたゝはしりかきたるおもむきのさえしくはかしくほとけ神もきいれ給へきことのナシ陽
- 11 35 11 春秋のくからに「横未見」横榊池
- 11 35 12 いのりをいのり穂いのりをも徹証正
- 11 35 13 給へき給へき池
- 11 35 13 おもむきのおもむき横おもむき(の)池おもむきの玉
- 11 35 14 さえしくさうしく横さえしく「う」上カラえヲ書クカ池さましく玉さえしく徹
- 11 35 14 はかしくはつかしく横はつ(かゆきて)かしく〔注記下同筆ノ書入力〕池(はかしく)徹
- 11 35 14 ことのはことの葉は玉
- 11 36 01 ひしり心にひしり(心イ)に三
- 11 36 01 ことをも事も横池肖徹証正(こと)も正

- 11 36 01 あはれにへあはれに池哀にも肖三
 11 36 01 おほけなくもおほけなく陽
 11 36 02 しはししはしは横池
 11 36 03 かるくしくもかるくしくも榊
 11 36 03 おほされさりけりおほされさりけり穂おほされけり飯
 11 36 05 うらつたひのうらつたひ玉
 11 36 05 ものさはかしかりしものさはへかしかりし
 大
 11 36 06 給へれとも給へれと榊
 11 36 06 おはしましておはしますと穂
 11 36 06 かゝるナシ玉
 11 36 07 神の「神」の「ヨメズ」穂
 11 36 07 おほむたすけは御たすけは「横未見」横池
 玉おほむたすけを穂※
 11 36 07 たいのうへもたいのうへも三
 11 36 07 きこえさせきこえとさせ「とハさカ」榊きこえ飯
 11 36 08 いみしくいみしき玉
 11 36 08 ことゝもことゝも穂
 11 36 08 そぎすてゝそぎすてゝ明
 11 36 09 はふかせたまへといふかせ給えと「本二」ト傍記「玉はふかせたまへと」正
 11 36 09 かきりかきへり徹
 11 36 10 かんたちめもかむたちめに穂
 11 36 10 大臣大臣「ヨイカ」穂
 11 36 10 ふた所をふた所三
 11 36 10 みなつかうまつり給みなつかうまつりてはみなつかうまつりたまふ陽みなつかふまつ

- り給へり穂
 11 36 11 きよけによけに飯
 11 36 11 たけたちたけたちきよけに榊
 11 36 11 かきりをかたりを「たカ」飯
 11 36 12 なけきたるなきたる穂
 11 36 12 ありけりあり玉
 11 36 12 へいしうもいしうも穂
 11 36 13 人々の人〱の池
 11 36 14 かきりをかきり三
 11 36 14 なむなんを玉
 11 36 14 近衛つかさの兵衛つかさの横池肖徹証正兵衛つかさ榊こん衛つかさの玉
 11 37 01 かきりをかきりを榊※
 11 37 01 方にはかたにも横池
 11 37 01 つかうまつれりつかうまつれる(り)肖つかうまつれる徹証正
 11 37 02 院の院の池
 11 37 02 方〱にかた〱玉
 11 37 02 つくしたるつくしたる証
 11 37 03 かんたちめの上達部部の徹上達部めの正
 11 37 03 御むま御むまそひ榊
 11 37 03 ことねりわらはことねりはらは飯
 11 37 04 なんと池ナシ玉徹
 11 37 04 かきりたるかきりたる穂
 11 37 04 たいのうへはたいのうえ玉
 11 37 04 ひとつにひとへ(つ)に「朱」大
 11 37 05 たてまつりたりたてまつり飯
 11 37 05 御くるまには御車は飯

- 11 37 06 ひとたまひ御ひとたまひ三ひとたまひ「本二」ト傍記「玉
 11 37 06 うへの御方の〱(う)への御方の〱(う)ハうノ書キ損ジ」正
 11 37 07 御あかれの御かた(あかれ)の横御あかれ「本二」ト傍記「玉
 11 37 07 さうそくありさま御さうそくともさま穂さく(う)そく有さま徹
 11 37 08 いへはいつ(へ)は「朱」大
 11 37 08 さるさるは横池陽肖三明穂玉徹証正飯
 11 37 08 はかりにはかり横池
 11 37 08 人めかしくて人めかしへて榊人めかしくて陽人めかして肖三徹証正人めかしうて肖人めかしくイて三人めかしく飯
 11 37 09 院は院飯
 11 37 09 かくかり(く)榊
 11 37 10 たちましらむもたちましらはむも榊
 11 37 10 もし思ふやうならむへもしおもふやうならん横
 11 37 10 世中をよを玉
 11 37 10 まちいてたらはとまちつけたらはと陽
 11 37 11 と御方はナシ穂
 11 37 11 給けるを給めるを徹
 11 37 11 うしろめたくてうしろめたくて「ミセケチアルカ」証
 11 37 12 御身とも御方とも穂
 11 37 13 いみしかりけるいみしかりけり飯
 11 37 13 みありさまありさま陽御ありさま徹

- 11 37 | 13 十月中の十日 | 十月中十日榊池明徹飯
- 11 37 | 14 いかきに | いかきへに三
- 11 37 | 14 色かはりて | 色かはりて肖
- 11 37 | 14 のみも | のみ横榊池陽肖三明穂玉徹証正飯
- 11 38 | 01 きかぬかほ | きかぬ「かほ」玉
- 11 38 | 02 なみかせのこゑに | なみかせのこゑに肖なみかせのこゑに徹※
- 11 38 | 02 なみかせのこゑに | なみかせのこゑに玉浪かせのこゑに徹※
- 11 38 | 02 松風に | 松かけに徹
- 11 38 | 03 ふぎたてたるは | ふぎたてたる横榊池陽肖三明穂徹証正飯 | ふぎあひ(たて)たる榊 | ふぎたてたるに玉
- 11 38 | 03 身にしみことに | 身にしみことに陽明飯 | 身にしみ | ことに「後補」明
- 11 38 | 04 ひやうし | 拍子池飯 | 兵し明
- 11 38 | 04 おとろ | 〳〵しからぬもをへと〳〵しからぬも池
- 11 38 | 05 なまめかしく | なまめかしく榊
- 11 38 | 05 すこう | すこく池肖徹証正
- 11 38 | 05 山あるに | 山の陽玉
- 11 38 | 06 かさしの | かさしのはなの横榊池陽肖三穂玉徹証正 | かさしの花の池
- 11 38 | 06 色々は | いろ〳〵玉
- 11 38 | 07 いろふ | ナシ玉徹証正
- 11 38 | 07 もとめこも | ともめこ「本二」ト傍記 | 玉
- 11 38 | 07 すゑに | すゑに「補入カ」池 | すゑも穂
- 11 38 | 08 ころき | しろき穂
- 11 38 | 09 すわう | かさねの | すわうかさねの。(イ無)

- 11 38 | 09 えひそめの | えいそめの穂
- 11 38 | 09 袖を | そてををは証 | 袖をは正
- 11 38 | 09 ひきほ | ころはしたるに | ひきほころはかしたるに穂玉
- 11 38 | 09 くれなぬ | くれなぬの陽
- 11 38 | 10 たもとの | たもと池
- 11 38 | 10 うちしく | くれたるに | うちしくれたる榊穂
- 11 38 | 10 松は | らををは | 松はらを肖
- 11 38 | 11 思ひ | わたさる | おもひわた(さ)る横 | おもひわたさる「きたたト反転ノ符号アリ」池
- 11 38 | 13 こと | ことも肖徹証正
- 11 38 | 13 おほ | しいてられ | おほしいてられて榊
- 11 38 | 14 その | よのこと | そのこと飯
- 11 39 | 01 ち | しの | おとをそ | ち(し)のおとをそ「朱」大 | ちしのおとをそ陽
- 11 39 | 03 御 | たむか | みに | 御たむか | みに榊玉徹 | 御たむか | みに徹
- 11 39 | 04 うち | し | ほたる | うち | し | ほれたる | 玉証正 | うちし | ほれたる徹
- 11 39 | 04 か | る | よを | か | る | よく〳〵「本二」ト傍記 | 玉
- 11 39 | 05 女 | 御の | 君の | 女 | 御 | 君 | 玉
- 11 39 | 05 お | は | せ | し | あり | さま | へお | は | せ | し | 御 | 有 | さま | 榊
- 11 39 | 06 程 | を | ほと | 横池
- 11 39 | 06 思 | ふ | 思 | ひ | 榊 | 〳〵「ヲ」も | ひ | 穂 | 玉
- 11 39 | 07 ゆ | 〳〵 | 〳〵 | と | ゆ | か | し | と | 玉
- 11 39 | 08 す | み | の | え | を | す | み | よ | し | (の | え) | を | 池

- 11 39 | 08 け | ふ | や | 〳〵 | け | ふ | へ | 〳〵 | 横
- 11 39 | 09 うち | お | も | ひ | ける | うち | お | も | ひ | ける | 池
- 11 39 | 09 ま | 〳〵 | な | り | け | り | ま | 〳〵 | な | り | け | り | 榊 | さ | ま | な | り | け | り | 三
- 11 39 | 10 ま | つ | わ | す | ら | れ | ね | ま | つ | わ | す | ら | ね | 玉
- 11 39 | 10 と | ひ | と | り | こ | ち | け | り | ひ | と | り | こ | ち | け | り | 徹 | 証 | 正
- 11 39 | 11 夜 | ひ | と | よ | 一 | 夜 | 池
- 11 39 | 11 た | ま | ふ | 給 | ひ | 玉
- 11 39 | 11 は | つ | か | の | 月 | は | つ | か | の | 月 | は | つ | か | の | 月 | 三 | は | つ | か | は | つ | か | の | 月 | 先 | 出 | は | つ | か | は | は | へ | る | カ | 飯
- 11 39 | 12 し | も | の | し | も | 横池
- 11 39 | 12 こ | ち | た | く | こ | ち | た | う | 玉
- 11 39 | 13 そ | 〳〵 | ろ | さ | む | く | そ | 〳〵 | ろ | ぞ | (さ) | む | く | 徹
- 11 39 | 13 あ | は | れ | さ | も | ナ | シ | 玉 | 徹 | 証 | 正
- 11 39 | 13 た | い | の | う | へ | た | い | の | う | (う) | へ | 飯
- 11 39 | 14 け | ふ | ある | け | う | ある | 陽 | 肖
- 11 39 | 14 め | な | れ | 〳〵 | め | (め) | な | れ | 池 | ※
- 11 39 | 14 給 | け | れ | 給 | け | れ | は | 肖
- 11 40 | 01 み | か | と | よ | り | み | て | し | 飯
- 11 40 | 01 し | 給 | は | す | し | た | ま | は | へ | す | 〳〵 | 横
- 11 40 | 01 か | く | ナ | シ | 三
- 11 40 | 01 ま | た | ナ | シ | 池
- 11 40 | 02 お | か | しく | 〳〵 | を | か | しく | 〳〵 | 横 | 未 | 見 | 横池
- 11 40 | 03 す | み | の | 江 | の | す | み | よ | し | の | 横池
- 11 40 | 03 神 | の | け | けた | る | あ | き | (カ | ミ) | の | け | けた | る | 穂
- 11 40 | 03 た | か | む | ら | の | 朝 | 臣 | の | た | か | む | ら | の | あ | そ | む | 飯
- 11 40 | 04 山 | さ | へ | と | 山 | さ | と | へ | と | 陽
- 11 40 | 04 ま | つ | り | の | こ | 〳〵 | う | けた | ま | ふ | ま | つ | り | 心 | う | けた | 〳〵

まふ横まつり(神)心う(か)け給池まつりの
心うけ給し三まつりのころうけ給はる穂ま
つりのころうけ給玉

11 40 05 しろしナシ徹
11 40 05 たのもしくたのもしう榊

11 40 05 なむナシ穂

11 40 05 女御のきみ女御君池明飯女君玉

11 40 06 中つかさのきみ中務君三

11 40 08 はふりこかはふりこは横池

11 40 08 ゆふうちまかひゆふうちはら(まか)ひ

池

11 40 08 いちしろきいつしろき「つか」穂

11 40 09 かすしらすかすもしらす横池

11 40 09 なにせむにかはなにせむ「に」かは明

11 40 10 上手めきしやうすめき横池しやうすめきて

横

11 40 10 おとこたちもをとこたちの穂おとこたち

玉

11 40 10 いてきえしていてきえにして玉いてきにし

て飯

11 40 10 いまめかしきいまへめかかしき証

11 40 11 なければなれは玉

11 40 12 たとしきまてたとしく徹

11 40 12 ともとの横池陽肖三明穂玉徹証正飯

11 40 12 かほをは「カ」ほは榊「カ」をは「ト

ルカ」明

11 40 13 しろして穂

11 40 13 おもしろきことにをもしろき事どもに榊お

もしろき玉※

11 40 13 しめりたるにしめたるに玉しめりたる
飯

11 40 13 なをナシ穂

11 40 13 万さいとさはと横まさいと榊

池明飯まんさいと玉

11 40 14 さかき葉をさかきを飯

11 40 14 とりかへしつとりし返つ池

11 40 14 いとしきやいとをしきや玉

11 41 02 夜のよの榊池三明玉飯

11 41 02 あらて補入横

11 41 02 かへるなみにかへるなみに横かへるな

みたに池

11 41 02 ちおしくくつをししく穂

11 41 02 おもふおもひ玉

11 41 04 かけにかけそ玉

11 41 04 ひきくわへたるとひきくわへたると穂ひき

はへたると徹

11 41 06 めてたしとはめてたしとは横めてたしと

穂玉めへてたしと玉

11 41 06 おまへにもおまへには横池御まへにも榊穂

玉飯へおまへにはは

11 41 07 おしきにおしきに飯

11 41 07 をりておりし(し)て三

11 41 07 さうし物をさうし物に(を)肖さうしの物

穂さうしみものを玉

11 41 07 女の女玉

11 41 08 をのかしはおのをのかしは穂

11 41 08 ことしくてことしくて横池たこと

としくて榊

11 41 09 所せけなりしを所せけなりしを穂所せけな
り玉所せき(け)なりしを証所せか(け)な
りしを飯

11 41 09 かへさは返きは「横未見」横池かへるさは

榊

11 41 09 つくし給いひつくるもつくしつくるも

玉

11 41 10 ことともことへとも正

11 41 10 御ありさまをも御有さまともをも榊御あり

さまともを陽玉有さまともを穂御有さまを

徹

11 41 11 かの入道のかの入道穂

11 41 11 かけはなれかけはなへれ池

11 41 11 たまへるたうへる「池ハウラマニ直スカ」横

池陽三明たえつる穂

11 41 11 なん也(なん)徹也証

11 41 11 あかさりけるかたあかさりける榊

11 41 11 かたきことかたこと横かた「い」こと「朱カ」

池かた「き」こと明

11 41 12 ましらはましもましらは(ま)しも榊ましは

ましも穂ましら(は)ましも穂

11 41 12 みくるしくやみくるしや横池徹証正

11 41 13 ころ心玉

11 41 13 めてあさみめてあそひ穂

11 41 14 あま君(あ)まき横

11 41 14 さいはい人に(さ)いはひ人に池※

11 41 14 かのちの大殿かのあさみよのくさにはち

しのおほと「注記」同筆ノ書入力池
大殿の大殿「虫損、推読」榊※

- 11 41-14 あふみのきみはあふみの君飯
- 11 42-01 あかしのあま君くあかしのあまきへみく
く「未見」横くあかしのイくあまきみく三くあ
かしの君く玉
- 11 42-01 さいはこひけるさいはこひける「らノ上カラ
こヲ書ク」池
- 11 42-01 御をこなひを御をこなひを徹
- 11 42-02 いみしくいみしう陽穂
- 11 42-02 行幸になむ行幸にもなん横行かうにもなむ
- 池※
- 11 42-02 むかし昔の証
- 11 42-03 思ひいてられ思いてへられ榊
- 11 42-03 ひめ宮ひめ君陽三飯
- 11 42-03 猶えおほしはなたてなをもおほしはなたて
三※
- 11 42-04 この院をはこの院を榊この院穂
- 11 42-04 猶ナシ陽穂玉
- 11 42-04 内くのうちへうちくの横
- 11 42-05 なりたまひてならせり給て横
- 11 42-06 たいのうへたいのうへ榊
- 11 42-06 かくナシ横池よく「よカ」穂
- 11 42-06 方くにかたく池陽穂玉かたくに
池
- 11 42-07 御もてなしに人には御もてなしには穂
- 11 42-07 とし年も玉
- 11 42-07 御心はへも御心くはえも徹く御心くはへも
証
- 11 42-08 つるにつるには「はハ補入力」徹
- 11 42-08 さらにむ世をさらにぬよを池

- 11 42-09 えきこえ給はずきこえ給はず肖徹証正
- 11 42-10 御心よせ御心よよせ横
- 11 42-10 きこえ給へはきこえさせたまへは穂
- 11 42-11 やうくやを穂
- 11 42-11 ひとしきひさしき玉
- 11 42-11 やうにほとに横玉やうに榊程やうに池
※
- 11 42-12 ことくはりととはことほりととは「未見」横事
くことほりととは玉く事くことほりととは証事
とはりととは飯
- 11 42-12 おほされけれとをほされけれと榊※
- 11 42-12 猶ナシ徹証正
- 11 42-13 すくしすこし榊
- 11 42-13 春宮の春宮玉
- 11 42-13 女一の宮を女一宮を榊池穂
- 11 43-01 なくさめ給ひけるなくさみ給ける池※
- 11 43-01 いつれもいつれと飯
- 11 43-01 うつくしくうつくし池
- 11 43-02 御方は御方には榊
- 11 43-02 うらやみてうらやましくみて池
- 11 43-03 むかへてそむかへてそ池むかへくそ
飯
- 11 43-03 いとおかしけにていとをしけにて穂玉
- 11 43-03 ほとよりはほとよりもはイ三
- 11 43-04 されおよすけたれはされをよすけにたれは
穂
- 11 43-04 御つきと御つきく飯
- 11 43-04 おほししかとおほししかと飯

- 11 43-05 するくにするに横池陽肖三明穂徹証正
飯する玉
- 11 43-05 たまふを給をたまふを横
- 11 43-06 たナシ穂
- 11 43-06 たまひてそ給そ穂
- 11 43-06 給ける給へる三
- 11 43-06 右の大殿の右大ぬ殿く榊池右くおほい大殿
の池右大とのく三明右大将の穂飯右大将
殿の穂※
- 11 43-07 つかうまつりつかふうまつり横
- 11 43-07 いまはナシ玉
- 11 43-08 かのナシ穂
- 11 43-08 思ひはなれ思はなへれ三
- 11 43-09 まうてたまふまうて給つく横榊池陽肖穂玉
徹証正給つく三まかて給飯
- 11 43-09 あらまほしくあらまほしう榊
- 11 43-09 きこえかはしきこへかよはし榊
- 11 43-10 のみへのみく横
- 11 43-10 おなしさまにナシ穂
- 11 43-10 女御の君は女御君は池三徹
- 11 43-11 この宮をはこの宮を池穂玉この宮をは
池
- 11 43-11 いと心くるしくいと心くるしう榊陽玉くい
と心くるしうく榊
- 11 43-13 世ちかくまちかく玉
- 11 43-13 物心ほそきをも心ほそきを飯
- 11 43-13 かへりみしとかへりみしとは肖証正
- 11 43-14 思ひすつれと思ひつれと池陽穂玉思ひつ
れと池おもひすつれと明

- 11 44-01 さるへき事也さるへき(事)也「朱」大
- 11 44-02 御けしき御氣宮色榊※
- 11 44-02 にてへにて池
- 11 44-02 すゝみすゝめ穂
- 11 44-02 かうかく榊ナシ穂
- 11 44-03 給ひけるか給ける(か)横
- 11 44-03 まいり給へきことまいり給へき事なにわざをしてか御らんせさせ給へきと榊
- 11 44-03 おほしまうくおほしまうて穂
- 11 44-03 ついてなくついてなくへ肖ついてなる(くてイ)三
- 11 44-04 さまにてやははひわたりさまにてやは(は)ひわたり「朱」大さまにへやははひわたり横さまにてやへ(は)はひわたり池さまにてやははひわたり肖さまにてやははひわたり証正
- 11 44-05 おほしめくらすナシ陽穂玉おほしめくらすに肖三
- 11 44-05 このへこの横
- 11 44-05 たり給はむわたりたまはん穂玉たも給はん飯
- 11 44-05 わかななどわかなど池
- 11 44-05 てうしてやなどてうしてやと横榊池陽肖三
- 11 44-06 さまのさま横池穂
- 11 44-06 御まうけの御まうけ陽御まうけの明御まうけの「符号アルカ」証
- 11 44-07 かはれるかは(れ)る三
- 11 44-07 ことゝも事「とも」榊

- 11 44-07 御心しらひ御(心)しらひ三
- 11 44-07 おほしめくらすおほしめくらすに三おほしめくらす「に」後補「明おほしめくらす」
- 11 44-08 とゝめさせとゝめさせ「入ノ上カラとヲ書ク」榊とゝめ穂
- 11 44-08 給へりしかは給へりしかは榊
- 11 44-08 などをなとへを榊
- 11 44-09 すくれたるすくれたる「ヨイカ」飯
- 11 44-09 右のおほ殿の右大殿榊三明右おほ殿の池徹右大(おほい)殿の池右のおほい殿の徹右大将の飯
- 11 44-09 ふたり補入横
- 11 44-10 内侍のすけはらのないしのすけのはらの横
- 11 44-10 かみのはかみのへは徹
- 11 44-10 兵部卿の宮の兵部卿宮の榊池三明徹飯兵部卿の穂
- 11 44-11 わらはナシ穂
- 11 44-12 殿上のきみたちも殿上のきむたちも徹
- 11 44-13 心ことなるへきを心となるへきを飯
- 11 44-13 あまたの(あまたの)徹
- 11 44-13 まうけを(まうけ)を池
- 11 44-14 ことゝてことをとて榊
- 11 44-14 ものゝしものゝ三玉ものし飯
- 11 45-01 いとまなきいとまめき飯
- 11 45-01 琴の御ことをきんの御ことを「他本」榊池明徹飯

- 11 45-01 なむナシ徹
- 11 45-01 いとわかくていとにわかくて陽※
- 11 45-02 たまひしかは給にしかは横榊陽三穂給にしかは池給はましかは玉
- 11 45-03 御ことのね御琴のね徹証正
- 11 45-03 きかまほしきかすまほしき穂
- 11 45-03 琴はかりはひきとり給へらむとナシ穂
- 11 45-03 琴きん横池三明玉徹飯琴榊※
- 11 45-03 給へらむ給へらん榊給つらん池肖明徹証正飯※
- 11 45-04 給けるを給けるは穂
- 11 45-05 御まへにて御前にて榊明飯おまへにて陽飯※
- 11 45-05 まいりきてまいりて肖三徹ナシ穂まいりきて徹
- 11 45-06 おとの君はをととの君榊
- 11 45-06 ついてことにはついてことに玉徹
- 11 45-07 まさりたまひにたれとまさりたまふにたれと穂
- 11 45-08 物ふかきふかき徹
- 11 45-08 なに心もなくてなに心し(も)なくて池なにこゝろもなく穂なに心なくて玉
- 11 45-08 たまへらむ給へらむに榊給へ御覧の穂
- 11 45-09 きこしめさむとナシ玉
- 11 45-09 はしたなかるへきはした(な)かるへき池
- 11 45-10 おほしておほえて「三八えかし力微妙」横池三

- 11 45-10 このころそこのころは横池こころそ
- 穂
- 11 45-11 おもしろきナシ三
- 11 45-11 かはるへきかはる榊
- 11 45-11 ひき補入横
- 11 45-12 いてゝいてへて横
- 11 45-12 やむことなかるへきやこむとなかるへき
- 玉
- 11 45-14 なり給なり給まゝにいとよくなり給榊なり
- [給]明
- 11 45-14 ゆしあむするゆかしあんする玉
- 11 46-01 心も心をも榊
- 11 46-02 そのころはへそのころは榊そこのころ
- は池そのころは陽玉※
- 11 46-02 御いとまいとま徹
- 11 46-02 女御のきみにも女御のきみも横三女御の君
- へに池
- 11 46-03 琴はきんは横池三明穂玉徹飯
- 11 46-03 ならばしならばし横
- 11 46-03 たてまつり給はざりければたてまつりたまふ
- ざりければ穂たてまつらざりければ玉
- 11 46-03 このおりこのおりへ穂
- 11 46-04 手ともとも穂
- 11 46-04 ひき給らんをひき給はんを横池ひき給へら
- んを榊
- 11 46-04 ゆかしとゆかしか(と)池
- 11 46-05 まかてまかむて穂
- 11 46-05 みこ御こ玉
- 11 46-05 ふた所ふたところ「傍記みアルカ」池

- 11 46-05 又もまたし「本二」ト傍記玉
- 11 46-07 十一月十一日横池陽肖三明穂玉飯十一日
- (月イ)肖
- 11 46-07 御せうそこ御せうそく穂御消息玉
- 11 46-07 うちしきりうちつぎ(しきり)池
- 11 46-08 かくよく「ヨイカ」穂
- 11 46-08 よるのよなよなの肖玉徹証正※
- 11 46-08 うらやましくうらやみ給てましく榊ナシ池
- 陽穂玉うらやましく池
- 11 46-09 夜のよの「池ハ削訂カ」榊池明飯ナシ穂
- ※
- 11 46-09 御心心池
- 11 46-10 夜のよの榊明穂飯
- 11 46-10 ひきたまひつゝひき給て穂
- 11 46-11 このかたにへこのかたに池
- 11 46-11 ほのめきたるに心えたるは榊
- 11 46-11 御ことゝも御ことゝもを穂玉
- 11 46-11 ひかせてひかせてそ三
- 11 46-11 あそひなとし給あそひ給なとし給榊
- 11 46-12 くれつかたはくれ方は穂くれつ△たは
- 飯
- 11 46-12 なたにはなとに「は」「本行二書人」明
- 11 46-12 こなたかなたのこなた「かなた」の証
- 11 46-13 御らむしいるゝ御覧しいる飯
- 11 46-13 事とも事も榊陽玉
- 11 46-13 うらゝかならむうらゝかならむ正
- 11 46-13 夕へなとに夕へなとに榊
- 11 46-14 御ことのね御琴のね徹
- 11 46-14 としかへりぬ年かえるに玉

- 11 47-01 ことゝもことへとも証
- 11 47-01 こちたぎにこちへたぎに大いとこちたぎに
- 横池陽三穂玉
- 11 47-01 さしあひてはあ(さ)しあひては池
- 11 47-01 ひんなくひんなからんく「からノ上カラ」
- ヲ書キ、ミセケチカ」榊
- 11 47-02 すこしたまふすくし給横池陽三穂玉徹
- ※
- 11 47-02 二月十日と二月十日よひと池二月十
- 余日にと穂二月十日よひと玉
- 11 47-02 きたためたまひてきたためて榊
- 11 47-02 かくにんかく肖
- 11 47-02 御あそひあそひ明飯「御あそひ」後補明
- 11 47-03 たえすたえすあり横池陽三穂玉
- 11 47-03 ゆかしくするゆかしうする陽穂
- 11 47-03 御ことのね御琴のね徹証正
- 11 47-03 いかていかてか陽玉※
- 11 47-03 かの人々のほの人々の横この人への榊池
- 陽肖玉徹証正か(こ)の人々の池人への
- 穂
- 11 47-03 さうひはのねもしやうのことひわのねも横
- 「さうひはの」ねも榊さ(う)ひはのねも
- 肖ことひはのねも穂玉
- 11 47-05 み心しらひ御心しらひ徹
- 11 47-05 ともにもとも穂
- 11 47-05 まさらねまさらぬ(ねは)池
- 11 47-05 はかしくはかしくしう玉
- 11 47-06 おさへナシ穂
- 11 47-06 いかていかてか穂

- 11 52 07 なりにけるなりける横池
- 11 52 08 大将 大将は榊
- 11 52 08 拍子 ひやうし榊三穂玉 兵し明
- 11 52 08 さうか しゃうか穂
- 11 52 08 うちならしてへうちならして池
- 11 52 09 御こゑ 御御こゑ横
- 11 52 09 ふつゝかにふつゝかに大ふつかに
- 穂
- 11 52 10 きこゆきこゆる飯
- 11 52 10 こゑは横こゑは池
- 11 52 10 夜のよの榊池三明穂玉
- 11 52 11 夜のよの池明玉夜(よ)の飯
- 11 52 11 ころなれば比なれ共飯
- 11 52 12 こなたかなたにこなたかなたに横こ
- なたかなたに榊
- 11 52 12 ともさせへともさせ榊
- 11 52 13 あるへあるへ横
- 11 52 13 心ちすこちして穂
- 11 52 13 にほひやかなるにほひやかなる証正
- 11 52 14 方はかた榊池
- 11 52 14 をくれてすくなくて穂
- 11 52 14 二月の中十日二月のなかの十日榊二月の中
- の廿日池 二月中の十日陽穂 二月中の十日
- 肖玉 二月中のへ十日肖 二月中十日徹飯
- ※
- 11 53 01 したりはしめたらむしたりはしめらむ陽し
- たりはしめたる玉
- 11 53 01 うくひすのうくひすの榊
- 11 53 01 みたれぬへくみたれぬへう榊

- 11 53 02 ほそなかにほそなかに陽
- 11 53 02 御くしは御くし穂
- 11 53 02 ひとりみきよりさ右より飯
- 11 53 03 これこそはこれこそ(こそ)は榊これこそ
- 飯
- 11 53 03 御ありさま御さま池陽穂玉御ありさま
- 池
- 11 53 04 御なまめきすかたの御なまめきすかた
- 玉
- 11 53 05 心にくにくゝ飯
- 11 53 05 よくへよく徹
- 11 53 05 さきこほれたるさきこほれたり「り力」
- 飯
- 11 53 05 夏にかゝりてな(ま)つにかゝりて池
- 11 53 06 あさほらけのあさかほらけの「ミセケチアル
- 力」証
- 11 53 06 心ちぞ心ちへそ池玉
- 11 53 06 し給へるし給たる穂
- 11 53 06 ふくらかなる…11 56 07 まさるところなるそ
- 「錯簡」三
- 11 53 06 ふくらかなるほとにふくらかなる(程)物に
- 池 ふくらか(なる程)に徹 ふくらかになるほ
- とに証正
- 11 53 07 給ければ給ければ「は二もノ傍記アルカ」
- 池 給いける穂
- 11 53 07 御ことも御ことは池徹御ことも穂
- 11 53 08 給へりさやかになよひかりナシ穂
- 11 53 08 給へり給へる横池徹ナシ玉
- 11 53 08 なよひなより飯

- 11 53 09 ことさらにことさらに玉
- 11 53 10 きよらにてきよらにて横
- 11 53 11 えひそめにやゑいそめにや穂
- 11 53 11 色こきこうちぎいろこきこうちぎ「はノ上カ
- ラチヲ書クカ」榊 いろこきこうちぎ陽色こき
- へこうちぎ徹 いろよきこうちぎ飯※
- 正飯
- 11 53 12 ゆるらかにゆるかに横榊池陽肖明穂徹証
- 11 53 13 よきほとにうきほとに飯
- 11 53 13 あたりにあたり横池穂玉徹飯
- 11 53 14 たとへてもたとへても「も」明
- 11 53 14 ものよりものよりことに池
- 11 54 01 御あたりに御あたりにには榊御わたり
- 穂
- 11 54 01 けをさるへきをけをさへさるへきを穂
- 11 54 02 はつかしくはつかしう玉
- 11 54 02 ゆかしきゆかしき榊※
- 11 54 03 ほそなかにほそなか横榊池陽肖三明穂玉徹
- 証正飯
- 11 54 03 もえきにやもえ(き)にや正
- 11 54 04 心にく心に(く)榊
- 11 54 05 あをちのあまちの飯
- 11 54 05 まほにもまをにも榊三まうにも玉まほに
- も徹
- 11 54 06 ひはをひは玉
- 11 54 07 又ナシ榊
- 11 54 07 なつかしくてなつかしく穂
- 11 54 07 さ月まつ五月まつ榊玉

- 11 54 07 花たちはなの はなたちはな横榊池陽三明穂
- 玉飯
- 11 54 07 はなもも玉飯
- 11 54 08 かほりかほりと榊
- 11 54 08 おほゆおほゆる玉
- 11 54 08 御けはひともを御けはひを徹
- 11 54 08 きみ給にきみ給に池陽きみ給に池見
- 給に玉※
- 11 54 09 ゆかしくゆかしう玉ゆかしくて徹
- 11 54 10 たまへらむ給らん玉
- 11 54 10 ありさまありさまの横
- 11 54 10 しつ心もなししつ心もなき(し)榊しつこ
- ろなし穂
- 11 54 11 わかものにてわかものにもも陽
- 11 54 11 みたてまつりてましみたてまつら(り)へて
- まし池
- 11 54 11 くやしきやくやしき榊穂くちをしや池い
- とくやしきや三
- 11 54 12 のたまはせけるをとのたまはせけるを
- 榊
- 11 54 12 思へとおもへは(と)榊
- 11 54 13 方にかたにも玉
- 11 54 13 御けはひに御けはひに(を)池へ御けはひ
- に徹
- 11 54 14 うこかさりけりうこかさりへけり榊
- 11 54 14 御方をはへ御方方をは肖御方を飯
- 11 54 14 けとをくてけとをく榊
- 11 55 01 いかてかいかてかは「は八補入力」穂
- 11 55 01 心よせ心をよせ玉心よせ「よ力」証

- 11 55 01 みえたてまつらむと許のみえたてまつらん
- にとはかり玉
- 11 55 02 なりけりなりへけり「朱」大はかりなりけ
- り三なり穂
- 11 55 02 あるましくあるましく榊ナシ玉
- 11 55 02 おほけなきおほけ(けい)なき三
- 11 55 03 心ちなとは心なとは横榊池陽肖三玉徹証
- 正心なとは肖
- 11 55 03 夜よ池明飯
- 11 55 03 ふけゆくけはひふけゆくは池ふけゆくはか
- せ(くけはひイ)三
- 11 55 04 はつかにわつかに玉
- 11 55 04 おほろ月よおほろ月夜に池飯おほろ月夜
- 穂玉
- 11 55 05 かうやうなるかやうなる横池穂玉かへうや
- うなる証
- 11 55 05 ものねにものねへに池
- 11 55 06 ひきそふひひきそふ榊※
- 11 55 06 大将の君大将君池
- 11 55 06 秋のよの秋の夜の榊池三玉
- 11 55 07 よろつものよよろつもの横池よろつもの
- の三明よろつもの玉
- 11 55 07 心ちは心ち榊
- 11 55 08 し侍れとし侍と穂玉
- 11 55 08 つくりあはせたるつくりあはせたる(る)
- 榊
- 11 55 08 やうなる様なる穂
- 11 55 08 花のつゆにも花のつゆにへも「朱」大はな
- のつゆも横榊池陽肖三玉徹証正飯

- 11 55 09 かきりこそ侍れかきりこそ侍れイ三
- 11 55 09 春のそらの花のそらの横池
- 11 55 09 かすみのまよりかすみへまより榊
- 11 55 10 おほろなるをへほろなる榊
- 11 55 10 やうには様には穂
- 11 55 10 いかてかいかてかは榊いかへてか徹
- 11 55 11 すみのほりはてすなむすみのほりはてなん
- 横徹証正
- 11 55 11 侍けるけに侍けるけに「未見」横侍りけ
- るに穂
- 11 55 12 けにさなむ侍けるナシ徹証正
- 11 55 12 なつかしくなつかしう榊陽穂なつかしく三
- ※
- 11 55 12 ものとのほるものとのと(と)のほる榊も
- のへねとのおる池
- 11 55 13 侍れれと侍へれと榊侍れれと三
- 11 55 13 人のへ人の榊
- 11 55 13 わきかねたるはきかねたる穂
- 11 55 13 すゑの世にすゑの世に徹
- 11 55 14 くれたるすくれたる横池くくれる玉
- 11 55 14 人のひと飯
- 11 55 14 えあきらめははつましくえあきらめはは
- つましく大えあきらめはつましく横榊池陽
- 肖三明穂玉徹証正飯(はつましくはつましう
- 玉)へえあきらめはつましく榊※
- 11 55 14 こくのものともはこくの物ともは「こくニモ
- ミセケチカ」榊
- 11 56 01 しもけにしりけに穂
- 11 56 01 したるはしたる陽穂玉

- 11 56 | 01 ありかしありしか玉
- 11 56 | 02 いうそくいうそくの横榊池陽肖三明穂玉徹
証正飯
- 11 56 | 02 おほえたかきおほえたかき人榊
- 11 56 | 02 その人かの人その人かの人榊その人かの人
の穂
- 11 56 | 02 御前御まへ池穂御せん玉※
- 11 56 | 02 たひくたいく玉
- 11 56 | 03 すくれたるはすくれたる(はい)三
- 11 56 | 03 なりためるをなりにためるを横池陽穂玉な
りにたんめるを玉
- 11 56 | 03 このかみとこのみと横このかみ陽かみと
玉へこのかみと徹
- 11 56 | 03 上手ともしやうすとも穂
- 11 56 | 04 えまねひとらぬえまねひとめぬ横まねひ
とらぬ穂
- 11 56 | 04 ほのかなるかくほのかなる「穂ハかく二楽ヲ
宛テル」横榊池陽肖三明穂玉徹証正飯
- 11 56 | 04 御中に御なかに池
- 11 56 | 05 きはなるへくきひはなるへく穂
- 11 56 | 05 こそへこそ徹
- 11 56 | 05 すくすにすくすに横過すに徹
- 11 56 | 06 なりにたるにや成たるにや肖玉徹証正なり
にたるや飯
- 11 56 | 06 ちおしうくちをしく榊池三玉
- 11 56 | 06 あやしくあやしう穂
- 11 56 | 07 とりすることとりすることとも横榊
池肖明飯とりする事との三
- 11 56 | 07 ものはえはえ三

- 11 56 | 07 御前の御まへの横池玉
- 11 56 | 08 それをなむ(それ)をなむ肖
- 11 56 | 09 思ひ侍りつれとおもひ侍つれと池
- 11 56 | 09 あきらかならぬかならぬ穂
- 11 56 | 10 思給ふるおもふ給る榊三おもふたまふる
三おもひ給ふる明穂玉思給る徹思たらふ
る飯
- 11 56 | 10 のほりての世をのほりて世を陽
- 11 56 | 10 侍らねはにや侍らねはや穂徹
- 11 56 | 10 衛門督のゑもんのかみの榊三明穂玉飯
- 11 56 | 10 兵部卿宮の兵部卿の宮の穂玉
- 11 56 | 11 御ひわなとを御ひはなと横御ひは(わ)な
と池
- 11 56 | 11 めつらかなるめつらしかなる穂めつらしか
る玉
- 11 56 | 11 ためしにためしにも穂
- 11 56 | 11 侍めれ侍へめれ陽肖徹証正はへめれ三明
飯侍めかんめれ穂侍るめれ玉
- 11 56 | 11 かたはらなきをかたはらなきへ横
- 11 56 | 12 ものねとものみな物のねとものみなむ
徹
- 11 56 | 12 みおとろき侍はおとろき侍れば穂みを
とろき侍は玉
- 11 56 | 13 思給へたゆみける思ふたまへたゆみける横
池三明飯思ひたまへたゆみける穂玉
- 11 56 | 14 なといとつかうまつりにくなむ和琴はかの
おと許ナシ飯
- 11 56 | 14 かくナシ陽
- 11 57 | 01 こしらへこしらへ榊

- 11 57 | 01 まかせてまかせ横池
- 11 57 | 01 給へるは給へる横池
- 11 57 | 01 いといと陽
- 11 57 | 01 ものし給へものし給えり玉
- 11 57 | 02 きはなれぬきはへなれぬ正
- 11 57 | 02 侍へめるをはへめるを横池三明徹飯侍める
を榊穂侍るめるを玉
- 11 57 | 02 かしこくかしく池
- 11 57 | 02 とのひてこそとのひてこと横池
- 11 57 | 03 いとさいいとく穂いとさまて玉いと
飯
- 11 57 | 04 ほゑみほゑみ榊※
- 11 57 | 05 こへこへに「補入符号ノミ後補」明ナ
シ穂
- 11 57 | 05 ちいるへきくちは(い)るへき榊
- 11 57 | 05 こと事も玉
- 11 57 | 06 ことなるへしとなるへし飯
- 11 57 | 06 所にて所にて「にカ」飯
- 11 57 | 06 きはしめたりしにきはしめぬ世に
玉
- 11 57 | 06 ものこゑもの「の」こゑ榊ものこゑ陽
※
- 11 57 | 07 なむ(なん)横
- 11 57 | 07 おほえしかとおほえしかとも玉
- 11 57 | 07 そのおりよりはそのおりには三
- 11 57 | 07 まさりにたるまさりたる玉
- 11 57 | 08 われかしこにわれかしこ「かほ」に玉
- 11 57 | 08 かこちかこち(たり)「後補」明
- 11 57 | 08 給へはつ玉

- 11 57 08 女房などは女房など穂
- 11 57 08 つきしろふつきしろ玉
- 11 57 09 いつれもきはなくいつれともなきはなく
- 玉
- 11 57 09 なくおほえつゝわか心ちにあくへきかきり補
- 入横
- 11 57 09 おほえつゝおほえつる(つ)榊
- 11 57 09 心ちに心ちに陽※
- 11 57 10 あくへきわくへき穂あるへき飯
- 11 57 10 かきりなくかきりなう榊
- 11 57 10 ならひとらむならひと(ら)む肖
- 11 57 10 けれとなにかはそのたとりふか補入横
- 11 57 10 たとりふかきをとりふかき榊たちふかき
- 玉
- 11 57 11 かたはしをかたはしも穂
- 11 57 12 人ナシ玉
- 11 57 12 かたかたとにかたことにや池かたとに穂
- 11 57 12 琴きむ横池三明穂玉飯こと肖
- 11 57 13 物はは飯
- 11 57 13 ありけるありけり穂ありけるか飯
- 11 57 13 このことはこのこと陽この事とも穂
- 11 57 14 天地を天(つ)ちを池てんちを「他本ヨイカ」
- 穂
- 11 57 14 やわらけやはしけ穂
- 11 57 14 うちにそらに陽玉
- 11 57 14 かなしひふかきかなしひふる(か)き榊かなしきふかき池
- 11 58 01 いやしくいやしう玉
- 11 58 02 たからにあつかりナシ陽

- 11 58 02 ゆるさるゝゆるさる徹証正
- 11 58 02 おほかりけりおほかり陽
- 11 58 03 ふかくふかき(く)池
- 11 58 03 おほくのおほく穂
- 11 58 04 すこしすくし横榊池陽三明穂飯
- 11 58 04 たにたにも穂
- 11 58 05 ありけるありけるを三ありけり飯
- 11 58 05 あきらかにあきらかなる陽
- 11 58 05 うこかしうこかしたるに(イ無)三
- 11 58 06 ふらせくもふらせてくも榊ふらし(せ)ても池
- 11 58 06 いかつちいる月横いか月(つち)「薄墨カ、ノドニアタリ不明」池
- 11 58 06 さはかしたるさはかし肖※
- 11 58 07 ならひとるならひた(と)る横ならひたる
- 穂飯
- 11 58 07 ありかたくありかたう玉
- 11 58 07 なれはにやなれは(に)や明
- 11 58 07 いつこのいつらの陽いつくの三
- 11 58 08 そのかみのそのの神の玉
- 11 58 08 かたはしにかはかたはしにか(は)榊
- 11 58 08 かの(か)の榊
- 11 58 08 かたふきそめにけるかたふきそめける榊かたふけそめける陽
- 11 58 09 物なれはナシ玉
- 11 58 10 のち(のち)榊
- 11 58 10 よからすよからすありける横
- 11 58 10 とかいふといふ玉

- 11 58 10 なむをつけてなん(へ)つけて榊なをつけて「穂ハなニ名ヲ宛テル」陽穂玉
- 11 58 10 うるさきまゝにうちさきまゝに陽
- 11 58 11 うちおしき事にこそ口おしきにこそ徹証正
- 正
- 11 58 11 はなれてははなれて(は)榊
- 11 58 11 なにことをかなにをか榊なに事か三
- 11 58 12 ものを徹もの証正
- 11 58 12 とゝのへしる(へ)とはとゝのへしるしるへと(は)榊とゝのへしる人(しるへ)とは池とゝのへしるへとは穂とゝのへしるへきは飯
- 11 58 12 けにナシ陽徹
- 11 58 13 心をたてゝナシ玉
- 11 58 13 もろこしこまともろこしまてと穂
- 11 58 13 この世に(へこイ)のよに三
- 11 58 14 まとひナシ穂
- 11 58 14 はなれむことははなれん事(は)池※
- 11 59 01 するはかりのしるかきりの玉
- 11 59 01 しりをかきらむしをかきらん榊
- 11 59 02 はかりもなきはかりなき陽
- 11 59 02 物なゝり物なんなり穂玉
- 11 59 03 わつらはしきはつかしき穂
- 11 59 03 こくこゑ玉
- 11 59 03 心にいりしこゝろに入穂
- 11 59 03 世にナシ玉
- 11 59 03 ありとありありと(あり)明
- 11 59 04 つたはりたるつたはりたる(ける)肖
- 11 59 04 ふといふものゝふるいふものゝ陽

- 11 59 04 あまねくナシ穂
- 11 59 04 のち／＼はのちには池陽穂玉のち／＼(に)
- は池後／＼には肖徹証正
- 11 59 05 このみならひしかとこのみちをならひしか
- とも陽この道習しかと穂玉証正このみちな
- らひしかと徹
- 11 59 05 猶名玉
- 11 59 07 などと池
- 11 59 07 くちおしくくちをしう榊
- 11 59 07 御子たちの御中にみこたちの御中に池陽み
- こたちの御なかに明飯
- 11 59 08 そもナシ陽
- 11 59 08 なからへなへかへ証
- 11 59 09 二宮三宮榊明飯三二宮池三二宮後
- 補明二の宮玉
- 11 59 10 あかしの君はあかしの君飯
- 11 59 11 涙くみてなみたくみへ横なみたくみて
- 明
- 11 59 11 さうの御ことをはさうの御事(こと)をは
- 榊
- 11 59 11 ゆつりゆつりたてまつり玉
- 11 59 12 あつまをあつまをと榊あつまは玉
- 11 59 12 御まへにおまへに陽徹御まへにのヲ削ッ
- テにヲ書ク肖※
- 11 59 13 かつらきかつらき「本二」ト傍記玉
- 11 59 13 はなやかに はつやかに玉
- 11 59 13 おと、おと、も陽肖穂玉おとへも肖
- 11 59 13 うたひ給うたうたひ給玉
- 11 59 14 あいきやうつきあいきやうつきて横

- 11 59 14 さしあかるまゝにさしあか[るまゝに榊さ
- しあかる程に玉
- 11 59 14 花の色かも花の色も徹
- 11 60 01 もてはやされてト(も)てはやされて「朱
- 大
- 11 60 01 いとナシ穂
- 11 60 01 心にくきおもしろ(ころ)にくき池
- 11 60 01 さうのことさうの御こと横池
- 11 60 02 いといと池※
- 11 60 02 らうたけにらうたけにて横
- 11 60 02 なつかしくなつかしう榊
- 11 60 02 ゆのねものね玉
- 11 60 02 ふかくいみしくふかういみしう榊ふかくい
- みしう穂
- 11 60 03 御てつかひは御てつかひは「らノ上カラヒヲ
- 書ク」榊御てつかひ「は」飯
- 11 60 03 ゆるゝかにゆるるかに「正ハ」トラノ區別ガ
- 曖昧肖証正
- 11 60 03 きく人きくへき人榊
- 11 60 04 すゝろはしきまでます方はしきまで飯
- 11 60 04 あいきやうつきてあい行つき横池陽三穂
- 玉
- 11 60 04 りむの手りちの手穂
- 11 60 05 御ことのね御琴のね徹証正
- 11 60 05 かへりこゑにかへりこゑへ横
- 11 60 05 りちのりつの飯
- 11 60 06 なつかしくなつかしう榊肖徹証正※
- 11 60 06 こかのしらへこかのしらへ「本二」ト傍記
- 玉

- 11 60 06 なかに中に横池三明穂玉飯(こと)に(中に)
- 池※
- 11 60 07 ひき給へきひき給つ(へ)き「朱」大
- 11 60 07 五六のはちを五六のはちを横五六のはちら
- イを肖
- 11 60 08 かたほならずへかたほならず池かたほなら
- す玉
- 11 60 08 きこゆきこゆる横
- 11 60 08 ものにもものにも玉
- 11 60 08 かよへるかよへる榊
- 11 60 09 心しらひ心しらへ「へニヲ傍記カ」榊
- 11 60 09 をしへをして穂
- 11 60 09 さまたかへすいとよくわきまへたま補入
- 横
- 11 60 10 うつくしくおもたしくうつくしくおもた、
- しく横池うつくしうおもたしく榊うつく
- しくおりたしく飯
- 11 60 10 このきみたちこの小君たち肖
- 陽肖三穂徹証正
- 11 60 10 うつくしくふきたてうつくしうふきたて
- 榊
- 11 60 11 心ころに横池
- 11 60 11 なりにたらむになりにたらん横池
- 11 60 12 こよひのこの陽
- 11 60 12 なかくはあらてなからへはあらて穂
- 11 60 12 ほとにとほとにへと横
- 11 60 13 ものねとものものねとものに玉
- 11 60 13 いつれともいつれと横池三いつれとも
- 穂
- 11 60 13 みゝとからぬみゝとかぬ「ヨイカ」飯

- 11 60 14 ふくへふく横
- 11 61 01 きみにはきみには榊
- 11 61 03 さか月御さかつき玉
- 11 61 03 かつけたてまつり かつけたてまつり証か
つけたてまつる飯
- 11 61 03 給を給へ池
- 11 61 03 あやしやあやしへ横
- 11 61 04 まつは穂
- 11 61 05 み木ちやうの御きちやうの榊池陽三穂玉
- 徹飯
- 11 61 05 御ふえふえ三※
- 11 61 05 たてまつるたてまつり玉
- 11 61 05 とり給ナシ陽
- 11 61 06 すこしへすこし徹
- 11 61 06 いて給ほとに大将たちナシ穂
- 11 61 08 いつれもいつれも飯
- 11 61 09 になくはなる(な)く池
- 11 61 09 おほししられるおほししらる玉
- 11 61 10 さうのことさうの御こと池
- 11 61 12 心にも心に飯
- 11 61 12 わかれたてまつりたまひにしかはわかれた
てまつりにしかは玉
- 11 61 13 ゆるゝかにもゆるゝかにも榊ゆるらかにも
三証ゆるるかにも徹※
- 11 61 13 おとこ君のおとこきみの玉
- 11 61 13 御まへにては御前にては榊三おまへにては
陽徹
- 11 61 14 ひきたまはずひきたまはず「ぬヲ削ッテすヲ
書クカ」榊

- 11 61 14 なにこともなににも陽
- 11 62 01 こともあつかひをこともあつかひを横榊
池陽三穂玉飯
- 11 62 01 いとまなくいと□なく「しカ」飯
- 11 62 01 し給へはし給へは榊※
- 11 62 02 ものねたみものねたみ(えんし)池
- 11 62 02 うちしたるうちしたり飯
- 11 62 03 院は院は池
- 11 62 03 給て宮にも御ものかたりなときこえ補入
横
- 11 62 03 宮にも宮に横榊池陽肖三穂玉徹証正
飯
- 11 62 04 なとナシ徹と飯
- 11 62 04 あか月にそあかつき「に」そ池
- 11 62 04 たかうたかく横池穂玉
- 11 62 04 おほとのもれりおほとのもれり穂御
とのこもれり玉
- 11 62 05 御ことのねは御琴のねは徹証正
- 11 62 05 いたうるさくいたうるせく榊三玉証へいと
うるさ(せ)く「ミセケチアルカ」池いと
さ(せい)く「後補」明いとうるさ(せ)く証う
るさく飯
- 11 62 05 きこえ給へはきこへ給え玉
- 11 62 06 はしめつかた「ハ」しめ方穂
- 11 62 06 こよなくよく榊
- 11 62 07 いかてかはいかてかほ榊いかては穂
- 11 62 08 さかしきり(か)し「朱」大
- 11 62 08 なりかしなりし玉
- 11 62 08 これかれにもこれにかれにも玉

- 11 62 09 わつらはしくてわつらはしうて穂
- 11 62 09 わさなれはわさなり穂
- 11 62 09 琴はきむは榊三穂玉徹飯
- 11 62 10 さりともさりとも榊
- 11 62 10 たまふときくかたまへときくか穂の給
ときくに玉
- 11 62 11 御うしろみにと御うしろみと池陽穂玉御身
うしろみにと徹
- 11 62 11 するしにはとするしには□「ヨメズ」飯
- 11 62 12 なむなとなんと榊なむなに「にカ」穂
- 11 62 13 いとまもあかたたくていとまなくて玉いと
まありかたたくて徹
- 11 62 13 とりわきとりわきて榊玉とりわき肖
- 11 62 13 事なともなくことなともなくて横事なとも
なくて池
- 11 62 14 すくして過して徹
- 11 63 01 御ことのねの御ことのね横池
- 11 63 01 いてはへしたりしもいてはえしたりしも
穂
- 11 63 01 めむほくめいほく徹
- 11 63 01 ありてあり穂
- 11 63 01 かたふきかたらふき証
- 11 63 02 うれしくけれしく陽
- 11 63 03 おとなしくをとなしくしう榊をと
しく玉おとろしく徹証正
- 11 63 03 御あつかひなと御つかひも玉
- 11 63 04 もとかしくたとしくもとかしき陽
- 11 63 05 御ありさまなれは御さまなれと玉

- 11 63 05 かくくしぬる かくくむしぬる穂 かうしぬる
- 玉
- 11 63 05 ひさしからぬ ひとひしからぬ玉
- 11 63 06 あなるをと ぬるをと池 あむなるを穂 あむなるをと玉
- 11 63 06 さま なるさま さまなる横
- 11 63 06 ありさまを ありさまを榊 あり様を
- 穂
- 11 63 07 たまふま にとりあつめ 補入横
- 11 63 07 とりあつめたらひたることはまことに ナシ
- 玉
- 11 63 07 とりあつめたらひたること ナシ 陽 あつめたしひたること穂
- 11 63 07 まことに へまことに 池
- 11 63 08 給へり 給へりし証
- 11 63 08 年月のとし 時月の玉
- 11 63 08 なども 穂
- 11 63 09 おほしいてたる おほしいてたり穂
- 11 63 09 など へなど 池
- 11 63 09 つねよりも つねよりも飯
- 11 63 10 つ しみたまへ つ しみ給池 つ しみ給へり穂
- 11 63 10 おもひいたらぬ おもひたらぬ穂
- 11 63 10 あらむを あらむを 証ハ符号無 三証
- 11 63 10 猶 へなを 横
- 11 63 11 おほきなる おいきなる飯
- 11 63 11 こと 事も 横 榊 池 陽 三 明 穂 飯 ことも
- 徹証正
- 11 63 11 をのつから おのつからも穂

- 11 63 11 せさせてむ せさせてん横池 せさせてん池 せさせて穂
- 11 63 11 こそうつのものし給はすなりにたる ナシ
- 穂
- 11 63 12 いとと玉
- 11 63 12 うちたのまむにも うちたのむにも横池 三 うちたのまんとも玉
- 11 63 13 のたまひいつのたまふいつ横 の給ひいつ
- 明の給ひつ玉
- 11 63 13 みつからは みつから榊
- 11 63 13 ことなることば なる肖
- 11 63 14 おいいて おいら いて 大 おひいて 池 思ひいて 穂 玉 飯
- 11 63 14 おほえありさま おほえあるさま徹
- 11 63 14 ありさましかたにたくひすくなく ありさましかたにたくひすくなく 三
- 11 63 14 たくひ たくひて飯
- 11 64 01 すくなくなく横池
- 11 64 01 かつたも かつたは穂 かつたにも徹証正
- 11 64 02 思ふ人に 思ふ人正
- 11 64 02 のこり へのこり 池
- 11 64 03 あやしく ナシ 穂 あやうく玉
- 11 64 04 こと ナシ 穂
- 11 64 05 ほとよりは ほとよりも穂
- 11 64 05 いま ても いま ても 三
- 11 64 05 なからふる ナシ 陽
- 11 64 05 ならむと なんとなん玉 ならむと徹証
- 11 64 06 ひとふしのひとふしの ひとふしの 証

- 11 64 06 物思ひものおもひ 池
- 11 64 06 心みたり給 ころみ給穂
- 11 64 07 ことあらし かとあらし飯
- 11 64 07 おもふ ナシ 陽
- 11 64 08 みな みなや池
- 11 64 08 物おもひ 物 思ひ徹
- 11 64 08 わさ ナシ 榊
- 11 64 09 心みたれ 心みたる 池
- 11 64 09 思ひの 思ひ肖
- 11 64 09 やすけなきをおやの やすけなきをやの玉 やすけなきを へお やの正
- 11 64 10 すくしすこし 榊 玉
- 11 64 10 やうなる 様なる榊
- 11 64 10 その方 其のかたは横 榊 池 陽 肖 穂 玉 其のかた へ池 其のかた 三
- 11 64 10 人に ひと 一人イ に 後補 明
- 11 64 11 おほししるや おほししにやと穂
- 11 64 11 こそは こそ三 こそはと穂
- 11 64 12 いと いと飯
- 11 64 12 ほとを 程は玉
- 11 64 12 御身つからの みつからの横池
- 11 64 13 もの 心ももの 心陽 穂 玉
- 11 64 13 さりとも さりとん穂
- 11 64 14 やうに 様に穂
- 11 64 14 物はかなき 物はかなき証
- 11 64 14 すきにたるよ そのおほえは すすきにたるよ そのおほえは 池
- 11 65 01 心に 心こと ことカ 穂
- 11 65 01 たえぬ たらぬ正

- 11 65 | 01 | うちそふやそふや徹
- 11 65 | 01 | のいのりなりけるとてのこりおほけなるけは
ひはつかしナシ飯
- 11 65 | 01 | のりいろ(の)り証
- 11 65 | 02 | おほけなるおほけなる「複製ミセケチエ
ズ」三
- 11 65 | 02 | まめやかにはまめやかに肖徹証正
- 11 65 | 03 | すくすはすくせは池
- 11 65 | 03 | うしろめたくうしろめたう榊うしろめたな
く穂
- 11 65 | 04 | きこゆる事きこゆる事(こと)「朱カ」池
- 11 65 | 04 | いかていかてか穂
- 11 65 | 05 | かひかあらむかひかあらん榊
- 11 65 | 05 | たへたへ飯
- 11 65 | 07 | 思ふさまことなるおもふさまなる玉
- 11 65 | 07 | みはて給へと見えて給へと飯
- 11 65 | 07 | きこえ給をきこえ給飯
- 11 65 | 08 | れいのことれいのこと飯
- 11 65 | 08 | あはれにあはれと横榊池陽肖三穂玉徹証
正飯
- 11 65 | 08 | みたてまつり給て見たてまつりて陽みたま
ひて穂※
- 11 65 | 09 | きこえナシ陽
- 11 65 | 09 | おほくはおほえは玉
- 11 65 | 09 | あらねとあは(ら)ねと榊
- 11 65 | 09 | ありさまのありさま池
- 11 65 | 10 | こゝろはせ心はせを穂
- 11 65 | 11 | わさなりけれとわさなりければ穂
- 11 65 | 11 | 思ひはてにたるおもひはてにたるを池

- 11 65 | 11 | は君をは君横榊池
- 11 65 | 12 | えさらぬえならぬ玉
- 11 65 | 13 | よからすよからぬ(す)池
- 11 65 | 13 | いとおしくやくしくもいとをしようもくやし
うも榊いとくちをしくやくしくも玉
- 11 65 | 14 | あやまちにのみもあやまちにのみも「しノ上
カラのみヲ書クカ」榊
- 11 65 | 14 | 思ひいつる思いつる榊
- 11 66 | 01 | をもりかにておもらかにて穂
- 11 66 | 01 | あかぬかなとあかぬかなと玉
- 11 66 | 01 | 事も事穂
- 11 66 | 02 | すくしくすくしく榊
- 11 66 | 02 | へかりけむとへかりけん三穂
- 11 66 | 03 | たのもしくたのもしう榊
- 11 66 | 03 | わつらはしかりしわつらはしかりへし
池
- 11 66 | 03 | 中宮の御はみやす所中宮への御はみや
す所榊中宮の御は宮すん所池中宮のは
宮すところ三穂※
- 11 66 | 04 | なんナシ榊徹
- 11 66 | 04 | ためしにはためしかは飯
- 11 66 | 04 | まつナシ玉
- 11 66 | 04 | 人みえにく人みえにへく榊
- 11 66 | 05 | さまになんさまに「なん池心さまになむ肖
三御さまになむ玉
- 11 66 | 05 | ふしそふへしそ肖ふしこそ穂玉
- 11 66 | 06 | ふしをやかてふしをや穂
- 11 66 | 06 | なかくなからへ玉
- 11 66 | 06 | ゑんせられしえゑむせられし榊し(えイ)

- 11 66 | 06 | いとナシ玉
- 11 66 | 07 | 心ゆるひなく心ゆるひまなく玉
- 11 66 | 07 | あさゆふのむつひをかはさむにはあさゆふ
むつるをかさんには玉
- 11 66 | 08 | いといと穂
- 11 66 | 08 | 所のところへの横ところ三
- 11 66 | 08 | 事やなど事もやなど横事や(など)榊こと
にやなど飯
- 11 66 | 09 | へたりしへたてられ(たりし)榊へたて
た(た)りし三※
- 11 66 | 09 | いといとと榊※
- 11 66 | 09 | 身のナシ陽穂玉徹
- 11 66 | 10 | いみしくいみしう陽穂
- 11 66 | 11 | おもひしも思ひしも池
- 11 66 | 11 | 我わか池われ明玉飯※
- 11 66 | 11 | 中宮を中色(宮)を榊中宮へを池中[宮]を
穂
- 11 66 | 12 | うらみをもうらみも横榊池うらみをもへも
肖
- 11 66 | 13 | みなおされぬらむ見なおされぬらむ「をヲ
削ツテおヲ書ク」大
- 11 66 | 13 | 心の(心)の池
- 11 66 | 13 | すさひにすさひに「みノ上カラひヲ書ク」
榊すまひに飯
- 11 66 | 14 | 事もこと陽
- 11 66 | 14 | なんとなど横池穂
- 11 66 | 14 | 人の御うへひとのうへ横池御人の御うゑ

んせられし三ゑんせられし(ぬイ)「後補」

明

榊

11 66-14 のたまひいてゝの給いてゝ「てノ上カういて
ゝヲ書ク」飯

11 67-01 内の御方のうち御かたの明内の飯

11 67-02 猶ナシ飯

11 67-02 所ある心ある池所なる穂

11 67-02 なむうはへは人にへなんうはへは人に榊な
むうはへの人に穂

11 67-02 うはへはうはゑは池

11 67-03 うちとけぬうちとけぬる肖

11 67-03 けしきしき飯

11 67-04 みねはみえねは池ナシ玉

11 67-04 まほまを榊穂

11 67-04 ならねとならねとも横池らねと玉

11 67-05 みるおりももあるにみるををりある
に玉

11 67-06 ありさまありさま池

11 67-06 いかにかゝ玉

11 67-06 み給らんとみ給つらんと「未見」横み給つ
らんと池み給らん穂み給はんと飯

11 67-07 とのみとのゝ飯

11 67-07 思ひてなむと思ひてなと榊穂おもひなくぎ
む【なと池

11 67-07 さはかりさはかりに穂

11 67-08 いまはけふは玉

11 67-08 みえかはしみえかよはし三

11 67-08 し給もし給に穂

11 67-09 御ための御ため徹

11 67-09 君こそは補入横きみこそ榊

11 67-10 くまなきにはくまなきにては肖徹証正くま
なきは玉※

11 67-10 人により人より玉

11 67-10 事に事に「朱」大

11 67-10 したかひしたかひて陽肖穂ナシ玉

11 67-11 し給けれし侍けれ穂

11 67-11 こゝらこゝと明飯こゝとら「後補明

11 67-11 御ありさま御ありさま池

11 67-11 なかりけりなかりける「正ハるヲリニ直ス
カ」徹証正

11 67-12 ほゑみてほをゑみて横池ほうゑみて
榊

11 67-12 きこえ給きこえ給明

11 67-12 ひきとりひき玉

11 67-13 よろこひよろこひ榊

11 67-13 ととと玉

11 67-13 あらむともあらむへとも榊

11 67-13 おほしたゝすおほしたらす「飯ノらハエカ」
横榊池陽肖三明穂徹飯おほひたらす徹おほ
ひたゝす証正おほひたゝ(ら)す証

11 67-14 いといたくわかひてひとへに御ことに心いれ
ておはすナシ飯

11 67-14 わかひてわかひて榊わかれて穂

11 67-14 ひとへに御ことに：11 68-14 むねつふれてい
そぎナシ「落」ニアラズ玉

11 67-14 ひとへに「符号アルカ」池ひと
つに穂

11 67-14 御ことに御心(こと)に榊(御ことに)穂御
琴に徹

11 67-14 心いれて御心を入れて穂

11 67-14 おはすおほす穂

11 67-14 いとまいと飯

11 68-01 給へかし給へる(か)し池給へはし穂

11 68-01 物の師は物の師には正

11 68-01 くるしかりつる日ころのしるしありてうしろ
やすくなら給にけりくるしかりつる日ころ
のしるしありてうしろやすくなら給にけり

証

11 68-02 うしろやすくなら給にけりとて御こともお
しやりてナシ飯

11 68-02 うしろやすく心やすく穂

11 68-02 御ことも御ことも榊御琴とも徹証正
※

11 68-02 おほとこのこもりぬ御とのこもりぬ穂

11 68-03 夜はよは榊池明穂飯

11 68-03 よるゐしたまひてよよいゐして榊よるした
まひて証

11 68-04 よませてナシ穂

11 68-04 いひあつめたるゆいあつめたる「ゆカ」
穂

11 68-04 ともにとも池

11 68-05 色このみいろこへのみ三

11 68-05 かつらひたるかくつらひたる飯

11 68-05 女ナシ穂

11 68-05 かやうなる事をかやうなる事榊穂

11 68-05 いひあつめたるにもいひあつめたるにも
榊

11 68-06 つるに ついてに横

- 11 68 | 06 あめれあむれ横池
- 11 68 | 06 あやしくあやしう陽穂
- 11 68 | 06 すくしつるすこしつる穂過しつる徹
- 11 68 | 07 のたまひつるの給へる「三八へかつ力微妙」
横池三「この、給え(つ)る池
- 11 68 | 07 すくせもすくせと池
- 11 68 | 07 ありけるありける事池ありけるも飯
- 11 68 | 07 身ながらなから穂
- 11 68 | 08 あかぬ事にあかぬ物に池
- 11 68 | 08 身にてやみにて三正身にて(や)徹
- 11 68 | 09 あるかなとあるかなと「横末見」横池
- 11 68 | 09 夜ふけてよふけて榊池明飯
- 11 68 | 09 おほとこのこもりぬる御とのこもりぬる
穂
- 11 68 | 10 なやみ(な)やみ池三
- 11 68 | 10 きこえさせむとえさせんと正
- 11 68 | 11 ひんないひんなき榊陽
- 11 68 | 11 たへかたきをおさへてたふかたきをさへて
穂
- 11 68 | 11 たまふつ給つ横池三明穂徹飯
- 11 68 | 12 ぬるみてぬるみへて榊
- 11 68 | 12 あしけれとあしければ(とイ)三
- 11 68 | 12 かくなむともかくなとも榊穂
- 11 68 | 13 御せうそこ御せうそく横明せうそく
飯
- 11 68 | 13 なやましくてなむとなやましくなと榊なや
ましくてなと池穂
- 11 68 | 14 給えるに給へつるに肖給つるに穂

- 11 68 | 14 おとろきてそなたよりきこえたまへるに補
入横
- 11 68 | 14 そなたより(な)そなたより徹
- 11 69 | 01 給へるに給つるに穂
- 11 69 | 01 いかなる御心ちそとてきくりたてまつり給へ
はいとあつくおはすナシ陽
- 11 69 | 02 なんとんと池なと「もノ上カラなとヲ書ク」
飯
- 11 69 | 03 あはせ給てあはせ(給)て池あはせて穂
玉
- 11 69 | 03 御かゆ御(か)ゆ榊
- 11 69 | 03 御覧しもしいれす御覧ししれす三
- 11 69 | 04 ひとひと日とい横池徹ひとひひ明
- 11 69 | 04 そひおはして(そひ)おはして三
- 11 69 | 05 いと(いと)池
- 11 69 | 05 いかならむと(い)かならむとは肖
- 11 69 | 06 はしめさせ給はしめさせ(給)三
- 11 69 | 06 そうそうつ榊
- 11 69 | 07 所ともなく(そ)ところともなく「ノ上
カラ後出(ヲ)書ク」池
- 11 69 | 07 し給てして肖徹証正
- 11 69 | 08 くるしけなりくるしけなる飯
- 11 69 | 09 をのつからナシ池陽穂玉をのつから
池
- 11 69 | 09 をこたるおこりたる穂
- 11 69 | 09 あらはあるは横池陽肖三穂玉徹証正
- 11 69 | 09 いみしくいみしう玉
- 11 69 | 10 かなしとかなし(と)榊かなし飯

- 11 69 | 10 みたてまつり給に見たてまつり給へに
徹
- 11 69 | 10 こと事こと(しく)玉
- 11 69 | 10 おほされねはおほされぬは穂
- 11 69 | 10 御賀の御かんの「本二」卜傍記「玉
- 11 69 | 12 二月もふた月も穂
- 11 69 | 12 おほしなけきておほしなけき玉
- 11 69 | 13 二条院に二条の院に明飯二条院え玉
- 11 69 | 13 給ひつ給へつ横
- 11 69 | 13 ゆすりみちてゆすりて玉
- 11 69 | 14 なげく人なげく人(池)
- 11 69 | 14 冷泉院もれむせい院も穂冷泉院にも
玉
- 11 70 | 01 そむくそむぎ(く)榊
- 11 70 | 01 とけたまひてむと(と)け給はんと玉
- 11 70 | 01 つくしてつくし穂玉
- 11 70 | 01 みたてまつりみたてまつる飯
- 11 70 | 02 あつかひ給てあつかひ給横池陽肖三明穂
玉徹証正飯
- 11 70 | 02 みすほう御すほう玉徹
- 11 70 | 02 とりわきてとりわき榊穂飯
- 11 70 | 03 いさか(い)さかの穂
- 11 70 | 03 おほしわくおほし(る)わく(く)榊
- 11 70 | 03 ひまにはひまは横
- 11 70 | 03 きこゆる(た)きこゆる池
- 11 70 | 03 心うくとのみ(心)うくのみ飯
- 11 70 | 04 給へと給へと「はノ上カラとヲ書ク」飯
- 11 70 | 04 やつしやつ(つ)し飯

- 11 70 05 すと給はむ御ありさまをみてはさらに(すて
給はん御有さまを見てはさらに)肖
- 11 70 05 かた時たふましく(とき給ましく玉
- 11 70 05 のみナシ肖※
- 11 70 06 みつからそみつからこそ横池穂玉
- 11 70 06 おほされん(おほさ(れ)ん肖
- 11 70 07 すくすを(過すを徹
- 11 70 07 さかさまに(さ(る(か)さまに池
- 11 70 08 おしみきこえ給に(をしみきこえ給榊
- 11 70 08 けに(ナシ玉
- 11 70 09 おり(お(り)に大
- 11 70 10 あからさまに(あからさまにも玉
- 11 70 10 御こと(も御こと(も)横榊池陽明穂
飯
- 11 70 10 ひきこめられ院のうちの人々はみなあるかき
り二条院に(ひきめられ(ひきこめられたり)
〔人々はみな二てう〕院に〔傍記ノら、補入ノ
みハ推読〕玉
- 11 70 10 院のうちの院の中の穂
- 11 70 11 人々は(人(へは)三
- 11 70 11 みな(ナシ池陽穂(みな池
- 11 70 11 二条院に(二条の院に池明
- 11 70 12 た(ナシ穂飯
- 11 70 12 人ひとりの(人ひとり明飯(人ひとり(の)〔後
補〕明※
- 11 70 13 あつかひ(あつかひ)榊
- 11 70 13 おはしまさ(おほしまさ(て穂
- 11 70 13 物のけ(なと物のけ(な)と証
- 11 70 14 いと(ナシ玉

- 11 70 14 はやく(はやとく横池(はや肖(はや(イ無)
三(はや)榊
- 11 70 14 きこえ給(きこえ(給)肖
- 11 71 01 いみしく(いみしう陽肖三穂玉徹証正
- 11 71 02 えみ(えみ(たてまつらす(見たてまつらす玉
- 11 71 02 なり(なり(なむなり(なり(なむ陽
- 11 71 02 の給(は(との給(へ飯
- 11 71 03 かく(かく(なほしそ(かく(れおほしそ穂
- 11 71 03 け(け(しう(は(横
- 11 71 04 給(給(は(し(給(は(し(朱)大(たまふはし穂
- 11 71 04 心(心(により(なん(心(より(なん飯
- 11 71 04 とも(とも(かく(も(と(かく(も穂
- 11 71 04 ある(ある(を穂
- 11 71 04 を(を(きて(を(ぎ(く(て(池
- 11 71 04 う(う(つは物(には(う(つ(へ(物(には(徹
- 11 71 05 さ(さ(る(へ(き(に(て(さ(る(へ(き陽
- 11 71 05 た(た(か(き(ナシ玉
- 11 71 05 み(み(となり(ても(み(とも(なり(ても(穂(身(とは(なり
ても飯
- 11 71 06 ゆ(ゆ(る(へ(る(ゆ(る(へ(る(明
- 11 71 06 かつ(か(た(は(か(た(を(は(榊
- 11 71 06 ひ(ひ(さ(しく(つ(ね(なら(す(心(ぬ(る(な(たら(かな(る(人
は(ナシ玉
- 11 71 06 つ(つ(ね(なら(す(つ(ね(から(す(榊(明(飯(つ(ね(な(か(ら
す(榊(つ(ね(か(な(ら(す(〔後補〕明(つ(ね(なら
す(徹※
- 11 71 06 心(心(ナシ穂
- 11 71 06 な(な(たら(かな(る(な(から(かな(る(陽
- 11 71 07 な(な(か(き(な(か(き(玉

- 11 71 07 な(な(む(へ(なん)榊
- 11 71 07 な(な(と(と(横池
- 11 71 07 御(御(心(は(せ(心(は(せ(横池陽
- 11 71 08 さ(さ(ま(を(あり(さま(を(玉
- 11 71 08 み(み(す(法(の(み(す(ほう(の(イ)三(御(す(法(の(穂
- 玉
- 11 71 08 あ(あ(さり(たち(あ(さり(たち(ち(榊
- 11 71 08 よ(よ(ぬ(な(と(に(ても(よ(ひ(な(と(して(も(穂
- 11 71 09 そう(そう(な(と(も(い(と(かく(お(ほ(しま(と(へ(る(御(け(は(ひ
を(き(く(に(へ(そう(な(と(は(い(と(かく(お(ほ(しま(と(へ
る(御(け(は(ひ(を(き(く(に(〔補入(き(く(に(ヲ(書(イ(テ(く
に(ヲ(削(ル)榊
- 11 71 09 そう(そう(な(と(も(そう(な(と(は(横(榊(池(陽(肖(三(明(穂(玉
徹(証(正(飯
- 11 71 09 かく(かく(かう(陽(肖(穂(玉(徹(証(正(よく(飯
- 11 71 09 御(御(け(は(ひ(を(へ(御(け(は(ひ(を(池(御(け(は(ひ(とも(を
肖(三
- 11 71 10 い(い(と(ナシ陽
- 11 71 10 い(い(み(しく(心(くる(し(けれ(は(い(み(し(けれ(は
玉
- 11 71 10 心(心(を(お(こ(して(心(を(こ(して(玉
- 11 71 11 さ(さ(ま(に(さま(証(正
- 11 71 12 月(月(日(を(月(日(池
- 11 71 12 へ(へ(給(は(へ(たま(は(給(給)榊(へ(給(え(は(玉
- 11 71 12 い(い(かに(いか(さま(に(徹
- 11 71 12 御(御(心(ち(に(や(御(心(に(や(肖
- 11 71 13 い(い(て(くる(も(へ(いて(くる(も(肖(いて(くる(にも
玉
- 11 71 13 そ(そ(こ(は(か(と(そ(こ(は(か(と(肖(そ(こ(は(か(と(なく

穂

- 11 71-14 いみしくいみしう榊
- 11 72-01 いとまもいとまへも横いとま池三徹
- 11 72-01 衛門督はゑもんのかみは榊三明飯ゑもんの
かみ(ウ)は「後補」明
- 11 72-01 かしナシ穂
- 11 72-02 思ふことのおもふ事榊 思事へ三
- 11 72-03 かなはぬへかなはぬ池
- 11 72-03 うれはしきをうれはしき(□)を飯
- 11 72-03 思ひわひておもひて玉
- 11 72-03 御あねの御あね「の」徹
- 11 72-03 二宮を二の宮を榊陽明飯
- 11 72-03 えたてまつりてけるゑたてへまつりてける
池ゑたてまつりける肖たてまつりてける
- 穂
- 11 72-04 下らうのけらう横池 下らうに池
- 11 72-04 おはしましければおはしへましければ
- 証
- 11 72-05 おもひなすらふれは思ひなすらふれは榊
穂なすらふれは陽※
- 11 72-05 こよなくこよなう横池
- 11 72-05 おはすれとおはすれとも肖徹証正
- 11 72-06 なくさめかたきなへての玉なくさめかた
へぎ証
- 11 72-07 なをへ猶イ三
- 11 72-07 したの心したの心は横池
- 11 72-07 わすられすわすれす横池 わすられす榊 わ
すれぬ陽肖穂玉徹証正
- 11 72-08 こ侍従 少侍従池

11 72-08 御侍従の(御)侍従の肖侍従の穂こしう
の玉

11 72-08 めのとのむすめなりけりそのめとのめ
とへのむすめなりけりそのめとのの榊

11 72-08 なりけりなり玉

11 72-08 そのめとののそのとの陽その(め)の
の証

11 72-09 あねそあねは飯

11 72-09 かのナシ横榊この陽穂玉(かの)徹

11 72-09 かの君の(か)の君の「朱」大

11 72-09 なりければなりければ「は摩滅」正

11 72-10 また又穂

11 72-10 宮宮の榊穂

11 72-10 おはしましおはしましを横

11 72-10 きよらになむきよらに榊きよらぬ(に)な
む明

11 72-10 みかとの御心の飯

11 72-11 かしつきかしつきに玉

11 72-11 きをきたてまつりてきおきて穂

11 72-11 おもひも思ひ横池陽穂玉※

11 72-11 つきそめたるつきそめ給える玉

11 72-12 なりけりなり三

11 72-12 ほとナシ玉

11 72-12 すくなくすくなう肖穂徹証正

11 72-13 こしうを少侍従を池侍従を穂小侍従玉
徹証正

11 72-13 いみしういみしく横池玉

11 72-13 かくナシ陽

11 72-14 いのちもいの「ち」も榊

11 72-14 たふましくたゆましく横池

11 72-14 御ありさまを御ありさまをも玉

11 73-01 きこしめさせてきこしめさせて「えノ上カラ
しヲ書ク」榊きこしめさせてと玉

11 73-01 たのもしきにたのもしき榊たのもしきに
穂

穂

11 73-01 するしのするし榊徹※

11 73-02 いみしくいみしう陽穂玉

11 73-02 院のうへ院の御うゑ玉

11 73-02 かけくしてかふかけかくして穂

11 73-03 やうにて様にて穂

11 73-03 おほとこのこもるおほとこのこもれる横池玉御
とのこもる穂

11 73-04 ついてにもついてに三

11 73-04 くいおほしたるくひおほせ(し)たる榊

11 73-04 御けしきにてけしきにて穂

11 73-04 おなしくは同は穂

11 73-05 きためむにはまめやかにつかうまつるへき人
をこそナシ穂

11 73-05 人をこそをこそ陽

11 73-06 のたまはせてのたまはせて榊※

11 73-06 女二の宮の女二宮の榊池明穂飯女二の宮
玉

11 73-06 ゆくすゑななき行すゑのなきき穂

11 73-07 ものし給なるものし給榊

11 73-07 事とこの横こと池けに穂

11 73-08 御すちとは御すちへとは池御すちと陽御
すちには玉すちとは飯

11 73-08 きこえしかときしかと陽

- 11 73 08 それはナシ横玉
- 11 73 09 こしう少侍従池こ侍従は肖三こ侍従は肖侍従穂ナシ玉
- 11 73 09 いてナシ池陽穂玉徹証正いて池※
- 11 73 10 それをそれとそれを徹証正
- 11 73 10 たてまつり給てたてまつりて横池※
- 11 73 10 いかやうにさやうに穂
- 11 73 11 さこそはさこそ物は肖さこそは物はい
- 三
- 11 73 11 かたしけなくかたしへけなく玉
- 11 73 11 をよひけるおもひける飯
- 11 73 12 さまはさる(ま)は肖
- 11 73 12 などてかはなとへてかは肖
- 11 73 12 さふらはさらましさふらはまし肖こふらはさらまし飯※
- 11 73 13 すこしのすこしの徹
- 11 73 14 侍なるをはへなるを横池三明飯はへるなるを榊玉
- 11 74 01 事にてことにて横池陽三明穂玉
- 飯こと(にイ)いて三こと(に)いて後補明
- 11 74 01 ねんころにねんころに「にハ行中へ後補」榊
- 11 74 01 給ふに給はんに横池陽肖三穂玉
- 11 74 01 たちならひたちなからひ榊
- 11 74 01 きこえさせきこえ横池
- 11 74 02 物しくものしく榊
- 11 74 03 くちはさきにいひはて給はていまはよしすきにしくちはさきにいひはてたまはてい

- 11 74 03 えいひはて給はてはいひはて給はて池穂え(は)いひはて給はて池
- 11 74 04 かたをは方を穂
- 11 74 05 この心のこのころ(心)の大このころの陽明心の徹証正※
- 11 74 05 うちにうちに榊中に池穂※
- 11 74 05 きこえさせつへきこえさせつへへきこえさせ給へく徹証正
- 11 74 06 おほけなきおほけなき横おほけなき池いとおほけなき陽穂玉徹証正※
- 11 74 06 すへて補入横
- 11 74 06 み給へみえ給へ穂
- 11 74 06 いたおそろしければ思ひはなれて侍りとのたまへナシ飯
- 11 74 06 いたナシ陽穂玉徹証正
- 11 74 07 おほけなきおほけなき肖
- 11 74 07 いかはいか横池
- 11 74 07 むくつけきむへくつけき榊※
- 11 74 08 なにしになしに玉
- 11 74 08 はちふくはちふく(て)池きこゆれと穂
- 11 74 08 いてナシ穂
- 11 74 08 きにくきにくの明
- 11 74 09 給へけれ給けれ池
- 11 74 10 あるやうある様穂
- 11 74 10 たくひなくやはたくひへなくやは三
- 11 74 10 御ありさまよ御ありさまにも榊御ありさまに穂正
- 11 74 11 いといと飯

- 11 74 11 おほかるらむおほからん徹証
- 11 74 12 やうに様に穂
- 11 74 12 きこえ(きこえ)池
- 11 74 13 きはのきは陽
- 11 74 13 御方(に)御かた(に)のイ三
- 11 74 13 たちまじりたり(ち)まじり徹
- 11 74 13 ことも事とも玉
- 11 74 13 めさましけなるめさましけなるか横めさましけなる榊※
- 11 74 14 侍りや侍や池穂侍(り)や玉侍るや(る力)
- 11 74 14 世中は世中玉
- 11 74 14 いとナシ陽
- 11 74 14 つねなきつねなき穂つねな飯
- 11 74 14 ひときはにひと(き)わに陽※
- 11 74 14 はしたなくはしたくひなく榊
- 11 74 14 つきりなるつきりなる横つきりなる『大成』ニミセケチトスルガ如何池ついきりなる穂ふつきりなる玉※
- 11 75 01 なのたまひそよとなのたまひそと穂
- 11 75 01 おとされ給へるを(と)され給へる池※
- 11 75 01 御ありさま御有様穂
- 11 75 02 給へきにやは給へきにや榊
- 11 75 02 これはこれに飯
- 11 75 02 世のつねのかの常の穂
- 11 75 02 侍らさめり侍(ら)さめり「朱」大はへら(は)さめり榊侍らさんめり穂玉
- 11 75 03 御うしろみなくて御うしろみながら飯

- 11 75 03 たゝよはしくたゝよはして玉
- 11 75 03 おやさまにと〱おやさまにへ〱横〱をやさまに
- も池〱をやさまににと穂
- 11 75 04 きこえ給しかはかたみにさこそ思ひかはしき
- こえさせ給ためれきこえへ給しかはかたみ
- にさこそ思ひかはしきこえ〱させ給ひためれ
- 徹
- 11 75 04 きこそ〱こそ玉
- 11 75 04 きこえさせ〱きこえさせ〱「削訂有」榊きこえ
- 三
- 11 75 04 ためれ〱たんめれ穂
- 11 75 05 ことに〱ことは榊
- 11 75 05 いひ〱こしらへて〱いひ〱こしらへ玉
- 11 75 05 まことは〱まことに横池三
- 11 75 06 よになき〱になき飯
- 11 75 07 うちとけて〱うちとけて〱横
- 11 75 07 御覽せられんとは〱御覽せられとは飯
- 11 75 08 もの〱こしにて〱もの〱こしに陽三〱のこしにて
- 穂
- 11 75 08 許は〱はかり池
- 11 75 08 やつれにかは〱やつれにか榊玉
- 11 75 09 仏神にも〱神仏にも榊陽肖三〱明穂玉証正
- 飯
- 11 75 09 申すは〱申す〱は大
- 11 75 10 いと〱ナシ玉
- 11 75 10 いひ〱かへしけれ〱いひ〱かへしけれとも三
- 11 75 11 思ひのたまふを〱思ひたまふを榊
- 11 75 11 えいなひはてゝ〱えいな〱ひはてゝ〱榊池徹〱え
- いひはてゝ〱玉証

- 11 75 11 もし〱ナシ玉
- 11 75 11 ひまあらは〱日もあらは飯
- 11 75 12 夜は〱よは榊池三〱明穂玉飯
- 11 75 12 み帳の〱御丁の榊池三〱明穂玉徹飯
- 11 75 12 さふらふて〱さふらひて横榊池陽三〱明穂玉徹
- 飯
- 11 75 13 おりをか〱はおり〱かは三〱をりをか玉徹証
- 正
- 11 75 13 ひまを〱ひまと肖
- 11 75 14 みつけ侍へる〱へからむ〱みつけ〱へからむ池〱み
- つけ侍へ〱へからん肖〱みつけ侍らん穂玉徹証
- 正
- 11 75 14 わひつゝ〱わひて陽玉
- 11 75 14 こうして〱へこい〱うこかして三
- 11 76 01 せうそ〱こせう〱そこを榊玉
- 11 76 01 いみしく〱いみしう榊玉
- 11 76 02 まことに〱まことに陽穂玉
- 11 76 02 いと〱ナシ陽穂玉
- 11 76 03 ことまでは〱ことまで榊〱ことまでも玉
- 11 76 04 いと〱へいと〱肖
- 11 76 04 ゆふへの〱ゆふへ陽穂玉徹証正
- 11 76 04 世とゝもに〱夜とゝもに玉
- 11 76 05 けちかくて〱けちかく肖徹証正〱
- 11 76 05 みたてまつり〱みたて穂
- 11 76 05 おもふことをも〱おもふことを陽徹証正〱おも
- ふことも穂
- 11 76 06 きこえしらせしては〱きこえしらせしては池〱きこ
- えしらせは肖

- 11 76 06 ひとくたりの〱御かへりなともや〱ひとくた
- りをや玉
- 11 76 06 御かへり〱御返榊池穂
- 11 76 06 なと〱ナシ陽穂
- 11 76 06 みせたまふ〱みせ給榊池三〱明穂飯〱みせ給ひ
- 肖〱みせ給〱ヒ〱「後補力」三
- 11 76 06 おほししるとそ〱おほししらるとそ〱「ら二削訂
- カ〱三〱おほしたるとそ穂
- 11 76 07 四月十日〱四月十日あまり徹
- 11 76 07 たてまつり給〱たてまつり給を玉
- 11 76 08 わらへ〱わらはへ横榊池陽三〱明穂玉徹飯
- 11 76 08 ものぬひ〱ものへぬひ〱榊
- 11 76 09 けさうなと〱けさうしなと榊〱けさう陽穂
- 玉〱けしやう穂
- 11 76 09 思ひまうくるも〱おもひまうくる〱も〱榊おも
- ふにまうくるも玉
- 11 76 09 御前〱御まへ横穂玉
- 11 76 10 しめやかにて〱しめやかに池陽穂玉〱しめやか
- にて池
- 11 76 10 ちかく〱ナシ飯
- 11 76 11 おりたるまに〱おりたるまへま〱に肖
- 11 76 11 たゝ〱へたゝ〱三
- 11 76 12 ちかくは〱ちかく横〱ちかく〱は〱榊
- 11 76 12 み帳の〱御帳の榊池三〱明穂玉飯
- 11 76 12 ひんかしおもて〱ひ〱む〱かしおもて明
- 11 76 13 すゑつすゑ奉り〱つ〱肖〱すゑ〱たてまつりイ
- つ三
- 11 76 13 さまても〱さまて横〱さま〱ら〱ても池
- 11 76 13 宮は〱宮玉

1176-13 おほとこのこもりにけるを御とのこもりにけるを穂

1176-14 けはひのけはい榊※

1176-14 おほしたるにおほしし(た)るに池

1177-01 ゆかのしにもゆかのしもと「とカ」証

1177-01 いたきナシ榊

1177-01 ものにものへに三

1177-02 あやしくあやしくも三

1177-03 むくつけくむへくつけう榊

1177-03 人めせと人めせとも榊人をめせと池

1177-03 ちかくもちかくへも榊ちかく三

1177-04 まいるもなしまいる人もなし陽

1177-04 あせもあせは玉

1177-05 もものもものへも榊

1177-05 おほえ給はぬけしきおほえ給はす穂

1177-05 かすならねとかならすならねと玉

1177-05 しもナシ玉

1177-06 思給へられすおもふたまへられす横三

飯 思ひ給へられす肖玉証正 おもひ給へられす

穂

1177-06 なむむかしよりなむかしより穂

1177-06 ひたふるにひたへるに榊

1177-07 やみ待なましかはやみはへなましかは榊池

明飯

1177-07 心のうちにころのうち穂

1177-08 こよなくこよなく榊

1177-08 もてはなれてももてはなれても肖

1177-08 のたまはせさりけるに給はさりけるに

池

1177-09 かけそめ侍てかけそめて三

1177-09 ふかきナシ穂

1177-10 心さしを御心さしを玉

1177-10 むなしくなし侍ぬるむなしく侍ぬる陽

※

1177-11 思給へかへせとおもふ給へかへせと横池三

明飯 思給かへせと陽肖穂徹証正 おもひ給へ

かえせと玉※

1177-11 侍にけるにか侍けるにか穂玉飯

1177-11 そへてそへ横池

1177-12 もつらくもナシ穂

1177-12 むくつけくもむつけくも榊むくつけく穂

玉

1177-12 あはれにもあはれに玉

1177-12 思給へまさるにおもふたまへまさるに「横

未見」横榊池明飯 おもひたまへまさるに穂

玉

1177-13 かくへかく榊

1177-13 さまを様を穂わさへまを徹

1177-14 心もころは横池

1177-14 侍るましと侍らましと玉

1178-02 ならはなとは飯

1178-02 いと心うくてナシ玉

1178-03 めさましくおそろしくてめさましくて

穂

1178-03 ひたふる心もひたふるなる心も横榊池陽肖

三明玉徹証正飯 ひとふるころも穂

1178-03 つき侍れつき侍つれ穂

1178-03 うけたまはりてうけ給て穂玉

1178-04 まかてまかりて横まかて池

1178-04 よろつによるへつに横

1178-04 よそのその穂

1178-04 いくしくいくしくしう穂

1178-05 みえたてまつらむ事もみえたてまつらんも

横榊池陽肖三明穂玉徹証正飯

1178-05 はつかしくはつかしう榊

1178-05 給に給ぬ穂

1178-05 たナシ陽

1178-05 おもひつめたる(思)つめたる榊

1178-06 かたはしきこえしらせてかたはしもへきこえしらせて徹

1178-07 なつかしくなつかしう榊

1178-08 いみしくいみしう玉

1178-08 ことそ事は横池

1178-09 いくちもいくちもも穂

1178-09 かくしかへ(く)し「朱」大

1178-10 さまならずさるならす飯

1178-10 あとたえてあとたて飯

1178-10 たた(さて)「後補」明

1178-11 まとろむともなきまとろむとしもなき横

池

1178-11 手ならししてへならし榊

1178-11 いとナシ徹

1178-12 きたるをきたる玉

1178-12 わか我玉徹

1178-12 おほしきを おほえしを徹証正

1178-12 なにしたてまつりつらむと思ふほとにおと

ろきてへなにしたてまつりつらむと思ふほと

- 11 78 | 12 なにしに なにしにや玉
- 11 78 | 13 たてまつりつらむと たてまつらんと榊徹証
正 たてま〔つりイ〕つらんと正※
- 11 78 | 13 みえつるならむ 見えつらむ陽※
- 11 78 | 14 あさましくあさましう陽穂玉徹証正
- 11 78 | 14 おほえ給はぬに おほえねは徹
- 11 78 | 14 おほしをほほるゝをおほしおほるゝを横池
陽徹証正 おほさるゝを「肖ハ削訂アルカ」肖
穂 おほしほるゝを玉
- 11 79 | 01 おもほしなせ おもほしなせ明 おもほしな
し玉
- 11 79 | 02 うつし心には うつゝ心には玉
- 11 79 | 02 なむ〔な〕ん榊
- 11 79 | 02 おほえ侍 おほえはんへる穂
- 11 79 | 02 かの なをかの横 榊かの池
- 11 79 | 02 みすの 御すの玉
- 11 79 | 03 ゆふへのこと ゆふへ〔の〕こと明
- 11 79 | 03 さはたさはた榊※
- 11 79 | 04 いかてかは いかてへかは榊 いかてか池三
玉
- 11 79 | 04 かなしく心ほそくていとをさなけに かなし
く心ほそくていと おさなけに榊
- 11 79 | 04 かなしく かなしう玉
- 11 79 | 05 みたてまつりて へみたててまつりて横
- 11 79 | 06 御涙を へ御なみたを榊 なみたを飯
- 11 79 | 06 そては そはて穂
- 11 79 | 07 いかゝは いかゝ穂玉

- 11 79 | 07 きこえさせむ事も きこえさせんとことも
飯
- 11 79 | 08 きこえきこえ榊
- 11 79 | 09 わひしくて わひしくへて肖
- 11 79 | 09 物のものも玉
- 11 79 | 10 いたうしと いたうしと 榊 いとをしと玉ナ
シ飯
- 11 79 | 11 いと いと「とヲ削ッテイヲ書ク」榊
- 11 79 | 11 すてかたきに すてかたきに三
- 11 79 | 13 さまなどは さまならば「飯ハとトラガ紛レル
傾向アリ」横榊池陽肖三穂玉徹証正飯 さまな
と(ラ)は「後補」明
- 11 79 | 13 にてもにて穂
- 11 79 | 14 いかにしつるそと いかにしはへるそと
飯
- 11 79 | 14 ひきひろけて ひきあけて玉
- 11 79 | 14 とをとと榊
- 11 79 | 14 「ヲ」しあけたれは したれは徹証正
- 11 80 | 01 みなみのとの みなみの穂
- 11 80 | 01 いらしか いらし方穂
- 11 80 | 01 またあきながらあるに へまたあきながらある
に池 又あきながらあるに穂 またあけな
らあるに玉
- 11 80 | 01 またあけくれの あけくれの榊
- 11 80 | 02 ほのかにも ほのかに横榊池陽肖三明穂玉徹
証正飯
- 11 80 | 02 やをらやをし(ら)「朱」大やはら穂
- 11 80 | 04 をとしをし玉
- 11 80 | 05 ものも物横榊池穂

- 11 80 | 05 おほせと し給へと横榊池陽肖三明穂玉徹証
正飯
- 11 80 | 06 あけゆくに あけゆく三
- 11 80 | 06 あはたしくて あはたしくて榊 あは(は)
たしくて飯
- 11 80 | 06 ゆめかたり 御ゆめかたり横 御ゆめかたり
池
- 11 80 | 07 いま いまは池
- 11 80 | 07 のとかならす のとかならす横
- 11 80 | 08 たちいつる たちへいつる榊
- 11 80 | 09 おきてゆく おきてへゆく玉 おきてゆる
飯
- 11 80 | 09 空もしられぬ 空もしくれぬ飯
- 11 80 | 09 いくの露の いくのづゆの「未見履
なり(る)穂
- 11 80 | 10 いてなむ いてむ陽※
- 11 80 | 10 なくさめ なくさみ横
- 11 80 | 11 みてもやむへく みてもや(さ)むへく池
- 11 80 | 12 こゑの こゑ玉
- 11 80 | 12 たましひは たましひへは榊
- 11 80 | 13 まことに身をはなれて 身をはなれて榊
- 11 80 | 13 たまはて 給て陽穂
- 11 80 | 14 ゆめの 夢穂
- 11 80 | 14 あはむことも あらんことも玉飯
- 11 81 | 01 かたきを かたきを榊
- 11 81 | 01 かの(かの)池
- 11 81 | 01 ねこの つねこの榊
- 11 81 | 01 いと(いと)榊

- 11 81 02 いみしきナシ穂
- 11 81 02 身かなみかなき明
- 11 81 03 そらはつかしきそらは(イ無)つかしき
三めらはつかしき飯
- 11 81 03 なとも(なとへ)榊
- 11 81 03 御ためは御ためには横御ためには池ため
は明玉飯
- 11 81 04 心ちにも心ちも穂飯
- 11 81 04 中にもなかにも横池穂
- 11 81 05 御めをもとりあやまちて御めをもとよりあや
まちて横御めをもとよりあやまちて池
- 11 81 06 かはかりかは(か)り陽かはり玉※
- 11 81 06 ならむならむ(事も)徹
- 11 81 06 くるしくもくるしく横榊陽肖三明穂玉徹証
正飯くるしかるましく池
- 11 81 07 おほゆまししかおほゆましきか横池おほゆ
る(ましき)か池おほゆましか穂おほししか
玉おほゆるまししか飯
- 11 81 07 つみにはつみにへは榊
- 11 81 07 あたらすともあたらすと榊あたらす陽あ
(夕)らすとも「朱」三あらすとも玉
- 11 81 08 おそろしくをしそろく穂おろしく飯
- 11 81 08 はつかしくはつかしう榊
- 11 81 08 きこゆれときこゆれとも穂
- 11 81 09 うはへは(うは)へは「朱」大うへは横池
陽肖三明穂玉徹証正飯うは(イ)へは三
- 11 81 09 ゆへありゆえありと玉
- 11 81 09 こめかしきにもこめかしきに陽
- 11 81 10 そひたるこそつかひたるこそ穂

- 11 81 10 かゝることにかゝること横池
- 11 81 11 これはこれはにノ上カラはヲ書ク「飯
- 11 81 12 みきゝつけたらむきゝつけたらん横玉
- 11 81 12 やうにやう飯
- 11 81 12 はつかしくはつかしう榊
- 11 81 12 おほざるればおも(ほ)ざるれば横おほゆ
れは陽
- 11 81 13 所にたに所へにたに徹
- 11 81 13 えみさりえみ(さり)榊
- 11 81 13 いてたまはず出はず徹
- 11 81 13 身事飯
- 11 81 13 おほししるへしおほしゝるるへし穂
- 11 81 14 なむと(なと)榊
- 11 81 14 ありければありけれど(は)池
- 11 81 14 いみしくいみしき陽穂玉
- 11 81 14 御心を心を「横未見」横池
- 11 82 01 うちそへてそへて徹
- 11 82 02 ことも事にも池も穂※
- 11 82 02 はちらひしめりてはちらひてしめりて
玉
- 11 82 02 さやかにもさやかにも横さはやかにも
玉
- 11 82 03 いとひさしくひさしく横榊池陽肖三明穂玉
徹証正飯
- 11 82 03 うらめしくうらめしう陽肖穂玉徹証正
- 11 82 03 おほすにやとおほざるゝにやと榊おほすに
や穂
- 11 82 04 きこえ給てきこえ給はて玉
- 11 82 04 いまはのいまは(の)三いまは飯

- 11 82 04 とちめにもとちめに(へ)榊
- 11 82 05 をろかなるおろかなるへき玉
- 11 82 05 なん(なん)三む穂
- 11 82 06 さまに御さまに玉
- 11 82 06 侍にこそ侍そ横榊三明徹証正飯侍池陽穂
玉侍そ池侍へにこ(イ)そ三侍る玉
- 11 82 07 給はぬも給はぬを横池穂
- 11 82 08 心くるしく心くるしう横池玉(心)くるしう
池
- 11 82 08 なみたくましくなみたくましう榊
- 11 82 10 きむたち君たち肖
- 11 82 10 かきつれきてつれきて穂
- 11 82 10 いひそゝのかせといひそゝろかせと穂
- 11 82 11 もてなしてもてなし徹証正
- 11 82 11 たまへりたまふへり大
- 11 82 11 さまにさまにて横さまにて池
- 11 82 13 いたナシ玉
- 11 82 13 なかめゐたまへるになかめ(へ)給へるに三
※
- 11 82 13 わらはへのわらへの穂玉
- 11 82 13 みたまひて見て榊玉※
- 11 83 01 神のゆるせる神のふるせる玉
- 11 83 01 かさしならぬにかたしならぬに横池かた
(さ)しならぬに「未見」横かさしなれとも
玉
- 11 83 01 とおもふも(と)思ふも徹思ふも証正
- 11 83 02 いといと三ナシ玉
- 11 83 02 などをなとも穂

- 11 83 | 03 おほゆ | おほゆる肖明徹証正飯 | おほゆ(る)
- 明
- 11 83 | 03 女宮も | 女宮の穂
- 11 83 | 04 みしられ給へは | みしり給えは玉
- 11 83 | 04 はつかしく | はつかしう榊
- 11 83 | 05 女房なども | 女房など横榊肖三明飯 | 女房たち
- 池
- 11 83 | 05 のとやかなれば | のと(や)かなれば池肖
- 11 83 | 06 ひきまさくりて | ひき(ま)きくりて証 | ひきま
- くりて正
- 11 83 | 06 けはひも | けはひ(も)榊 | けはひ徹
- 11 83 | 07 なまめかしけれと | なめまかしけれと池
- 11 83 | 07 おほゆ | おほざる(ゆ)榊
- 11 83 | 09 かさしなれとも | かなしなれとも飯
- 11 83 | 09 かきすすきひみたる | かきすまひ(ぬ)たる
- 飯
- 11 83 | 10 いと | ナシ徹
- 11 83 | 10 しりう事 | しるう事池
- 11 83 | 11 ふとも | ふとしも陽穂
- 11 83 | 11 たちかへり | (たち)かへり三
- 11 83 | 11 しつ心なく | しつこ(ろ)なく横
- 11 83 | 12 なに | こともなに(こ)とも徹
- 11 83 | 12 おほしわかれす | おほしわかす池
- 11 83 | 12 みちの程の | みちのほと横玉 | みちのほとも
- 横道程池 | みちのほと(へ)三
- 11 83 | 13 けに | ナシ肖徹証正 | けに肖
- 11 83 | 13 かの院は | かの院には横池
- 11 83 | 13 おほちまで | おちまで飯
- 11 83 | 13 人 | 人イ三

- 11 83 | 13 との | うち殿、中池※
- 11 83 | 14 いら給へれば | いら給つれば証正
- 11 83 | 14 日ころは | (日)ころは榊
- 11 84 | 01 みえたま | へるを見えたまひつるを陽穂玉徹
- 証正※
- 11 84 | 01 には | かになんにはかなん正
- 11 84 | 01 かきり | かきりは横榊池陽肖三明玉飯 | かきは
- 穂
- 11 84 | 02 さまとも | さまも横榊池
- 11 84 | 02 みす法 | とものみしゆ法もの穂 | 御すほう
- とも玉御す法とも徹証正 | みす法とも証
- 正
- 11 84 | 02 そう | なども僧とも玉
- 11 84 | 03 まか | てねまかむてね穂 | まかてぬもあれ
- 玉
- 11 84 | 03 さ | らは(は)榊 | さらに三
- 11 84 | 04 お | ほしはへる | おほしはつる「穂証ヨイカ、飯
- 毛徹妙」横榊池陽肖三穂玉徹証正飯 | おほしは
- へる「つハ多ク字母川デ書ク」明※
- 11 84 | 04 あ | さましさに | あさましさ玉
- 11 84 | 04 な | にことかは | なにことをかは横池
- 11 84 | 05 物 | のけの「モ」の(一)けの池
- 11 84 | 05 か | くかう陽肖穂玉徹証正
- 11 84 | 06 願 | ともを願を玉
- 11 84 | 06 け | んさけさ池
- 11 84 | 06 か | きりめしあつめて | かきりめしあ(つ)めて
- 玉ナシ徹証正
- 11 84 | 07 御 | いのちにて | いのちにて三 | 御命までにて
- 穂

- 11 84 | 07 た | ういましは | したういましは「のノ上カラ
- 先出しヲ書ク」榊
- 11 84 | 08 不 | 動尊の御本の | ふとうそのの御もとの「トル
- カ」穂 | 不動の玉
- 11 84 | 08 あり | ある池
- 11 84 | 08 かけ | とめたてまつり | かけとめた(へ)ま
- 横 | かけとめ榊 | かけとめたてまつり池 | かけとめ三※
- 11 84 | 08 た | まへと給へ穂 | た(ま)へと証
- 11 84 | 09 ま | ことに | ことに横 | (ま)ことに池 | ナシ
- 玉
- 11 84 | 09 く | ろけふりを | くるけむりを玉
- 11 84 | 10 み | あはせ給へ | 見あはせ給へと飯
- 11 84 | 10 あ | へなくあえなし | (ク)「複製ニハ傍記ミエ
- ズ」三
- 11 84 | 11 ほ | とナシ三
- 11 84 | 11 え | みすみす玉
- 11 84 | 11 こ | の身の榊
- 11 84 | 11 く | やしくやしう玉
- 11 84 | 11 かな | しきを | となしきを玉
- 11 84 | 11 お | ほしまと | へるおほしたま(と)へる横
- 11 84 | 12 心 | 地とも | 心とも池 | 心地とも、三 | 心ちも
- 穂
- 11 84 | 12 た | うナシ三 | 徹(た)イ三
- 11 84 | 13 御 | 心の内を | 御心の中を玉
- 11 84 | 13 い | てこぬ | いてぬ玉
- 11 84 | 14 う | れしくも | うれしうも榊
- 11 85 | 01 ゆ | しくも | ゆしく(も)三 | ナシ玉

- 11 85 | 01 おほしきはかる | おほしきはくか玉
- 11 85 | 01 人は人玉
- 11 85 | 01 さりね | さりぬ(ね)池 | さりぬ玉
- 11 85 | 02 てう | しわひさせ給かな | さけなく | つらけれ | ナシ穂
- 11 85 | 03 おほし | しらせむと | おほし | 見せんと | 穂
- 11 85 | 04 かく | ナシ陽
- 11 85 | 05 心の | こりて | 心の | こりて | 陽
- 11 85 | 05 かく | まても | へ | かく | まても | 榊 | かく | まて | 飯
- 11 85 | 05 心くる | しさを | 心くる | しさを | も | 陽 | 穂 | くる | しさを | も | へ | 玉
- 11 85 | 06 え | み | す | く | きて | み | す | く | きて | 横 | 池 | 玉 | え | み | す | く | きて | 穂
- 11 85 | 06 かく | まて | へ | かく | まて | へ | 玉
- 11 85 | 07 なく | な | け | く | 玉
- 11 85 | 07 かの | む | かし | へ | かの | む | かし | 「朱」 | 大 | む | かし | 横
- 榊池陽肖三明穂玉徹証正飯
- 11 85 | 07 もの | の | け | の | さま | もの | の | け | へ | の | さま | 横
- 11 85 | 07 み | え | たり | 見 | え | たる | 徹 | 証 | 正
- 11 85 | 07 あ | さ | ま | し | く | あ | さ | ま | し | う | 陽
- 11 85 | 08 む | く | つ | け | し | と | む | へ | く | つ | け | し | と | 榊
- 11 85 | 08 わ | ら | は | の | わ | ら | は | へ | の | 陽 | は | ら | は | の | 証
- 11 85 | 09 さ | ま | あ | し | く | も | さ | ま | は | し | く | も | 「は | カ」 | 穂
- 11 85 | 09 よ | か | ら | ん | へ | よ | か | ら | ん | 榊
- 11 85 | 10 物の | ナシ玉
- 11 85 | 10 た | ふ | れ | たる | か | た | は | ふ | れ | たる | か | 「後 | 補」 | 明 | たは | ふ | れ | たる | か | 穂
- 11 85 | 10 い | ひ | い | つ | る | も | い | ひ | 出 | も | 三
- 11 85 | 11 あ | な | る | を | あ | ん | な | る | を | 穂

- 11 85 | 11 又 | へ | ち | ま | た | 池 | ナシ肖
- 11 85 | 11 思 | ひ | い | て | ら | れ | ぬ | 思 | い | て | ぬ | 玉
- 11 85 | 12 さ | て | な | む | さ | て | ん | な | む | 穂
- 11 85 | 12 し | む | す | へ | き | し | む | せ | ら | る | へ | き | 陽
- 11 85 | 14 空 | お | ほ | れ | す | る | そ | ら | お | ほ | へ | え | する | 榊
- 11 85 | 14 き | み | は | 君 | 也 | き | へ | み | は | 君 | 也 | 「朱」 | 大
- 11 85 | 14 つ | ら | し | つ | ら | し | 池 | つ | ら | し | 徹 | 証
- 正
- 11 86 | 01 さ | す | か | に | さ | す | か | に | 榊
- 11 86 | 01 も | の | は | ち | した | る | も | の | は | ち | する | 玉
- 11 86 | 01 け | は | ひ | へ | け | は | い | 榊
- 11 86 | 01 か | は | ら | す | か | な | ら | す | 玉
- 11 86 | 02 物 | い | は | せ | し | 物 | も | い | は | せ | し | 陽 | 穂 | 玉
- 11 86 | 02 中 | 宮 | の | 宮 | の | 玉
- 11 86 | 02 う | れ | し | く | う | れ | し | う | 穂 | 玉
- 11 86 | 03 あ | ま | か | け | り | て | も | あ | ま | け | り | て | も | 穂 | あ | さ | け | り | て | も | 飯
- 11 86 | 04 ふ | か | く | ふ | か | く | 「カ | アル | カ」 | 穂
- 11 86 | 04 つ | ら | し | と | つ | ら | し | へ | と | 証
- 11 86 | 04 心 | の | し | ふ | 心 | の | ふ | し | 玉
- 11 86 | 05 な | り | ける | な | り | 徹 | 証 | 正
- 11 86 | 05 その | な | か | に | も | その | な | か | に | も | 横 | 榊 | 池 | 明 | 穂 | 徹 | 証 | 飯
- ※
- 11 86 | 05 い | き | て | の | よ | に | い | き | て | よ | に | 玉
- 11 86 | 05 お | ほ | し | す | て | し | よ | り | も | お | ほ | し | す | て | し | よ | り | も | 「朱」 | 大
- 11 86 | 06 思 | ふ | と | ち | の | 思 | ふ | と | ち | 陽
- 11 86 | 06 御 | 物 | か | た | り | の | 御 | も | の | へ | か | た | り | の | 「補 | 入 | 符 | 号」 | 明

- 11 86 | 07 う | ら | め | し | く | う | ら | め | し | う | 榊
- 11 86 | 08 は | ふ | き | い | は | ふ | き | 榊 | は | ふ | し | 陽
- 11 86 | 08 給 | へ | と | 給 | へ | か | し | と | 横 | 給 | へ | か | し | と | 池
- 11 86 | 08 こ | そ | 思 | へ | と | ナシ | 陽 | 穂
- 11 86 | 08 う | ち | う | ち | 「ヨ | イ | カ」 | 穂
- 11 86 | 09 と | ころ | せ | き | な | り | と | ころ | せ | き | な | り | 正
- 11 86 | 09 こ | の | 人 | を | その | 人 | を | 玉
- 11 86 | 10 ま | も | り | つ | よ | く | ま | も | り | つ | かく | 穂 | ま | も | り | め | つ | よく | 徹
- 11 86 | 10 御 | あ | た | り | あ | た | り | 穂 | 飯
- 11 86 | 10 ま | い | ら | す | ま | い | ら | 「せ | い」 | す | 「朱」 | 大
- 11 86 | 11 ほ | の | か | に | な | む | き | 侍 | る | ほ | の | か | に | へ | な | ん | き | へ | は | へ | る | 明
- 11 86 | 11 よ | し | ま | し | 池
- 11 86 | 11 つ | み | の | つ | み | 横 | 榊 | 池 | 陽 | 肖 | 三 | 明 | 穂 | 玉 | 徹 | 証 | 飯
- 11 86 | 11 か | ろ | む | は | かり | の | か | ろ | む | る | 許 | の | 徹
- 11 86 | 12 す | 法 | と | 経 | と | す | 法 | と | 経 | と | し | 穂 | と | す | 法 | と | 経 | と | 証
- 11 86 | 12 事 | も | こ | と | に | も | 玉
- 11 86 | 12 身 | に | は | 身 | ひ | と | つ | に | は | 榊
- 11 86 | 12 くる | し | く | くる | し | き | へ | 飯
- 11 86 | 13 ま | つ | は | れ | て | ま | と | は | れ | て | 穂
- 11 86 | 14 つ | た | へ | き | こ | え | 給 | へ | つ | た | へ | き | こ | え | 給 | 徹
- 11 86 | 14 ゆ | め | ゆ | め | 横 | 榊 | 池 | ゆ | め | 池
- 11 86 | 14 宮 | つ | か | へ | の | 御 | 宮 | つ | か | へ | の | 横 | 榊 | 池 | 陽 | 肖 | 三 | 明 | 穂
- 玉徹証正飯
- 11 86 | 14 人 | と | 人 | へ | と | 三
- 11 86 | 14 そ | ね | む | 心 | そ | ね | む | 心 | そ | ね | む | 心 | 陽 | そ | ね | ん | こ | ろ | 穂 | 玉

- 11 86 14つかひたまふなつかひし給な榊
- 11 87 01齋宮に齋宮へに榊
- 11 87 01かるむかるむ榊明飯
- 11 87 02ことになむ事になん「にハ行末後補力」
- 榊
- 11 87 02いひつゝくれといひつゝくれとも陽玉
- 11 87 02ものゝけにものゝけと玉
- 11 87 03ふむしこめてふしむこめて「しとむト反転
ノ符号アリ」榊ふうしこめて陽肖穂玉徹証
- 正
- 11 87 04給にけりたまふにけり三
- 11 87 04みちてもりて飯
- 11 87 05ゆゝしくゆ〇しく飯
- 11 87 05けふのけふかの横池
- 11 87 05かへさみにかへさひに榊穂かへさに
- 陽
- 11 87 05いて給ひけるいて給にける横三
- 11 87 06かくかへく横
- 11 87 06申せは(まねひ)申せは徹
- 11 87 06いみしきことにもいみしき(ぎ)ことにも
- 明
- 11 87 07かないけるナシ玉
- 11 87 07ありつるある穂玉
- 11 87 07ひかりうしなふひとりうらなふ飯
- 11 87 07あめはあめ玉
- 11 87 07そほふるそほふる榊ふる玉そをふる「ト
ルカ」証
- 11 87 08ありありけり玉
- 11 87 08たらひぬるたらひたる玉

- 11 87 08えなからぬえなから(か)ぬ池えなから
へぬ穂玉飯
- 11 87 09なにをさくらにとなにをさくらと玉
- 11 87 09いふふる事もいふなることも徹証
- 11 87 09いとゝナシ横池
- 11 87 10たのしひをたのしみを玉
- 11 87 10人ナシ玉
- 11 87 10二品宮は二品の宮は肖穂徹二品宮の
玉
- 11 87 10もとのもの陽
- 11 87 11おされたりつるをされつる陽※
- 11 87 11うちさゝめきけりへうちさゝめきけり池
- 11 87 12衛門督ゑもんのかみ榊明飯
- 11 87 12きのふ昨日は榊
- 11 87 12くらしかたかりしをいとくらしかたかりし
を「横未見」横榊池肖三穂玉いとくらしかた
かりしことを陽
- 11 87 12思ひて思ひいて榊「思てイ」三おもひいて
ゝ玉
- 11 87 12御おとうとも御おとうとも穂
- 11 87 13のせて入せて飯
- 11 87 13み給けり見給ける玉
- 11 87 13むねうちつふれてむねうちつふれて「ふくヲ
削ツテツヲ書ク」榊むねつふれて肖
- 11 87 14うちすしうちすんし三穂
- 11 87 14みなへみなイ三
- 11 88 01たしかならぬたりしかならぬ証
- 11 88 02給へるに給つるに穂
- 11 88 02なきなけき陽

- 11 88 02さはけはなさけは穂
- 11 88 02たちさはきた(う本)ちさはき三
- 11 88 02式部卿宮もしきふ卿の宮も榊明飯式部卿宮
にも三
- 11 88 03おほしほれたるおほしいれたる飯
- 11 88 03いり給まいり給横まいり給池
- 11 88 03人の人々の横池陽肖三徹証正人
玉
- 11 88 03御せうそこも(御)せうそこも「未見」横御
消息も穂御消息とも玉
- 11 88 04大将の君大将君池三
- 11 88 04のこひてたちいてなかし(のこひ)てへたち
いて横
- 11 88 05人の人陽
- 11 88 05申つれば申侍つれば肖申侍りつれば徹証
- 正
- 11 88 05なむナシ陽
- 11 88 06へたまへるをへ給つるを池へたまへる
穂
- 11 88 07この暁よりたえいり給へりつるをナシ
玉
- 11 88 07ありけるある(り)ける「朱」大
- 11 88 08きゝなし侍てききなして玉
- 11 88 08みな人みな玉みな人「心ノ上カラ人ヲ書ク」
飯
- 11 88 08しつむれとしつむれと榊しつむ(め)れと
池しつ(む)めれと三
- 11 88 09心くるしき心く(ル)しき「後補、なヲる
ニナゾルモ後補」明※

- 11 88 09 なき給へる なき給へる穂
 - 11 88 10 衛門督 多もんのかみ榊明飯
 - 11 88 10 わかへわか榊
 - 11 88 10 心ならひにや 心ならひに玉
 - 11 88 11 御ことを 御事に横榊池陽肖三穂玉
 - 11 88 11 心ナシ榊
 - 11 88 11 めをとゝむめとゝむ穂めをとゝん玉
 - 11 88 11 これかれこへれかれ榊
 - 11 88 13 女房 ねうはう明飯
 - 11 88 13 みたりかはしくみたり榊
 - 11 88 13 えのとめすえのとめえす榊
 - 11 88 14 ことさらになむことさらに陽徹証正
 - 11 88 14 ものし給へるものし給へり「りカ」飯
 - 11 89 01 のたまへりの給へる飯
 - 11 89 01 らうろうならすはらうろうならすは徹証
- 正
- 11 89 02 けはひナシ玉
 - 11 89 02 心の内そ心の中そ池徹
 - 11 89 02 かくナシ穂
 - 11 89 02 いきいて給てのいきいて給て肖三穂
 - 11 89 03 おそろしくへおそろしく榊
 - 11 89 03 おほしておほされて玉
 - 11 89 03 又々人(又イ)々三
 - 11 89 03 法ともをほうとも玉
 - 11 89 04 うつし人にてたにうつし人にてたに肖
 - 11 89 04 御けはひの御けはひの榊けはひの陽
 - 11 89 05 たまへらむを給へらんと(を)池給つ覧を
穂たまへらん正

- 11 89 07 ふかきふかき榊ふかな飯
 - 11 89 07 もとゐそかしとものといふかしと玉もとい
そかし徹
 - 11 89 07 なへてのなへて榊なへての池
 - 11 89 07 世中池よの中は玉
 - 11 89 07 世中池よの中は玉
 - 11 89 07 七きかさりしきかさりし飯
 - 11 89 08 むつものかたりにむつものかたりにへに
池
 - 11 89 08 いひいてたりしにいひたてたりしに徹証
- 正
- 11 89 08 まことま事に(と)榊
 - 11 89 10 御いたき御いたきを飯
 - 11 89 10 するし許するしはかりは榊
 - 11 89 10 五かい許五戒はかりを榊五六はかり
玉
 - 11 89 11 御かいの師御かいの師大
 - 11 89 12 人わるく人わるく横榊池三穂玉
 - 11 89 12 そひみてそひみ給て横榊池陽肖三穂玉徹証
- 正
- 11 89 12 なみたおしのこひ給ひつなみたをしのこ
ひつ池涙を忍(を)しのこひ給ひつ三
みたをしのこひ給て穂なみたをしのこひ
給つ玉
 - 11 89 13 きこえ給さまきこえさま榊きこえ給さまも
徹
 - 11 89 14 あたりてはあたりて榊
 - 11 89 14 なりけりなり穂
 - 11 89 14 これをこれをは飯
 - 11 90 01 ほれしきまでほれしきとて飯

- 11 90 02 御かほも御かをも「トルカ」明
 - 11 90 02 給にたり給にけり徹証正
 - 11 90 02 五月なとは五月なと飯
 - 11 90 03 えさはやきさはやき陽玉
 - 11 90 04 なやみへなやみ榊ナシ玉
 - 11 90 05 せさせ給日ごとにせさせ給ひ肖徹証正せさせ給日ごとに(イ無)三※
- シ陽
- 11 90 05 わざわざを三
 - 11 90 05 ちかくてもちかくて玉
 - 11 90 06 みと経御読経穂玉徹
 - 11 90 06 よませ給よませさせ給榊※
 - 11 90 07 こともをことを陽
 - 11 90 07 いへといへと(ひつ)徹
 - 11 90 07 この(こ)の明ナシ玉※
 - 11 90 07 いといと榊
 - 11 90 08 いきもたえついまもきえつ陽穂玉
 - 11 90 08 いはむかたなくいはんかたなくのみ玉
 - 11 90 09 御けしきをけしきを陽
 - 11 90 09 心くるしく心くるしう榊
 - 11 90 10 のこるましけれとのこるましければと池の
こひましけれと「ヨイカ」穂
 - 11 90 11 おほしまとふめるにむなしくへおほしまとふ
めるにむなしく池
 - 11 90 11 まとふめるにまとふめるを陽
 - 11 90 11 みなされたてまつらむかみへなされいへた
てまつらんか三見なされたてまつらんは玉

※

- 11 90 13 いとナシ徹証正
- 11 90 13 ゆゝしくてゆゝしうて陽肖徹証正
- 11 90 13 六条院六条の院明玉飯
- 11 90 14 えわたり給はずわたり給はず榊玉徹へえわたり給はず三
- 11 91 01 れいのさまれいさま横池
- 11 91 03 夢のやうにゆめのやうにて池ゆめの様に穂
- 11 91 03 宮宮は横榊池陽肖三穂玉徹証正
- 11 91 03 事に御事に玉
- 11 91 04 いみしくいみしう玉
- 11 91 04 給へる給つる穂
- 11 91 04 たにやはたにやは三※
- 11 91 05 なまめきたれはへなまめきたれは榊
- 11 91 05 人めにこそ人めこそ横池
- 11 91 06 御ありさまに御ありさまにのみ陽
- 11 91 07 めさましくめさましく肖穂玉証正めさましと徹
- 11 91 07 わたりナシ陽
- 11 91 07 給は給え玉
- 11 91 07 あはれなるあはれなりける横あはれなる榊あはれなりける池
- 11 91 07 御すくせにそ御すくせにそかくなやみわたり給はあはれなる御すくせにそ飯
- 11 91 08 院の院横榊池
- 11 91 08 ことも御ことも肖三
- 11 91 08 たまさかなるをたまさかなるをと陽肖三穂

- 徹証正たまさかなるを〔と〕陽たまさかになるを明たまさかなるを〔に〕ノ上カラなヲ書クカ〕飯※
- 11 91 09 うらみうらみうらみ横み陽穂玉
- 11 91 09 たてまつるたてまつり横たてまつりる池
- 11 91 10 女きみはひめ君は穂
- 11 91 10 すこしきはやかにもてなし給へりふしなからへすこしきはやかにもてなし給へり□なから〔□ハ事カ〕飯
- 11 91 11 給へりしかは給しかは徹
- 11 91 11 まよふまかふ榊飯※
- 11 91 12 すちもなくてすちなくて陽肖玉証正すちなく穂徹
- 11 91 12 きよらにけうらに榊
- 11 91 13 さをにさをに横まをに玉
- 11 91 13 御はたつき御かたつき飯
- 11 91 14 らうたけ也らうたけに穂
- 11 91 14 などのやうになとやうに正
- 11 91 14 たよはしけにたよか(は)しけに〔朱〕大
- 11 91 14 おはすおほす穂おほす証
- 11 92 01 すみ給はてすみはて給はて玉すみ給いて飯
- 11 92 01 すこしナシ徹
- 11 92 01 あれたりつるあれたりつる〔るヲリニ直ス〕陽
- 11 92 01 みゆみゆる玉
- 11 92 02 かくかく池

- 11 92 02 つくろはれたるつくろひたる徹証正
- 11 92 03 うちつけにうちつけ〔に〕明
- 11 92 03 みいたし給てもあはれにいまへにけるをみいたし給てもあはれにいまへにけるをみいたし給てもあはれにいまへにけるを証
- 11 92 03 みいたし給ても見いたして給ても徹
- 11 92 04 おもほす〔ヲ〕ほす穂
- 11 92 04 池は〔ス〕ちは穂
- 11 92 04 すしけにてすしけへにて徹
- 11 92 04 はちすの花のはちすの花徹証正
- 11 92 04 はは横
- 11 92 05 みえわたるを見えわたる肖徹証正※
- 11 92 05 かれあれ池陽肖穂玉徹証正(あ)れ池(あ)れ〔後補〕明
- 11 92 06 のたまふにの給ふ肖徹証正※
- 11 92 06 みいたし給へるもみ給へるも三
- 11 92 06 いとナシ陽
- 11 92 06 めつらしければめつらしければ(は)池
- 11 92 08 おりののの横池をりの穂
- 11 92 08 ありしはやとありしやはと〔池ハヤトはト反転ノ符号アリ〕池陽
- 11 92 08 涙をうけて涙うけて穂
- 11 92 08 あはれにあはれと(に)〔朱〕大
- 11 92 09 ほとやはふへきほとやはあると玉
- 11 92 09 との給〔改行〕池玉
- 11 92 10 この世ならてもこのよならては(も)榊
- 11 92 10 はちすはにはちすはの(に)池
- 11 92 10 玉あるつゆのたまある露も玉

- 11 92 | 10 こゝろへたつな心へたつる穂
- 11 92 | 10 いてたまふ「改行」陽玉いてた給明
- 11 92 | 12 まとはしつるまとはし給つる玉
- 11 92 | 13 さへやはさへや榊陽
- 11 92 | 13 たえこもらむとたにこも覽と穂
- 11 92 | 13 給ひぬたまぬ飯
- 11 92 | 14 御心のおに、御心のなに、飯
- 11 92 | 14 はつかしうはつかしく榊三ナシ陽
- 11 93 | 01 ひころのひ△ろ「擦消カ」榊※
- 11 93 | 01 つもりをつもり玉
- 11 93 | 01 さりけなくてさりへげなくて池
- 11 93 | 02 おほしけるとおほしけるに穂
- 11 93 | 02 とかくふ(とイ)かく三(とふ)かく「後補」
明
- 11 93 | 02 こしらへこしらへて飯
- 11 93 | 03 めしてめしいて、横榊肖三めしいて、
池
- 11 93 | 03 さまなとさまかなと穂
- 11 93 | 03 なむととと榊穂
- 11 93 | 03 御ありさま(御)ありさま明有さま穂
- 11 93 | 04 御ことにもと御事にてと玉
- 11 93 | 04 御心の内には御心の中には榊徹
- 11 93 | 05 人々たにも人にたにも横人々(人々)にたにも「タ
ハ補入カ」池人<たに玉
- 11 93 | 05 さることなきをさるへことなきを肖
- 11 93 | 05 不定なる不定の穂
- 11 93 | 05 御ことにもやと御事もやと池玉御事にもや
と池※
- 11 93 | 05 おほせはおほせ穂

- 11 93 | 06 あへしらひあひしらひ玉
- 11 93 | 06 給はて給はず三
- 11 93 | 07 わたりたまひしかはわたり給えりしかは
玉
- 11 93 | 08 えかへり給はて見かへり給はて穂
- 11 93 | 08 ほとほとは榊
- 11 93 | 09 おほむことのは御事のは横榊池陽肖三明穂
玉徹飯
- 11 93 | 10 いてやいてや三いて穂※
- 11 93 | 10 御あやまちあやまち横池
- 11 93 | 11 わたりたまへりわたり給へる陽肖徹証正わ
たり給ける穂わたり給ひぬ玉
- 11 93 | 12 心あやまりして心あやま(り)して池心あや
まちして肖証正心あや(まり)して徹
- 11 93 | 12 ことゝもを事玉
- 11 93 | 13 程にナシ陽
- 11 93 | 14 こそいとこそと榊
- 11 93 | 14 心うけれ心うけれ証
- 11 93 | 14 いとゝいと穂玉
- 11 94 | 01 侍そやみえ侍そや穂
- 11 94 | 01 とてナシ池
- 11 94 | 02 み木ちやう御几帳陽三穂玉徹御(木)丁
三
- 11 94 | 03 えよくもよくも榊三
- 11 94 | 03 さしはさみ給つさしはさませ給つ横池さし
はさみつ榊
- 11 94 | 03 ようさりつかたよさりつかた榊肖三穂玉徹
ようさり(ゆふ)つかた池※
- 11 94 | 04 二条院へ二条の院へ明飯

- 11 94 | 04 きこえたまふきにえ給「ミセケチカ」池
- 11 94 | 05 いまさららにいまさら榊今はさららに肖
※
- 11 94 | 06 ひか<しくひか<しう榊
- 11 94 | 06 ゆめゆめ<横ゆめ<玉
- 11 94 | 07 れいはなまいはけなきれれはなき穂
- 11 94 | 07 たはふれことたはへふれこと肖
- 11 94 | 07 なともなへ(と)にも榊など徹※
- 11 94 | 08 うちとけうちとけ榊うちとけて三※
- 11 94 | 08 さやかにもさやうにも玉
- 11 94 | 09 御けしきと(御けしき)と横御けしきに
榊
- 11 94 | 09 たまふひるの給「フ」ひる(ル)の「給ひその
二紛レヤスイユエノ後補」明
- 11 94 | 09 ひるのおましにひるのおましゆに大
- 11 94 | 10 おほとこのこもり御とのこもり穂玉
- 11 94 | 10 いりにけるにいりにけるに榊いりにけり
陽いりにける飯
- 11 94 | 11 おとろき給てさらはおとろき給さららに
玉
- 11 94 | 11 程にとて程にて穂
- 11 94 | 12 なとナシ榊
- 11 94 | 12 物をといと物をは穂
- 11 94 | 13 にくからすかしいとにくからすかし榊
- 11 94 | 13 そのまにもとやそのまにも「と」や陽そのま
にも(とイ)やと三そのま、にもとや玉
- 11 94 | 13 おほしてナシ穂
- 11 95 | 01 おきて行らむいて、行覽穂
- 11 95 | 01 かたなりなるかたなりける飯

- 11 95 | 02 いひいていひいひいて「朱カ」大
- 11 95 | 02 うちなけきたまふうちなけきぬ飯
- 11 95 | 06 給いて給て飯
- 11 95 | 06 まいりさすかにまいり榊ナシ穂
- 11 95 | 06 おほとこのこもりぬ御とのこもりぬ穂
- 11 95 | 06 また又穂
- 11 95 | 06 あさすみあさすみ陽穂
- 11 95 | 07 ほとに(ほとに)榊
- 11 95 | 07 わたり給はむわたり給らん飯
- 11 95 | 07 とくナシ榊玉徹証正
- 11 95 | 07 よへのよつ(へ)の池
- 11 95 | 07 かほほりをか(へ)ほりを横かうほりを玉
- 11 95 | 08 風ぬるくこそ風ぬるきこそ「さハ□ノ上カラくヲ書イタモノカ」陽
- 11 95 | 08 ありけれありけれ「行末後補カ」榊
- 11 95 | 08 御あふき御あふきを徹
- 11 95 | 08 きのふ昨日の横池
- 11 95 | 09 たちとまりてたちとまり給て榊
- 11 95 | 09 まよひたるまかひたる穂
- 11 95 | 09 あさみとりのあさみとり(へ)の池
- 11 95 | 10 はし(ふみ(はし)池
- 11 95 | 10 みゆるを見ゆるも陽※
- 11 95 | 11 ひぎいてひぎひて穂
- 11 95 | 11 などなんと池
- 11 95 | 11 かきさま(かき)さま榊
- 11 95 | 12 まきるへき方なくまきるへく穂
- 11 95 | 13 み給つみたまひつ(又横見給にひつ飯
- 11 95 | 13 御かみおほんかみ横池三明飯

- 11 95 | 13 み給なをみ給横榊陽肖三穂(ナヲ)み給横なを見給へき玉徹証正 猶み給(へき)証み給に飯
- 11 95 | 13 心も心陽
- 11 95 | 13 こしう少侍従池
- 11 95 | 14 みるにみゆるに玉
- 11 95 | 14 いとナシ穂
- 11 96 | 01 なんと(へと)横
- 11 96 | 01 方にめもかためにも「めトにト反転ノ符号アリ」榊※
- 11 96 | 01 あらしあらしと三
- 11 96 | 02 かくいたまひてけむとかくい(シ)て給てけむと「未見」横かくし給てけん池陽肖穂玉かくい(し)給てけん池かくし給てむと徹証正
- 11 96 | 02 思ひなす思なす「にイ」三
- 11 96 | 02 なに心もなくなに心なく榊
- 11 96 | 03 おほとこのこもれり御とのこもれり穂玉
- 11 96 | 03 あなあら穂
- 11 96 | 03 かゝる物をかゝるもの榊かゝ物を穂
- 11 96 | 04 人も人徹
- 11 96 | 04 おほすもおほすにも玉
- 11 96 | 04 心おとりして心おとり(へ)て飯
- 11 96 | 04 されはよされはよと徹証
- 11 96 | 04 むけに「むけにイ」三
- 11 96 | 05 うしろめたしとはうしろめたとは穂うしろめたしと玉
- 11 96 | 05 みるかしとみるそかしと穂
- 11 96 | 06 人々人(は)飯

- 11 96 | 06 よりてよりきて三
- 11 96 | 07 色こそ色こそ「のヲ削ッテこそヲ書ク」榊
- 11 96 | 07 侍つれと侍つれとも大
- 11 96 | 07 あさましとあさましく徹
- 11 96 | 09 いつくにかはいつくにか横池三穂いつくにかは陽肖徹証正
- 11 96 | 09 さふらはしとさふらはしと(へテ)「池ノ補入ハ平仮名」横池
- 11 96 | 10 いみをたにいみ玉
- 11 96 | 10 さり「さ」り明
- 11 96 | 10 侍しをはしを榊明
- 11 96 | 10 ほとへほとへて証
- 11 96 | 11 侍にしをはんへりにしを穂
- 11 96 | 11 給つらむとなむ給へらんとなん横
- 11 96 | 11 思給へしおもふ給へし三明飯おもひ給へし穂玉※
- 11 96 | 12 ふともふと玉
- 11 96 | 12 えおきあからてえをきあからて榊えおきあへて肖三徹証正えをきあか(へ)ら(無イ)て「後補」明えをきあらて穂※
- 11 96 | 12 わすれにけりとわすれにけると飯
- 11 96 | 13 きこえむききえん穂※
- 11 96 | 13 いつくのかはいつくのかは陽肖穂玉徹証正いつくのかは(肖)いつくのかわ「本二」ト傍記「玉
- 11 96 | 13 かの君もかの君の穂
- 11 96 | 14 いたくいたう榊
- 11 96 | 14 けしきにてもけしきにて榊

- 11 96 | 14 もりきかせ | もりきゝ玉
- 11 96 | 14 あらはと | あらは横池
- 11 96 | 14 きこえ給し | きこえし穂
- 11 97 | 01 御ありさまにて | 御ありさまにへて横
- 11 97 | 02 としころ | 補入横
- 11 97 | 03 思ひ給へし | おもふ給へし横池三明飯思給へし榊陽徹思給へし徹
- 11 97 | 03 御ことかは | 御事へかは榊ことかは穂
- 11 97 | 04 は | かりもなくはかりもなく穂はかりなく徹証正
- 11 97 | 04 きこゆ | きこゆる玉
- 11 97 | 04 わかく | わかう榊へわかく池
- 11 97 | 04 なれきこえ | たるなめりなれきこへためるなめり玉
- 11 97 | 05 なぎにのみ | そなみきにのみそ「たヲき二直ス」池なぎになきそ玉
- 11 97 | 05 なぎ給 | なき給乳母そ肖※
- 11 97 | 05 つゆは | かりのへつゆはかりの榊露はかり徹証正
- 11 97 | 06 いまは | いま玉
- 11 97 | 07 給に | たる給たる穂
- 11 97 | 07 心を | くれ給へる心をいれたまつる横心をいれ給つる池
- 11 97 | 07 おと | はおと、はなを飯
- 11 97 | 08 この | ふみのなをこのふみなを「未見」横このふみを猶池なをこの文の玉
- 11 97 | 08 おほ | さるれはおほさるれは三
- 11 97 | 08 うち | 返しつ、うちかくへしつ、池
- 11 97 | 09 中に | なかに榊玉

- 11 97 | 10 あり | へあり横
- 11 97 | 10 年を | へてとしへて玉
- 11 97 | 11 ことの | へことの榊
- 11 97 | 11 ほしい | かなひてほしいゆか）なひて「後補」明※
- 11 97 | 12 いと | 見所ありていとみところありて横いへとみみところありて池
- 11 97 | 12 いと | かくいと穂
- 11 97 | 12 さや | かにさやかに「は」「後補」明さやうには玉
- 11 97 | 13 かや | うにかやうへに横
- 11 97 | 14 こま | かなるへきこまやかなるへき榊
- 11 97 | 14 かき | まきはししかかきまきはししゆか）「朱」大かきまきはししる肖
- 11 98 | 01 この | 人をはこの人をは「削ッテこ、のヲ削ッテをヲ書ク」榊この人をへは「三」この人を穂この人よは飯
- 11 98 | 02 も | てなししなし陽穂玉
- 11 98 | 03 心 | うやかく心うや陽心うやかて三
- 11 98 | 03 あり | しなからありしなから明
- 11 98 | 03 人 | つてならず人すてならず池
- 11 98 | 03 し | ろし「穂ハカカ」穂飯
- 11 98 | 04 御 | 心なからも御心なから玉
- 11 98 | 05 す | さひとすまひと榊すさみと穂
- 11 98 | 05 心 | を御心を榊
- 11 98 | 05 心 | わくらむ心にく覧陽心わくらんよ玉
- 11 98 | 06 ま | してナシ陽
- 11 98 | 06 こ | れはこれに飯

- 11 98 | 06 さま | ことにまことに玉
- 11 98 | 07 御 | めをも御めを陽
- 11 98 | 07 あり | けれどありけりと穂
- 11 98 | 08 わ | れも人もわれも玉
- 11 98 | 09 心 | を心玉
- 11 98 | 09 お | ほかりぬへきおほかるへき穂
- 11 98 | 10 女 | 御女院横池
- 11 98 | 10 と | あるすちへとあるすち肖あるすち穂、「ト」るすち飯
- 11 98 | 10 か | かるかたにか、るけかたに榊
- 11 98 | 12 や | うも様も穂
- 11 98 | 12 ふ | としもふとしても玉
- 11 98 | 13 か | くはかりはかり穂
- 11 98 | 14 よ | りもより穂玉
- 11 98 | 14 い | つくしくいつくしう榊
- 11 98 | 14 思 | ひはくまむおもひた覧穂思ひはくむ徹証
- 11 99 | 01 さ | らにへさらに池
- 11 99 | 01 つ | まはしきつまはしきを玉
- 11 99 | 01 み | かと、御門に玉
- 11 99 | 02 程 | もほと横
- 11 99 | 03 わ | たくしのわたくしの榊
- 11 99 | 03 の | かし、おのかし、の玉
- 11 99 | 03 み | すくしかたきみすへきかたき穂見過しかたき徹
- 11 99 | 04 心 | かよひ心よひ「よカ」穂
- 11 99 | 04 な | ならひはなへからひへを池
- 11 99 | 04 お | なしなをし横
- 11 99 | 05 よ | るかたありやよるかたあるや飯

12 01 07めしまつはしめしまとはし穂玉
12 01 07人よりは人よか(り)は「後補」明※
12 01 07こまかにまめやかに横池こまやかに榊陽肖
三穂玉徹証正

12 01 08あさましくあさましう榊
12 01 09たてまつりてはたてまつりてへは榊たてまつりて穂

12 01 09いかてかはナシ玉

12 01 09めをもめを三

12 01 10まいらざらむもまいらざ覽穂

12 01 10ことの事穂

12 01 11心ちも心も三

12 01 12つみにはつみに榊玉

12 01 12あたるへきあへたるへき陽

12 01 12なりぬるなりぬへき玉

12 01 12心ち心地の横池

12 01 12されはよとされはよとて榊

12 01 13かつはナシ穂玉かつ徹

12 01 13心も御心も榊

12 01 13いとへいと池ナシ玉

12 01 13しつやかにしつ「や」かに横榊しつかに

池

12 01 13けはひけは穂

12 01 14わたりそやあたりそや池あたり玉

12 01 14みすの御すの穂玉

12 01 14かるしかるし池

12 01 14大将の院(大将)の玉

12 02 01おもひ給へるおもひ給へる□ノ上カラ給
へヲ書ク池

12 02 01けしきけしきに(イ無)三

12 02 02思ひさまきむとおもひまさんと榊※

12 02 02とおもふナシ穂

12 02 02あなかにナシ玉

12 02 02つけたてまつらまほしきつけまつらまほし
き横池

12 02 03ひたおもむきにひたおもむけに穂

12 02 03おほとかに思とかに玉

12 02 03ありさまもあり様も穂

12 02 04かつさふらふかつは(候)横

12 02 04心をぎ心をぎ玉

12 02 04こともなくてことなくて徹

12 02 04かくかくて榊

12 02 04御身のためも人のためもいみしきナシ

玉

12 02 05人のためもナシ横池証正(人のためも)

徹

12 02 05え思ひはなたれえおもひはなたれ榊おも

ひはなたれ穂玉

12 02 06さまの御有さまの肖ナシ玉

12 02 06かくへかく榊

12 02 08みたてまつり給につけてもみたてまつりた
まふつけても飯

12 02 10いたはしくへいたはしく三

12 02 10きこゆるきこゆる池

12 02 11きこえナシ榊穂

12 02 11いといと榊

12 02 11御心御、玉

12 02 12もてなしてもてなして榊

12 02 12おほしのみみたるにおほしのみたる、
(に)榊おほしのみみたるに穂

12 02 12御心の内しもそ御ころの中しも穂

12 02 13さることさることは飯

12 02 13みきとも見きと(もイ)三※

12 02 13わりなくわりなくて玉

12 02 13おほしたるさまも心をさなしいとかくナシ

玉

12 02 14よきやうとよきやうと「に」上カラとヲ書

ク玉

12 02 14心もとなく心もとなう榊

12 03 01おほすにおほすに榊

12 03 02をひれおもひ玉

12 03 02かやうにかやうには徹証正

12 03 03女はかう女はかく「横末見」横池女は、か

ら穂

12 03 03はるけ所なくはるけきところなく玉

12 03 04心つよからぬ心よからぬ陽

12 03 04しいつるしつる横池玉

12 03 05北の方の北の方徹

12 03 05なくなくて玉

12 03 05ものはかなきものはりなき飯

12 03 06さすらふるさすらふ玉

12 03 06おいておいへいて大

12 03 06かとしくかとしう榊三

12 03 07心のそはぬにしも心そはぬにしも横池心の
そはぬ(に)しも榊

12 03 07あらさりしをあらさりしよを池

12 03 08すくしすくし玉過し徹

12 03 10 しましてナシ玉
 12 03 10 なさすなへさす榊
 12 03 11 いかにかとあることいかにしかとありしる
 こと池
 12 03 11 なかくナシ陽
 12 03 11 たもたむたもとたん池
 12 03 12 おなしことあらまし物から心もてナシ
 穂
 12 03 13 かるくしきかろくしき穂玉
 12 03 13 くはりなましはりなまし「本二」ト傍
 記「玉」
 12 03 14 おほしいつおほしいつるに池
 12 03 14 内侍のかむのきみをは内侍かむのきみは横
 池
 12 04 01 給へと給へは穂
 12 04 01 かくかかく榊とかく穂
 12 04 01 うき物にうき物と穂
 12 04 01 御心よはさも御心より(は)さも「後補」明
 ※
 12 04 02 かるくかるくろくヲ削ッてるくヲ書ク榊か
 ろく穂玉
 12 04 02 給けりたまひにけり陽
 12 04 02 きゝ給てはきゝ給て玉
 12 04 03 うききてうききて横うきて玉
 12 04 03 いまなむとたにいまなとたに横いまなと
 き(たに)榊
 12 04 06 ためなさをためなさを榊
 12 04 07 おほしナシ穂
 12 04 07 御多かうのおほむえかうの穂多かうの

玉
 12 04 07 うちにはついてには池中には肖徹証
 正
 12 04 07 まつこそはとまつこそ(ハナト)いと横ま
 つこそはと池陽穂玉徹証正まつこそ(はな
 と)いと池
 12 04 08 なむなとなんなと三※
 12 04 08 おほくおほえ玉
 12 04 08 とくと玉とく(し比)徹
 12 04 08 おほしたちにしておほしたちし陽
 12 04 09 あらはしあらは(か)し池
 12 04 09 なれとなれは陽
 12 04 09 心の内心中徹
 12 04 10 御契を契を穂
 12 04 10 しられぬ「シ」られぬ榊「シ」らね穂し
 られぬる玉※
 12 04 10 なとと玉
 12 04 11 御返御かへり横
 12 04 11 とちめととちめて穂
 12 04 12 すみつきなとすみつきなと榊すみつき
 陽
 12 04 12 世とは世には玉
 12 04 12 身ひとつのみ身ひとつにのみ横榊池陽肖三
 明飯身ひとつのみ穂
 12 04 13 のたまはせたるのたまは(せ)たる横のたま
 せはせたる榊
 12 04 14 あま舟にあまふねの「を」ヲ削ッテふヲ書ク
 カ「榊」
 12 04 14 いさりせしきみあ(いイ)さりせしきみ

三
 12 04 14 多かうには「改行」陽玉
 12 05 01 かとかこと横池かた肖三徹証正かと(夕)
 「後補」明かと「と」ハセトヨムベキカ「玉」
 12 05 01 いかはといかと徹いかはと「はアル
 カ」証いかはとと飯
 12 05 01 しきみにしきみにてしきみに池しきに
 玉
 12 05 01 されたまへはさし給へる横榊池陽肖三明穂
 玉徹証正飯
 12 05 03 二条院に二条の院に玉
 12 05 03 みせたてまつりみせさせ(たて)まつり「て
 本」ノ傍記でヲミセケチニシテたてヲ書ク「
 池
 12 05 04 こそこそ三※
 12 05 04 はつかしめられたれはつかしめられたれ横池は
 つかしめられたれ肖徹証正「けれ」証「つ
 かはしめられたれ「本二」ト傍記「玉」
 12 05 04 けにけり玉
 12 05 04 心月なしや心つきなし徹証正
 12 05 04 さまくさまく陽穂玉
 12 05 04 世中の世の徹
 12 05 05 ありさまをあり様を穂
 12 05 05 みすくしつる見過しつる徹
 12 05 05 やうなるやうなる穂やうなる世(よ)
 徹
 12 05 05 なへてのなへて玉
 12 05 05 世のことにも世に事にても池よのなかに
 ても三よのこと(中)にても「後補」明

- 12 05 | 06 物をナシ三
- 12 05 | 06 よせてよせ(付イ)て「後補」明
- 12 05 | 06 すくきすすくきすくきす
- 12 05 | 07 かはしつへきかはし給(つ)へき榊
- 12 05 | 07 こそはこそ榊
- 12 05 | 07 のこりありつるをのこりつるを榊
- 12 05 | 08 齋院はたさい院(は)はた「後補」明さい院
は又穂
- 12 05 | 08 給にたなり給にたなり横給ひためり肖給
にためり三給にたなり穂給にたるなり
- 飯
- 12 05 | 08 なをナシ榊
- 12 05 | 09 ありさまを有さま榊
- 12 05 | 09 中になかに榊三
- 12 05 | 09 なつかしきはつかしき玉
- 12 05 | 10 御なすらひにたにも御(な)すらひにたにも
「未見」横なすらへにたにも三御なすらへに
たにも穂御なすらひにたに玉徹
- 12 05 | 10 女こをおほしたてむ女こをおほしいて
ん肖女子を、したてん三女子をしたてむ
- 穂
- 12 05 | 11 かたかるへきかたかるへき三※
- 12 05 | 11 いふらむいふなる玉
- 12 05 | 12 おいたむおひたら(ん)らノ上カラ、
ヲ書クカ「池」おいたらん「正」ハラトノ区別
微妙「玉」証正
- 12 05 | 12 いるへかめりいるへかめり穂いるへき
(か)めり証
- 12 05 | 13 あまたナシ榊

- 12 05 | 13 さう／＼のさう／＼の玉
- 12 05 | 14 ありし有しを穂
- 12 06 | 01 おほしたてまつり給へおほしたてまつ
り給へ榊肖徹証正を、したて、穂
- 12 06 | 01 物の心を物、こ、ろ横池三徹
- 12 06 | 01 ほとならてほとなら(く)て横
- 12 06 | 02 し給へはし給へ(は)イ三
- 12 06 | 03 すくし過し徹
- 12 06 | 04 うしろめたかるましきうしろめたるましき
穂
- 12 06 | 04 とさまかうさまのとさまかうさまに(の)
横
- 12 06 | 05 それにもそれ(に)も池
- 12 06 | 06 御うしろみ「御」うしろみ池
- 12 06 | 07 いかならむいか(な)らん横
- 12 06 | 10 それそれを三
- 12 06 | 11 六条の六条院の横
- 12 06 | 11 ひむかしの君にひんかしきみに玉
- 12 06 | 11 うるはしきうるはしく横
- 12 06 | 11 みめもみるめも肖三徹証正み(る)めも「後
補」明
- 12 06 | 12 けうとかるへしけうとかる(へ)し榊
- 12 06 | 12 心はへ心は三
- 12 06 | 12 みせてを見せて玉飯
- 12 06 | 13 せさせ給(せさせ)給榊
- 12 06 | 13 給つくも所の給つくもし(と)ころの池た
まふつくもんの穂給つくもところの玉給
へつくも所の徹証正
- 12 06 | 14 木長などの木丁ともの三

- 12 06 | 14 事もいと事玉事(も)いと正
- 12 07 | 01 かくてナシ陽
- 12 07 | 01 山のみかとの山のみかと榊
- 12 07 | 01 八月は八月肖
- 12 07 | 02 御忌月にて御いみの月にて玉
- 12 07 | 02 かくそのことかく所陽かく所のこと肖三穂
玉徹証正
- 12 07 | 02 おほきさきのおほきさいの玉
- 12 07 | 03 ひめ宮ひめ君「証」ハ君カ「証」正
- 12 07 | 03 いたくいたう榊
- 12 07 | 04 衛門督のゑもんのかみの榊三明飯衛門督
穂
- 12 07 | 04 御あつかりの宮御あつかり宮榊
- 12 07 | 05 ゐたちてゐたち陽(る)へ(て)たち玉
- 12 07 | 05 もののきよらもの、きよう陽
- 12 07 | 05 給へりけり給けり三
- 12 07 | 06 思ひおこしておもひをこし「横未見」横池
※
- 12 07 | 06 なをなやましくなをやましく飯
- 12 07 | 07 すくし給すくし(給)大すこし給玉過し給
徹
- 12 07 | 07 宮も宮三(宮)も「後補」明※
- 12 07 | 08 くるしけにくるしけに飯
- 12 07 | 09 院は院の徹
- 12 07 | 09 かたこそ方にそ陽
- 12 07 | 09 あえかなるあえる玉あへかめる飯
- 12 07 | 10 なけかしくてなけかしくて穂
- 12 07 | 11 すくし給すこし給穂過し給徹
- 12 07 | 12 おもひきこえ給「思」きこえ給明

12 07 12 事も事徹
 12 07 13 いかなるにかと いかなるにかとと三
 12 07 13 つふれて世中も つふれてよの中も横 つふれて世中玉

12 07 14 たいの方の たいのかた陽
 12 07 14 ころは ころも玉

12 08 01 たいにへたに池 ナシ穂
 12 08 01 なをりかたく なをさりかたく榊
 12 08 01 ころほひむなき ころほひ(ひ)むなき[朱]

大

12 08 02 事や 事ことや徹
 12 08 03 心にて 心にていかにて玉

12 08 03 うちわたりなどの うちわたりの徹
 12 08 03 みやひを みやひ(を)池
 12 08 04 なからひ ならひ穂

12 08 04 うきこと うきこと(モ)横
 12 08 04 きこゆかしきこゆるし [「本二」ト傍記]

玉

12 08 04 さへ ナシ榊
 12 08 06 宮に 宮にも横池

12 08 06 こまやかにて こまやかに穂
 12 08 06 そのことゝなくて その事となくへ(榊)

12 08 07 しば しばしも穂
 12 08 07 ほどに 程は穂

12 08 07 おほつかなくて おほつかながらて飯
 12 08 08 なやみ給なるさまは なやみ給なるさま横

池

12 08 09 しのひすくし給へ しのひてすくし給へ
 陽

12 08 10 おほろけにて おほろけにてへもイ(三)
 12 08 11 わきになむなど わきになむ[など]明
 12 08 12 あさましきをは あさましきを穂

穂玉

12 08 12 あらて அரசす玉
 12 08 12 ほいなく ほ(む)いなく池

12 08 13 御返をは 御かへりをは横榊
 12 08 14 御せうせこに 御せうそこに横榊池陽肖三明

穂玉徹証正飯

12 08 14 まろ まつ横池陽穂玉飯
 12 09 01 ありとも 有とも[他本ヨイカ]三穂

玉

12 09 01 侍れ 侍つれ榊
 12 09 01 たか たかたか陽
 12 09 02 のたまふにへの 給に横のたまふには穂
 12 09 02 はちらひて せらいて玉

12 09 02 御すかたも 御すかたは穂
 12 09 03 ものおもひくしたまへる もの思ひくむしたまへる陽穂玉正 物思ひくつし給へる徹証

12 09 03 いとゝいと(へ)と榊いと三
 12 09 03 おかしを かしく玉

12 09 03 いとゝ三
 12 09 04 御心はへを 御(心)はへを池

12 09 04 いたくは いたく(は)横 いたく陽
 12 09 05 たてまつれば だてまつれと肖徹証正

12 09 05 いまよりのちも いまよりのちも玉
 12 09 05 なむ ナシ徹証正

12 09 05 いかて いかてか横 いかてか池
 12 09 06 おもへと おもへは穂飯
 12 09 06 いふせき いふせ(き)横

玉徹証正

12 09 06 をこゝに 身か[か力]穂
 12 09 07 たに たにも徹証正
 12 09 07 きこえなす きこえならす穂

12 09 07 方に 事に榊かた(榊)
 12 09 08 よる よかん玉とる飯

12 09 08 へかめる へかむめる横池穂玉
 12 09 08 あさきと あさきに池陽穂玉 あさきと(に)池

12 09 08 さたすきにたるありさまも さたすきぬ
 穂
 12 09 09 あなつらはしくわ(あなイ) つらはしく

三

12 09 09 みなし(見)なし証
 12 09 09 給らむも 給はむも穂飯給らん徹

12 09 10 院の 院榊
 12 09 10 心をさめて ころをさためて穂

12 09 11 やう やうに穂
 12 09 11 おなしく むなしく玉

12 09 12 なるめたまひそ なるめたまひそ陽肖穂
 玉徹証正

12 09 12 みちにも みちにもみちにも飯
 12 09 12 うすかるへき うかるへき陽

12 09 13 女かたに 女かたに[明ハ符号無]池明
 12 09 13 たに ナシ穂飯

12 09 13 いとゝ玉
 12 09 13 心には[御]ころには[後補]明

- 12 09 | 14 おほしまよふおもひまよふ池陽三穂玉徹証
- 正 おほし(もひ)まよふ池 思ひまとふ肖 おほし(もひ)まよふ「後補」明
- 12 09 | 14 いまはといまはとて穂
- 12 09 | 14 すて給けむすてたまふけむ穂捨けむ
- 徹
- 12 09 | 14 うしろみにうしろみにも横うしろみにも
- 池
- 12 10 | 01 をぎ給へるゆつりをぎ給へる肖徹へゆつり
- イ おき給へる三「ゆつり」をぎ給へる「後補」
- 明へゆつりをぎ給へる徹
- 12 10 | 01 ひぎつつきひぎつら(つ)き「朱」大ひぎつ
- ゝ(ぎ)三※
- 12 10 | 01 やうにてかやうにて穂
- 12 10 | 02 あえなくあえへなく横
- 12 10 | 03 なむナシ陽
- 12 10 | 03 人々も人も「もへえ二近イ」玉
- 12 10 | 04 みこたち御子たち三
- 12 10 | 04 給めれば給めれぬは徹
- 12 10 | 05 みをぎつへし見をきたまへし徹
- 12 10 | 05 そのほかはそのほか玉
- 12 10 | 05 たれもたれも横榊※
- 12 10 | 05 したかひてしたひて飯
- 12 10 | 06 よはひともによはひともへに榊
- 12 10 | 06 なりにたるをなりにたり榊
- 12 10 | 07 思ひ侍おもひはへる明玉飯
- 12 10 | 07 御世の(御)世の池御よ穂
- 12 10 | 08 御な御なも榊御なの肖三御な「」後補
- 明

- 12 10 | 09 この世はこの飯
- 12 10 | 09 ことにもあらずことにあらず穂
- 12 10 | 09 のちのよの後世の穂
- 12 10 | 09 御みちの御みち徹
- 12 10 | 10 まほにまをに穂玉
- 12 10 | 10 そのことゝはそのことゝ穂
- 12 10 | 11 きこえつゝけきえつゝけ正
- 12 10 | 11 涙のみなみたの陽穂玉
- 12 10 | 12 さかしらよさかしら□「ヨメズ」穂さかし
- くよ玉
- 12 10 | 13 身にかはるみにかえる玉身にかゝる徹身
- にかゝる「ハはカ」証
- 12 10 | 13 むつかしくむつかしう榊
- 12 11 | 01 こまかなりしこまやかなりし玉
- 12 11 | 02 かくしもかくへしも榊
- 12 11 | 02 かよはしかかきかはし玉
- 12 11 | 02 給らむかし給はんかし横池給らん玉
- 12 11 | 03 さめぬへけれとさめぬへく(け)れと「朱」
- 大
- 12 11 | 03 たてまつりナシ穂
- 12 11 | 04 給はむたまふ穂
- 12 11 | 04 この月この月は榊
- 12 11 | 04 二の宮の二宮の榊肖三穂
- 12 11 | 05 ならむもなるならむも池
- 12 11 | 06 しも月はしも月徹
- 12 11 | 06 忌月御き月池いみの月穂※
- 12 11 | 06 ものさはかしました物さはかききた陽ものさはかきき穂
- 12 11 | 06 いとゝいと榊玉

- 12 11 | 07 給はんをと給はんと三給はんもと玉
- ※
- 12 11 | 07 のふへぎの給へぎ玉
- 12 11 | 08 このいたくナシ玉
- 12 11 | 09 みたてまつりみたてまつらせ(り)榊へみ
- たてまつり三
- 12 11 | 10 衛門督をはゑもんのかみをは榊三明飯
- 12 11 | 10 まつはしまとはし穂玉
- 12 11 | 11 給つゝ給つと玉
- 12 11 | 11 のたまはせあはせしをの給へあはせしを
- 榊のたまひあはせしを玉
- 12 11 | 11 御せうそこ御せうそく横御消息玉
- 12 11 | 11 人人の玉
- 12 11 | 12 いとゝいと池玉
- 12 11 | 12 方かたは玉
- 12 11 | 13 給はぬをも給はぬも穂
- 12 11 | 14 なやみわたりてなやみわたり給て玉
- 12 11 | 14 院に院には横池三玉院には「後補」明
- 12 11 | 14 はたはへた榊ナシ玉
- 12 11 | 14 なたへたと池ナシ玉
- 12 12 | 01 なき年なき比徹
- 12 12 | 01 思ひわたるを思ひわたるへを正
- 12 12 | 01 あるやうあるある様ある穂
- 12 12 | 01 なるへしなるへしと三
- 12 12 | 02 思ひよれとおもひよれは穂おもへと
- 玉
- 12 12 | 03 十二月に十二月に「榊
- 12 12 | 04 十日と十日と榊十(日)十日と池十日穂十日よひと玉
- よ日穂十日よひと玉

- 12 12 04 ならし ならし 肖三
- 12 12 04 との、うち 殿、中池穂
- 12 12 04 ゆすりての、しる ゆすりの、しる 玉
- 12 12 04 二条の院のうへは 二条院のうへは 池陽肖三
- 穂玉徹証
- 12 12 05 また いまた 玉
- 12 12 05 しかくに しかく 穂
- 12 12 05 よりそより [てそ] 朱 大よりてそ 横池徹より陽よりそ (て) 「後補」明※
- 12 12 05 えしつめはて、(へ) えしつめはて、朱 天 へえしつめはて、陽 へえしつめはて、玉※
- 12 12 06 女御の君も 女御君も 池穂
- 12 12 06 みこは みこも 池陽穂玉 みこは (も) 池 御子も穂
- 12 12 07 すき、すきすき (ぎ) 榊
- 12 12 07 いとおかしけにて とをしけにて 穂
- 12 12 08 試案に 「改行」 大陽 「改行スルモ朱ニテおほされけるニ続ケル移動符号有」 大
- 12 12 08 右大臣殿の 右ちもとの、飯
- 12 12 09 うち、にてうかくの、うち、にてう(し)かくの池
- 12 12 10 あそひならし あそひなど (ら) し 肖
- 12 12 10 給ければ 給ければ 「へノ上カラケヲ書ク」
- 榊
- 12 12 10 おまへの 御まへの 穂玉
- 12 12 10 衛門督を へもんのかみを 榊明飯 衛門のかみ
- は三
- 12 12 11 事の ナシ玉
- 12 12 11 ましらはせさらむは ましらはせさらむは 陽

- 12 12 12 うちに 人あやしと かたふきぬ へき ナシ
- 飯
- 12 12 12 うちに うちに にも 陽穂玉徹証 正中にも
- 徹
- 12 12 13 そはかと、そはかと なく 玉
- 12 12 13 くるしけなる なくるしけなる 榊
- 12 12 13 あらさなるを あらさんなるを 穂玉
- 12 12 14 思ふ心の おもふこゝろ 横池 おもふ心へ(く)
- 榊
- 12 12 14 あるに やと あるから (に) やと 「朱」 大
- 12 12 14 心くるしく 心くるしう 榊 くるしく 穂 心くるしく 徹
- 12 13 01 ち、ナシ玉
- 12 13 01 なとか、なと 玉
- 12 13 01 かへさひ、 「カ」 くさひ 穂
- 12 13 01 まうされける 申申されける 榊※
- 12 13 01 院にも 院も 横池
- 12 13 02 あらず あす 徹
- 12 13 02 給へと 給へ なと 玉
- 12 13 02 そ、のかし、そへそ、のかし 明
- 12 13 02 かし給に かくかさねての たまへれば ナシ
- 穂
- 12 13 03 かく、かく、池
- 12 13 03 かさねて、かさねて 横
- 12 13 03 のたまへれば の給へは 横池
- 12 13 03 またかむたちめなとも かむたちめなとも ます
- た陽穂玉徹証正
- 12 13 04 けちかき、けちかき 横

- 12 13 04 みすの 御すの 玉
- 12 13 04 みす、みすを 横池 御す 玉
- 12 13 05 おはします、おはします 榊
- 12 13 05 いたく、いたく、榊
- 12 13 06 君たちには 君たちに 榊
- 12 13 06 もてけたれて、もてけたれて 三※
- 12 13 06 ようい、よそひ 穂
- 12 13 06 ありかほに、ありかほに 「トルカ」 榊 ありかほに 「トルカ」 明
- 12 13 07 ことなるを、ことなる 徹
- 12 13 07 なとかは、なとか 玉
- 12 13 08 さらに、ナシ 榊 玉
- 12 13 08 ことのさまの、ことさまの 穂
- 12 13 08 たれも、たれも、も 榊 たれ、も
- 穂
- 12 13 09 こそ、こそ、玉
- 12 13 09 いとつみゆるしかたけれ、つみゆるしかたけれ 徹
- 12 13 10 そのこと、そのことへ、池
- 12 13 10 なりに けり、なりに た、(け) り 池
- 12 13 11 ひやうさを、ひやう者を 穂
- 12 13 11 みあつかひ、みあつかひ 「もノ上カラミヲ書ク」 榊
- 12 13 11 御賀の 御かへ、横 御かたの 玉
- 12 13 11 こ、に、穂
- 12 13 12 みこのほうしつかうまつり給へく、みこのほうしつかうまつり給へく、肖証正へみこのほうしつかうまつり給へく、肖 御子の法しつかうまつり

給へく三

- 12 13 12と、こほると、こほり徹証正
- 12 13 13しけて、しけく玉
- 12 13 13としもとし陽
- 12 13 13え思ひのことく、えおもひのことくも「横未見」
- 横榊池陽三穂玉え思ひのことくも肖※
- 12 13 13かたのことく、かたのこことく肖
- 12 13 14まいるへきをまいるへき横池飯
- 12 13 14いへはいえと玉
- 12 13 14おい、つるおもひつる池
- 12 14 01わらはへのわらへの穂
- 12 14 01ならはしはしめし、ならはしはしめ横陽なら
- はしはしめし池
- 12 14 02拍子ひやうし榊三穂玉兵し明
- 12 14 02又ナシ穂
- 12 14 02おもひめくらしかねておもひめくらして
- 榊
- 12 14 04御けしきのけしきの穂徹御けしき玉
- 12 14 04やうなる様なる穂
- 12 14 04いと、いと、いと、いと、いと、「後補」
- 明いと玉
- 12 14 04かほの色かほの色も肖玉
- 12 14 05御いらへも御いらへ徹
- 12 14 05とみにえきこえずとみにもえきこえず横と
- みにも(え)きこゑ(給は)す池とみにきこゑ
- す三明飯とひにきこえず穂とみにきこゑ給
- はす玉※
- 12 14 05御こと、飯
- 12 14 06うけたまはりうけ給穂

12 14 06侍なからへはへりなから榊

- 12 14 06比をひよりころをひより榊ころより
- 三
- 12 14 07おこり、ををこり榊
- 12 14 07はか、しくはへ、しく穂
- 12 14 08侍らす侍らて肖三
- 12 14 08侍てはんへりて穂
- 12 14 08なむナシ陽徹
- 12 14 08やうにて様にて穂
- 12 14 09こもり侍陽こもりはへる「トルカ」明飯こ
- もり侍り玉
- 12 14 09かそへかすへ玉
- 12 14 10つかうまつるへきつかうまつり給(る)へき
- 榊
- 12 14 10ちしのおと、ちし、ち、いのおと、肖ち、
- のおと、飯
- 12 14 10思ひをよひへ「ヲモヒ」およひ横
- 12 14 10かうふりをかへういふりを三
- 12 14 10くるまをくるま穂穂
- 12 14 11けにナシ横へけに池
- 12 14 12ところところ「トヨメルカ」飯
- 12 14 13ことの事榊
- 12 14 13侍しかはへしかは榊池明飯はへりしかは
- 榊
- 12 14 13侍しはへし榊池明飯
- 12 14 14まちうけまちなうけ穂
- 12 15 01ねかはしくもね△はしくも「破損」榊
- 12 15 01侍しをはへしを横榊明飯
- 12 15 02御ねかひねかひ穂

12 15 02なんナシ陽

- 12 15 03女二の宮の女二宮の三穂
- 12 15 04らうありとらうありて穂
- 12 15 04ことそきたるへことそきたる肖
- 12 15 06侍はへる「トルカ」明飯
- 12 15 06おほやけかたはおほやけ事(かた)は榊
- 12 15 06かうやうにかやうに横榊陽玉かやうになさ
- けひたるかたはやう、おとなふめれとかや
- うに横かへやうに池
- 12 15 07なにこともなに事にも横
- 12 15 07おさ、おさ、榊※
- 12 15 08うちにもうちに榊
- 12 15 08しりと、のへと、のへ陽
- 12 15 09やうなれ様なれ穂
- 12 15 09きこしめしすまきむおほ(きこい)しめしす
- まさん三きこしめさむ穂
- 12 15 10大将と大将徹
- 12 15 10わらはへのわ△はへの「破損」榊わらへの
- 穂わらはへ玉
- 12 15 10よういよそい穂
- 正
- 12 15 11いふ物はナシ玉
- 12 15 11た、た、榊
- 12 15 11わかたてたるわか、たてたる玉
- 12 15 11ことこそあれことにそあれ飯
- 12 15 12いとナシ横池徹証正へいと肖
- 12 15 12のたまひつくるをのたまひつくるを
- 三

- 12 15 | 12 くるしくくるしう榊
- 12 15 | 13 御まへを おまへを陽穂徹
- 12 15 | 13 おもへは おもへへは池 思は穂
- 12 15 | 14 やうに 様に穂
- 12 15 | 14 こまやかにも こまかにも横池
- 12 16 | 01 つくろひいたし給 つくろひひたし給池
- 12 16 | 01 さうそくの しや(さ)うそくの榊
- 12 16 | 01 くはへ給 くはへ穂
- 12 16 | 02 つくし給へるに しつくし給へるに徹
- 12 16 | 02 心しらひ 心しらひとも徹
- 12 16 | 03 給める 給ける徹
- 12 16 | 03 ひなれと御方 〳 ひなれは御方 〳 も三日
- 12 16 | 04 みたまはむに み給はむに 〔にノ上カラはヲ
書ク〕榊 み給はん(も) 〔ミセケチアルカ〕
- 池
- 12 16 | 04 しらつるはみに しろつるはみに榊 しつるは
みに穂
- 12 16 | 05 したかさねをきる へし したかさね陽穂
- 玉
- 12 16 | 05 あをいろに あを色にて三
- 12 16 | 05 すわうかさね すわうかさねて横池
- 12 16 | 06 かく人三十人けふはしらかさね ナシ玉
- 12 16 | 06 しらかさねを しらかさね榊穂
- 12 16 | 06 きたる きたり飯
- 12 16 | 06 つゝきたる つゝきみたる穂
- 12 16 | 07 かく所にて かく所にして 肖ノかくハ行末補
入力 横池陽肖三穂玉徹証正
- 12 16 | 07 御前 御まへ横池

- 12 16 | 08 たゝナシ陽 たゝいま飯
- 12 16 | 09 みのうちに すのうちに三 御すのうちに
玉
- 12 16 | 09 うちに 中に池※
- 12 16 | 09 式部卿のみや 式部卿宮池三徹
- 12 16 | 10 わさとならぬ ナシ穂
- 12 16 | 11 御あるしなと 御ある(か)しなと玉
- 12 16 | 11 けちかきほとに けちかきやうに陽
- 12 16 | 11 大とのゝ 大とのゝ 〔朱〕大 おほい殿の徹
- 証正
- 12 16 | 11 四らう君大将殿の 四らうきみ 〳 君ぬへし 〳
横
- 12 16 | 12 大将殿の三らう君 大将殿三郎君徹証正
- 12 16 | 12 兵部卿のみやの 兵部卿君の榊 兵部卿宮の池
三 明徹飯
- 12 16 | 12 そむわうの あそむわうの穂
- 12 16 | 12 ふたりは ふたり榊
- 12 16 | 12 万歳楽 まむさいらく 榊池明飯 万さいらく
三
- 12 16 | 13 たかきいへの たかきいへへの 〔朱〕大
- 12 16 | 14 おかしけに おかし横 おかしへけに 〳 池
- 12 16 | 14 又 〳 又 〳 榊
- 12 16 | 14 御子のないしのすけはらの 御ないしすけは
らの横 御ないしの△けはらの 破損 榊 御
へへないしすけはらの池 御ないしのすけは
らの 〔玉ハ 本ニ〕ト傍記 陽肖三明穂玉徹証
正飯 御(イ無内侍のすけはらの三 御ないし
のすけはらの 後補)明※
- 12 17 | 01 二らう君 四らう君陽穂玉 四らふのきみ

- 穂
- 12 17 | 01 式部卿の宮の しきふ卿△宮の 破損 榊 式
部卿宮の池陽三徹
- 12 17 | 01 兵衛督と 〳 兵衛 〳 督と榊 〳 兵 〳 衛督と陽 〳 兵衛
のかみと三 明
- 12 17 | 01 源中納言の御 〳 源中納言御子穂
- 12 17 | 02 たらう たゝう 肖たらう 〳 フラニ直スカ 証
- ※
- 12 17 | 03 喜春楽 花春楽玉
- 12 17 | 03 まひともを まひとも三
- 12 17 | 03 御なからひの 御なからひの池
- 12 17 | 03 おとなたちなと 〳 おとなたちなと 〳 榊
- 12 17 | 03 まひける まい給ける 榊 まひ給ける池
- 12 17 | 04 みす 御す穂玉
- 12 17 | 04 ものゝ けうものゝ けふ玉
- 12 17 | 04 御むまこ 御うまこ池 〳 うまこ穂
- 12 17 | 04 御むまこ 御うまこ池 〳 うまこ穂
- 12 17 | 04 御むまこ 御うまこ池 〳 うまこ穂
- 12 17 | 04 御むまこ 御うまこ池 〳 うまこ穂
- 12 17 | 05 君たちの 君たち陽
- 12 17 | 05 かたち 補入横
- 12 17 | 05 おほむ師 御師陽穂玉徹
- 12 17 | 06 をの 〳 をろ 〳 〳 〳 〳 穂
- 12 17 | 06 かきりを かきり徹
- 12 17 | 06 かと 〳 しきかと 〳 しき(さ)池
- 12 17 | 06 くはへて くらへて飯
- 12 17 | 07 まひ給を まひ給三
- 12 17 | 07 いづれをも いづれをも池 いづれも穂
- 12 17 | 07 かむたちめたちは 上 〳 達 部たちは徹
- 12 17 | 08 みな 〳 みな 〳 榊
- 12 17 | 08 涙おとし給 涙を 〳 とし給穂玉飯
- 12 17 | 08 式部卿の宮も 式部卿宮も池陽穂

- 12 17 08 御まこを御まひこを肖御むまこを玉
- 12 17 08 しほたれしほれ玉
- 12 17 09 そへてはそへて徹証正
- 12 17 10 衛門督衛門のかみ榊明飯
- 12 17 10 心とめて心とめて横め(心)とめて
- 榊
- 12 17 10 心はつかしや心はつかしや榊
- 12 17 10 さりともさりと△「破損」榊
- 12 17 10 ならんなへらいん三
- 12 17 12 まめたちくんしてまめたちくつして徹
- 証
- 12 17 12 なやましなければなやましくおほえければ
- 穂
- 12 17 12 こともへことも肖ことに玉ナシ正
- 12 17 13 しつゝして三
- 12 17 14 やうなれと様なれと穂
- 12 18 01 しる給へはしたなくてしる給へは(は)したなくて「朱」大
- 12 18 02 はしたなくてはしたなくて玉
- 12 18 02 おかしおかしき徹
- 12 18 03 こともはてぬに事はてぬに徹
- 12 18 03 まかて給ぬるまかて(給)ぬる「横未見、池ハ符号無」横池
- 12 18 03 いたくいたう横榊池
- 12 18 04 いとナシ横池玉
- 12 18 04 いかなれはかゝるならむいかなれはかゝるな(ル)らん「未見」横いかなるにかあらん玉
- 12 18 04 物をものを榊

- 12 18 05 気のけの「トルカ」穂玉
- 12 18 05 気のほりぬるにや気の(の)ほりぬるにや
- 「朱」大
- 12 18 05 心よはさとは心よはさは玉
- 12 18 06 身つから△△△ら「破損」榊
- 12 18 06 思ひしらるおもひしらるゝ穂おもひしる
- 玉
- 12 18 07 いといと横
- 12 18 07 わつらひ給おとゝわつらひ給おとゝ「ヨイカ」証
- 12 18 07 はゝ北の方へはゝ北の方徹
- 12 18 08 給を給給を飯
- 12 18 09 またはた肖ナシ三
- 12 18 09 いとナシ穂
- 12 18 09 すくすへきひ比はすくすへき日は横池明穂
- 玉飯すくすへ(き)月日(ころ)は榊すくへ
- き日は陽すくすへき比は肖徹証正すくすへき
- き過すへき徹すくへき比は三すくすへき
- ひ(比)は「後補」明※
- 12 18 10 御ころろさしなれと御心さしなれは玉
- 12 18 10 いまはといまは玉
- 12 18 11 かとてにや(カトテ)にや「池ハ平仮名」横池
- 12 18 11 おもふはナシ穂
- 12 18 11 かなしくナシ穂
- 12 18 11 をくれてをくり(れ)て肖
- 12 18 11 おほしなけかんおほしな(け)かん榊
- 12 18 11 ことのとの飯
- 12 18 11 なたしけなきをなたし(け)なきを大なたし

- なきを穂
- 12 18 12 いみしと思ふナシ玉
- 12 18 12 いとみしくなき給ていみしくなき給て
- 三
- 12 18 13 御なからひは御な(か)らひは榊
- 12 18 13 かゝるおりもナシ穂徹証正
- 12 18 14 はなれはれ穂
- 12 19 01 まてもさても穂
- 12 19 01 すくし過し徹
- 12 19 01 給はむか給△△か「破損」榊
- 12 19 01 なるへきなるへき「つノ上カラヘヲ書ク」榊
- ※
- 12 19 01 こゝにてこゝ△△「破損」榊
- 12 19 02 御きちやうはかりをへたてゝみたてまつり給
- ことはりやかすならぬ身にてをよひかたき御
- なからひにナシ「補入符号ノミアルカ」池
- ※
- 12 19 02 はかりをはかり横榊
- 12 19 02 へたてゝみたてまつり給へたてまつりたま
- ふ穂
- 12 19 02 ことはりやことはりやと肖
- 12 19 03 かすならぬ身にてかすならぬにて玉かすかならぬ身にて飯
- 12 19 03 をよひかたきおもひかたき穂
- 12 19 03 御なからひに御な(か)らひに榊御中らひの徹証正
- 12 19 03 なましひにナシ玉
- 12 19 04 ひととしくなる人しくなる三
- 12 19 05 けちめをもやけちめもや三穂

- 12 19 05こそナシ玉
- 12 19 05おもふ給つれ思給えつれ横おもふ給えれ
榊おもふ給えつれ池陽肖徹証正思給つれ
三おもひ給ひつれ玉
- 12 19 05かくさへなりかくさへ横池
- 12 19 06侍へれば侍りつれは陽穂
- 12 19 06心ざしを御こゝろざしを穂
- 12 19 06はてられすやい(は)てられすや榊
- 12 19 06おもふたまふるに思給ふるに三おもひ給ふるに玉
- 12 19 07とまりかたきとさりかたき徹証正
- 12 19 07心地にも心ちも玉
- 12 19 07えゆきやるましくえゆきやへるましく
榊
- 12 19 07思給へらるゝ思ひ給へらるゝ榊穂玉
- 12 19 07なとナシ穂
- 12 19 09みえむとはみんとは玉
- 12 19 09おもひたまふましき思ふ給ましき榊
- 12 19 09れいならずれへいならず「朱」大
- 12 19 10中になかに榊三
- 12 19 10とりわきてとりわきてこそ徹
- 12 19 10ゆかしくもゆかしく△「破損」榊
- 12 19 10たのもしくもナシ穂
- 12 19 10おほえ給へおもひ給へ玉
- 12 19 11かくいとかく横池か△△△「破損」榊
- 12 19 11うらみきこえ給もうらみ□きこえ給も□ハ
きノ書キ損ジカ「正
- 12 19 11又又又三※
- 12 19 11いとことほりなりいとことほりへナリ「池

- ハ平仮名デ符号無「横池」いとことほり榊明
飯いとことほりなり榊ことわり也陽
- 12 19 11人より人よりは横
- 12 19 12かなしくくるしく玉
- 12 20 01きかせ給はきかせ給はへは榊
- 12 20 01又ナシ穂
- 12 20 01たまはらむたはらむ穂給らん玉
- 12 20 02こともこと横池陽肖三明穂玉飯
- 12 20 03ゆくすゑナシ穂
- 12 20 03なかくのみなかくたのみ玉
- 12 20 04のみナシ榊
- 12 20 04おもひ侍ける「思」侍りける池
- 12 20 04ことゝことゝて穂
- 12 20 05おほしこかれたりおほしみたれたり池
- 12 20 05よろつによろつ飯
- 12 20 05さはき給さるはさはき△△るは「破損」
榊
- 12 20 05さるはさるははた池
- 12 20 06御心ちの△△ちの「破損」榊心地の池
- 12 20 06さまにもさまへにも榊
- 12 20 06月ころとしころ玉
- 12 20 06ものなとをものなと横池三徹
- 12 20 07いとゝいと飯
- 12 20 08やうにやうにそ横池陽肖三穂玉様にそ
穂
- 12 20 08さるさる池
- 12 20 08世中ナシ穂
- 12 20 10おしみナシ穂へをしみ玉
- 12 20 10おほしめしたるにもおほしめしたるにへも

- 横おほしめしたるも榊おほしたるに穂を
ほしたるにも玉
- 12 20 11六条院にも六条の院にも榊玉六条院
穂
- 12 20 11おほしへおほし池ナシ穂
- 12 20 11御とふらひに御とふらひ榊陽肖穂玉徹
- 12 20 12たひ〱たひ〱に榊※
- 12 20 12いとナシ穂
- 12 20 13いみしくナシ池
- 12 20 13ありきナシ飯
- 12 20 13御賀は御賀へは池
- 12 20 13廿五日に廿五日に徹
- 12 20 14おやはらからおやはらか△「破損」榊をや
はらからの三にやはらから穂※
- 三
- 12 20 14あまたの人々さるたかき御なからひのナシ
- 12 21 01さるたかきさるたかき明さりかたき
玉
- 12 21 01御なからひの御なか△△の「破損」榊御な
からひの池
- 12 21 01なけきなき三
- 12 21 01しほれしほたれ徹
- 12 21 01ものすさまじきものさすさまじき徹
- 12 21 02つき〱に〱つき〱徹
- 12 21 02やむまじきやんまじき証
- 12 21 03いかてかはいかてか横池
- 12 21 03女宮の女の宮の陽姫宮の肖※
- 12 21 03御心の内をそ御心の中をそ池
- 12 21 04五十寺の五十のてらの玉

